

ISSN 1344-7920

名古屋大学医学部保健学科

教 育 ・ 研 究 年 報

第 9 卷



*Annual Report
of
Nagoya University School of Health Sciences*

2006

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報 第9巻 巻頭言

名古屋大学医学部保健学科長

河村 守雄

今こうして保健学科の年報第9巻の巻頭言を書き始めた時、9年前に前身の名古屋大学医療技術短期大学の紀要編集委員長として紀要第10巻の巻頭言の執筆をしたことを思い出しております。この第10巻は、短大部が四年制化を実現して医学部保健学科に移行する最後の年の紀要でした。四年制化のための教官の業績の積み上げ、科学としての医療技術の基礎作り、領域を越えた学際的研究の発掘等いくつかの使命を果たし紀要は廃刊となり、保健学科設置と同時に「教育・研究年報」として生まれ変わりました。論文掲載型の紀要と異なり年報は業績記載型の内容で、当初は、少ない業績のために「厚さ」不足で報告書としての体裁が保てないのではないかと危惧もありましたが、やはり四年制化の効果は大きく各教官が精力的に論文等の業績を増やしたおかげで、十分に立派な年報に育つことができました。そしてこの年報も、デジタル化の時代の中で冊子体から電子媒体へ大きな変貌を遂げる転機に、私が再びこの巻頭言を書いていることは一つの巡り合わせでしょうか。

平成18年度は、4月に保健学科にとって東館の完成という嬉しい出来事から始まりました。1階から3階には放射線技術科学と検査技術科学の各専攻の実験室・研究室が整備され、4階には最新のAV機器を装備した大講義室と大学院講義室が配置され、学会・研究会・講義など存分に活用されています。一方で戦前の建物である本館の改築予算措置は順延となり、建物整備から取り残された看護学専攻をはじめとする教職員・院生・学生の皆様には大変つらい思いをしていただくことになりました。幸い年度終盤に宿願の本館改築予算が認められ、1年後には安心して新しい環境で教育・研究にいそしんでいただく目処が立ちました。措置された建物面積が必ずしも十分という訳ではありませんが、高度専門職業人養成プログラムやライフトピア構想の実現をにらんだ利便性の高い建物にして行きたいと考えております。

大学院博士課程後期課程は本年度で大学院設置審議会の規定する学年進行が完成し、第1期の博士課程修了生を送り出すこととなります。設置計画書には博士課程としての教育理念や目標を明確に掲げていたものの、個々の院生に対する教育や研究の指導方法に関しては教員任せの部分があり、ほとんどの教員が初めての経験の中で、まさに手探り状態で指導にあられたと思います。その中で、第1期生の約半数が期限内に論文提出ができ審査に入れたことは、院生・教員の並々ならぬ努力の結果だと思います。残念ながら期限内提出に間に合わなかった院生も、短時日の間に提出していただけるものと確信しております。

上記のような現実を踏まえ、本学における大学院教育・研究の水準化、さらには向上を目指し、今年度2回の大学院 faculty development 研究会を開催することができました。第1回は平成18年9月27日に本学の松浦好治法学研究科長と夏目達也高等教育研究センター教授を task force に迎え、大学院シラバスの作成、カリキュラムの組み方等について学びました。また各専攻の教員代表には特徴ある、あるいは効果的な大学院教育実践例の提示もしていただきました。第2回は平成19年1月10日、神戸大学大学院の宇佐美真教授を task force とし、大学院研究指導法をテーマに、どこまで研究指導に介入し、どこまで院生に研究の自律性を持たせるか検討しました。その中で保健学科における大学院研究指導の現状を調査した教員アンケートの結果も提示されました。2回ともほぼ全員に近い教員の参加を得ることができ、また活発な討論もあり、大学院教育・研究に対する問題意識の高さが表出されました。

大学院が整備され、医療技術科学は学術の基礎作りの時期から発展期に転回して行きます。学部および大学院の教育・研究内容を常に自己点検しつつ、数年後には大学院の外部評価を受ける必要があります。さらに大学院の重点化に向けてスタートを切る時期も近いと思われれます。この年報がそうした足跡を着実に残しつつ、次代への足がかりとなることが期待されます。

(平成19年1月)

目 次

1. 各専攻の教育・研究活動	1
2. 公開講座	21
3. 業績	00
看護学専攻	00
放射線技術科学専攻	00
検査技術科学専攻	00
理学療法学専攻	00
作業療法学専攻	00

1. 各専攻の教育・研究活動
(平成17年度)

看護学専攻

看護学専攻における教育の目標は、学部教育では看護専門職を総合的に理解し、教育・指導できる幅広い教養と知識を身につけた人材の育成である。また、教育内容において看護教育学や看護研究法を充実し、将来を担う教育・研究者の育成を目指している。大学院医学系研究科博士前期課程では、専門看護師をはじめとする高度専門家の認定制度も視野にいた高度専門職業人の育成、国際的視野で教育・研究できる実践活動の蓄積と修了後はさらに専門職として社会に寄与できる人材の育成を目標としている。さらに、博士後期課程では、教育・研究・実践活動で得た新規性を備えた創造的かつ先駆的な研究者の育成と様々な看護課題について多角的な問題解決法を看護モデルに基づいた視点と立場で解明できることを目指している。平成16年度より、国立大学における中部地区唯一の看護学博士前期・後期課程の一貫した教育システムの大学としての責務を果たすために、博士課程設置後は中・長期計画アクションプランとして、①；看護学専攻における重点課題（COE等）の明確化、②看護学研究課題の共有化・明確化・独自性の確保、③他専攻、他分野との合同研究を視野に入れた新たな研究プロジェクトの立ち上げ等を各教員の目標として取り組んでいる。

1. 運営

1) 教員の構成

学部は4講座（基礎看護学、臨床看護学、発達看護学、地域在宅看護学）で構成されている。教員数は基礎看護学講座11名、臨床看護学講座8名、発達看護学講座9名、地域・在宅看護学講座8名の36名である。教育内容や教育方法の向上及び研究の活性化は教員の責務である。教育・研究の円滑な推進のために看護学専攻会議（通常、教授と助教による）は月1回開催し、教育に関連する諸課題や学生指導に関する諸問題、予算措置などについて検討している。また、効果的な実習を行うために、附属病院看護部との専門委員会を年2回、また、地域看護学領域、在宅看護学領域、助産学領域においても各実習施設との委員会を適宜開催、運営を行っている。

2. 教育活動

1) 学生について

平成17年3月、保健学科第3期生の卒業式が行われ、看護学専攻卒業生87名が社会人として巣立っていき、同年4月、新入生79名と編入生10名が入学した。更に、医学系研究科前期課程20名（基礎看護学分野3名、臨床看護学分野7名、発達看護学分野10名）が入学し、平成17年3月には18名の修了生を送り出した。同時に平成17年度後期課程6名（健康障害看護学分野2名、健康発達看護学分野4名）入学した。

2) ガイダンスについて

平成17年4月1-2日、5日に、学部新入生（1年、編入生）および新2～4年生に対してガイダンスを行った。ガイダンスの内容は学習関係、学生生活および諸手続、図書・情報関係などである。同様に、大学院前期・後期新入生に対しては入学式後に学修関係、図書・情報関係についてガイダンスを行い、その後教員や在学生を交えて意見交換会を行った。

3) 新入生合宿研修

新入生に対する合宿研修は4月23日（土）～24日（日）の期間に愛知県青年の家（岡崎市）において実施し、新1年生84名、編入3年生10名、上級生25名、教員12名が参加した。合宿を契機に教員や上級生と交流をもち、看護学に関する事柄や学生生活での内容について意見交換や質疑応答を行った。

4) 感染対策

看護学専攻として専攻内感染対策委員を中心に学生ガイダンスをはじめとして、感染予防における検査やワクチン接種等の指導・実践を行っている。また、実習における感染予防対策についても、看護部や病院の感染対策窓口と有機的連携のもと、感染予防に努めている。

5) 博士前期課程（平成17年4月～平成18年3月まで）

平成17年度は20名が修士論文を提出し、修士の学位を取得した。以下に学生名と論文題目を記す。

伊藤千晴	看護基礎教育における人間性に焦点をあてた授業方法の検討
小笠原ゆかり	看護書にみる看護職の機能・役割に関する考察－教育的側面に焦点を当てて－
小塩泰代	ある助産婦の地域に根ざした活動ベビーブーム時代に活躍したKさんのライフヒストリーから－
北田美穂	外来通院期間における化学療法中の卵巣がん患者の自己内省プロセス
佐々木詩子	客観的指標を利用した実践知の検証－長期臥床患者における起立性低血圧の観察－
佐藤美紀	足浴およびシャワー式浴が体温調節機能、自律神経活動に与える影響
篠崎恵美子	フィジカルアセスメント教育のミニマム・エッセンシャルズ－呼吸に焦点をあてて－
田内香織	終末期がん患者のケアに携わる看護師のスピリチュアリティとスピリチュアルケアに関する研究
登坂祐明	ある精神障害者と家族のスティグマに関する研究
中村みゆき	A大学病院におけるがん緩和ケアに対する医療スタッフの認識の相違
永井邦芳	家族教室参加による精神障害者家族のエンパワメントに関する研究
李寶玲	韓国・日本の産褥期の母性意識に関する研究
石井真	乳幼児期の喘息児をもつ親の養育体験の意味づけと看護に関する研究
岩瀬貴美子	外来通院中にある思春期小児がん患者の自己効力感の特徴及び健康行動との関連
清水三紀子	妊産婦のエンパワメントを刺激する出産準備教育の検討
神道那実	小児血液疾患患児の療育行動の自主性の現状－病状説明と親子の関わりに焦点を当てて－
塚田月美	某社における騒音労働衛生対策について
青木史穂	妊娠期から育児期における父親の発達に関する研究－父親の発達要因の分析－
水野妙子	妊娠期からの縦断的調査による産後うつ病の予測

6) 博士後期課程 (平成17年4月～平成18年3月まで)

博士後期課程完成に向けて、院生が研究に取り組んでいる。平成19年3月には1期生が修了を予定している。

研究活動

以下に現在取り組んでいる研究課題を講座別に一部を紹介する。

《基礎看護学》

- 太田勝正 教授：患者情報の共有における情報プライバシーの問題
河津芳子 教授：教育評価に関する研究
後藤節子 教授：周産期の精神的健康支援に関する文理複合研究（プロジェクト）不定愁訴をきたす病態への生理学的アプローチ
山内豊明 教授：看護におけるフィジカルアセスメント教育に関するアウトカム評価研究
医療チューブ類事故防止対策に関する学際的探索研究
医療事故防止のためのヒヤリ・ハット事例の定量的分析に関する研究
難病訪問看護実践に必要なとされるアセスメント技能に関する研究
神里みどり 助教授：炎症性腸疾患患者の保健・医療・福祉ニーズの現況
遠藤淑美 助教授：統合失調症患者の自我発達を支援する看護援助のアセスメント及びチェックリストの開発
藤井徹也 助教授：看護技術教育における専門基礎知識に関する研究看護技術の検証に関する研究
相原優子 助手：がん医療における補完・代替療法の活用状況基礎看護学実習における看護学生の学びに関する研究
佐伯香織 助手：温罨法の効果に関する研究

《臨床看護学》

- 安藤詳子 教授：緩和ケア病棟・緩和チーム・在宅ホスピスに関連する研究、がんの集学的治療及び高度先端医療における看護に関連する研究
池松裕子 教授：心タンポナーデ患者のDysphoriaについて
水溪雅子 教授：看護師の看護活動における感情に関する研究総合失調症の2人の息子を持つ家族システム面接の試みと課題

渡邊憲子 教授 : ストーマ保有者の人生の満足度や大地震への対策に関する研究
堀谷子助 教授 : 高血圧と生活習慣に関する研究 高血圧の疾患管理に関する研究
澤井美穂 助 手: ホスピスケアに関連する研究
竹井留美 助 手: ストーマ保有者とその家族に関する研究
永井邦芳 助 手: 精神障がい者家族に関する研究

《発達看護学》

浅野みどり 教 授: アレルギー児と家族の QOL 向上プロジェクト; 思春期児のライフスキル開発 広汎性発達障害の子どもを養育する家族の家族プロセスと QOL
鈴木和代 教 授: 出生直後のカンガールケアにおける母子の安全なポジションの検討
奈良間美保 教 授: 在宅療養児の包括的看護の確立にむけたコーディネーター育成プログラムの開発
森田せつ子 教 授: 少子化時代における育児期間にある二世世代間関係に関する研究
濱松加寸子 助教授: 市民主導型の地域づくりにむけての総合的な調査・研究—地域医療・看護、地域福祉を含むまちづくりの構築—医療と福祉の連携に関する研究
清水三紀子 助 手: 妊産婦のエンパワーメントを刺激する出産準備教育に関する研究

《地域・在宅看護学》

梶田悦子 教 授: 地域高齢者の大腿骨頸部骨折予防のための地域看護モデルの構築エビデンスに基づいた骨粗鬆症予防対策の有効性評価
榎原久孝 教 授: 生活習慣病予防支援プログラムの開発
肥満と産業ストレスとに関する研究
生活習慣病予防の保健活動に関する研究
平井真理 教 授: 在宅医療におけるインターネット活用に関する研究
—インターネット対応心電計による伝送心電図等の応用—
前川厚子 教 授: ストーマ保有者のスキンケアと生きる意欲の研究
炎症性腸疾患患者の生活・福祉ニーズと QOL 関連要因睡眠障害の研究
ストーマ保有者の自己適応尺度英語バージョン開発と日英比較研究
吉田久美子 助教授: 地域保健における子ども虐待予防ネットワーク構築の検討
—保健・医療・福祉・教育領域の関係者と住民組織や親と協働でネットワークの構築と評価—
江藤真紀 助 手: 地域高齢者の転倒予防に関する研究
桜井志保 助 手: NPO による睡眠に関する地域保健活動
藤井千恵 助 手: 子ども生活習慣病と保健対策に関する研究

4. 対外的な活動

1) 附属病院看護部との関係

①教員による臨床指導者研修講師を派遣し、有機的な連携をはかっている。

②ユニフィケーション委員会

看護の質の向上推進のため、看護部との円滑な協力関係をはかることを目的に、主任および基礎看護、臨床看護、発達看護、地域在宅看護各講座長、看護部からは看護部長、教育担当副看護部長、実習調整師長等が中心となり、月1回の委員会をもっている。

主な内容は病院における効果的な実習体制や方法、学生実習に対する感染対策、就職に関連すること等である。

③実習委員会

実習全般に関する事項を取り扱い、学内外の調整を行っている。また、感染対策委員と協力して、学生の感染対策を強化するとともに、「事故発生時の対応経路」「事故、ヒヤリ・ハット報告書」の検討などを進め、事故対策の整備をすすめた。最近では個人情報保護に関連して検討を加えている。

2) 日本看護系大学協議会開催の研修会への出席

平成17年5月13日に開催された日本看護系協議会総会（千葉）、平成17年11月14～17日 千葉大学において開催された看護教育ワークショップに看護教員が参加した。

6. 今後に向けての課題

- 1) 名古屋大学の一員としての責任と自覚を新たにする。
- 2) 看護学博士完成に向けて、新たな時代にふさわしい人材の育成と名古屋大学ブランドにおける新規性、独自性に富む研究成果を生み出す。
- 3) そのためには、看護学専攻全体が志を一つとして教育研究体制の大幅な改善を図っていきたい。

(主任：梶田悦子)

放射線技術科学専攻

はじめに

放射線技術科学専攻、並びに、大学院医学系研究科・医療技術学専攻・医用量子科学分野における教育と研究の目標は、医療現場で使われている放射線を利用した種々の医療機器の原理や特性をよく理解し、その能力を最大限引き出すとともに、診断画像からの確かな情報を取り出したり、治療のため人体に的確に放射線を照射したり、また、医療放射線が人体に及ぼすかも知れない影響についての幅広い知識と応用力、専門知識ばかりでなく豊かな人間性を合わせ持つ人材の育成、また、これらの人々を指導していく人材の育成である。一方、研究活動を通しては、将来、医療技術者、研究者、教育者として、日進月歩する医療分野の進歩を理解し、それに適応できるばかりでなく、自ら医療の進歩を創生することが出来る科学者の育成を教育・研究の目標としている。

1. 運営

放射線技術科学専攻（大学院医学系研究科・医療技術学専攻・医用量子科学分野を含む）は、基礎放射線技術学講座と医用放射線技術学講座の2つの講座より構成されている。教育・研究の目標を達成するためには専攻の運営が必要であるが、教育に関するさまざまな問題、教育研究費の予算配分等の運営は、専攻を単位とした毎月1回の専攻会議、並びに、専攻教授会の合議に基づいて行われている。

2. 教育活動

学部教育：

平成17年度の新入学生は、新1年生が41名、3年次編入者は6名であった。2年生は40名、3年生は42名（編入生6名を含む）、4年生は45名（編入生5名を含む）で、4年生は12名の教員のもと、それぞれの研究室で卒業研究を行った。また、3年生以下の学生も、12名の教員が指導教員となり、勉学、生活の両面で指導を行っている。

診療放射線技師国家試験は卒業生36名が受験し、そのうち35名（97.2%）が合格した。編入生を含む卒業生41名の進路は、診療機関に33名、企業に2名、大学院進学が6名であった。

学部教育は、専任教員による授業の他に、非常勤講師を招いた特別講義、臨床実習、臨床現場の見学（名古屋大学医学部附属病院をはじめ、学生の出身地や、学生の希望就職病院など）、工場の見学（京都島津製作所三条工場および記念資料館）、放射線管理に関連して原子力発電所の見学（中部電力浜岡原子力発電所）など、将来、医療あるいは生産現場で役に立つと思われる教育活動が行われている。

大学院教育：

平成14年に大学院医学系研究科・医療技術学専攻が創設されたが、平成17年度は、博士課程前期課程1年10名、2年11名、博士課程後期課程1年5名、2年4名の計30名であった。前期課程の最終年度にあたる学生11名が修士論文を提出し、修士の学位を取得した。以下、学生名と修士論文題目を記す。

田 淵 耕 介	前立腺癌の外部放射線治療における臨床標的体積の違いによる至適照射法の検討
小 栗 夕 佳	Si-PIN 検出器を用いたマンモグラフィ領域 X 線スペクトル測定
小 田 耕 司	デジタル画像システムにおける散乱線除去グリッドによるモアレの検討
加 藤 貴 弘	限局性前立腺癌に対する三次元原体照射法における照射体位の違いがリスク臓器線量に及ぼす影響
木 藤 哲 史	EGS 5 データを用いたランダムサンプリング高エネルギースペクトル数値計算法の検討
霜 村 康 平	蛍光ガラス線量計・小型素子システムの低エネルギー光子に対する特性検討
廣瀬保次郎	前立腺癌強度変調放射線治療における超音波による前立腺位置変動の検出－患者固定方法の比較検証－
広 藤 喜 章	人体ファントム内線量計測に基づいた上部消化管 X 線検査における被検者の被ばく線量評価
堀井亜希子	液晶ディスプレイ装置の物理的画質特性の測定に関する研究
村 井 誠	医用デジタル画像の転送と表示に関する研究
望 月 真 吾	PET 薬剤製造時の放射性副生成物の測定と被曝線量の評価

3. 研究活動

当専攻の教官は幅広い専門分野を研究領域としているため、個々の教官が独自の研究活動を行っている。一部にグループによる研究活動、専攻以外との共同の研究活動も行っている。以下には各教官の研究領域を示し、外部と協力して実施している研究活動の一部を示す。

- 青山隆彦 教授：医療放射線による被ばく線量計測システムの開発。医療放射線による被ばく線量の測定・評価。
- 池田 充 助教授：モニタ診断精度に対するモニタの解像度の影響に関する研究。胸部単純 X 線画像における結節の検出能に対する「解剖学的雑音」の影響に関する研究。コンピュータ診断支援システムに対する画像撮影系の特性と雑音が与える影響に関する研究。ROC 解析の手法に関する研究。
- 石樽信人 教授：PET 施設における職業被ばくの実態とその低減法。内部被ばく線量評価手法の開発：(a) 体外計測装置の校正方法、(b) 摂取された放射性核種の体内挙動の計算シミュレーション。
- 市川勝弘 助手：デジタルラジオグラフィの撮像系の画質測定法に関する研究。医用画像用ディスプレイ装置のための新しい画質測定法の開発と評価法に関する研究。画像処理技術による放射線診断機器のコンピュータ支援オペレーションに関する研究。
- 伊藤茂樹 教授：マルチスライス CT を用いた画像診断技法の開発とその臨床応用。腹部（特に肝胆膵領域）の画像診断。胸部（特に肺癌）の画像診断。心血管系の画像診断。vascular interventional radiology.
- 今井國治 助手（学内講師）：数理統計学及び情報理論を用いた CAD のための画質評価法の構築。高電圧下における誘電・絶縁材料の放電劣化・破壊現象に関する研究。
- 緒方良至 助手：水素同位体分離に関する研究。環境放射能の測定 & #8212; ；特に環境レベルのトリチウムの測定に関する研究。放射線取扱施設の安全管理に関する研究。
- 小幡康範 教授：原体照射法。生物学的線量評価法・治療領域線量測定法
- 川浦稚代 助手（学内講師）：人体ファントム計測システムを用いた医療被ばくの測定・評価。放射線が生体へ及ぼす影響に関する研究。線虫の動態解析システムの開発。線虫を用いた放射線の生物影響評価に関する研究。
- 小寺吉衛 教授：医用画像の評価法の開発。検出器、表示系を含む医用画像の解析・評価。画質の向上と被曝線量の低減を目的としたデジタル画像処理。3次元画像表示システムの開発。
- 小林嘉雄 助教授：コンピュータ画像診断支援。
- 小山修司 講師：診断領域 X 線の計測法の研究。医学における知能情報学の応用。X 線 CT の患者・術者の被ばく線量計測。診断領域 X 線のエネルギー計測。マンモグラフィにおける線量計測。
- 島本佳寿広 教授：乳腺・甲状腺の画像診断における、特に超音波による悪性腫瘍の診断に関する研究。フィルムレス読影の診断能に与える因子を明らかにし、診断能に悪影響を与えないモニタの基準、読影環境、端末の操作性等を確立する研究。画像診断をすすめる際の診断論理過程を明らかにするとともに、診断医の判断の再現性と一致度を解析することにより、その診断論理の妥当性を検証する研究。
- 田伏勝義 教授：放射線治療における線量測定。放射線治療の最適照射法・チェレンコフ光の測定への影響。モンテカルロシミュレーションによる線量計算。
- 津坂昌利 助教授 診断用 X 線スペクトル測定とその応用に関する研究。IT 活用による医療技術者教育システムの開発。高速画像ネットワークの技術開発と応用。X 線 CT の性能評価に関する研究。CT 画像を用いた診断支援システムの開発。暗号化通信技術の遠隔医療への応用。
- 成田憲彦 助手：骨密度測定に関する研究。放射線被ばく線量評価に関する研究。
- 本間光彦 助手：放射線治療領域における放射線計測法に関する研究。CR の応用利用法。人体解剖実習前の X 線撮影に関する研究。放射線カウンセリング。
- 前田尚利 教授：医用画像観察下における医療従事者の視覚特性の解析とこれを応用した画像評価法の構築。核医学的手法を用いた心臓の収縮の解析。正常および異常な収縮運動をする心臓のファントムの作成。

4. 対外的な、または社会に関わりある活動

- 1) 国際放射線防護委員会 (ICRP) 第2専門委員会委員および内部被ばく線量評価に関するタスクグループ「INDOS」委員として、ジュネーブでのICRP合同会議に出席する等、放射線防護に関する新しい基本勧告の策定ならびに第2専門委員会の刊行物の原稿執筆に専門家の立場から参画した(石樽)。
- 2) 経済産業省原子力安全・保安院総合資源エネルギー調査会臨時委員として、経済産業大臣より当調査会への「今後の原子力安全確保及び電力の保安のあり方」に関する諮問についての審議および六ヶ所村核燃料施設等の現地調査に参画した(石樽)。
- 3) 岡山県環境放射線等測定技術員委員会委員として、核燃料サイクル開発機構人形峠環境技術センターの事業に伴う当センターおよび岡山県が実施した環境放射線の監視測定データの解析ならびに技術的評価に参画した(石樽)。
- 4) 放射線医学総合研究所物理学的線量評価ネットワーク会議委員として、原子力災害・放射線被ばく事故時における国としての迅速な線量評価体制の整備および技術上の指針に関する審議に内部被ばく線量評価の専門家の立場から参画した(石樽)。
- 5) 原子力安全技術センター放射線取扱主任者試験委員会委員として、当試験の問題作成、合格候補者の判定、試験問題の分析評価等に参画した(石樽)。
- 6) 放射線影響協会セミパラチンスク健康影響調査委員会線量評価ワーキンググループ委員として、カザフスタン共和国セミパラチンスク旧ソ連核実験場周辺地域住民の被ばく線量の推定に関する技術的評価ならびに指導助言に専門家の立場から参画した(石樽)。
- 7) 高校生の放射線に対する理解を深めてもらうため、原子の成り立ちから、放射線の種類、放射線の物質との相互作用などにつきわかりやすく解説し、簡易式の放射線測定器を用いた実習を行い、自然に存在する放射線に対する理解を深めてもらった(緒方)。
- 8) 本学で開催された(社)日本生体医工学会主催の第27回第2種ME技術実力検定試験において、試験委員および会場責任者(津坂)、試験監督(小山、成田、緒方、本間)として運営に関わった。
- 9) 診療放射線技師を対象に、X線CTによる患者被ばくの考え方、線量測定に使用される器具、測定の方法、測定値の処理などについて説明し、その具体的な方法について実技指導を行った(小山)。
- 10) 小中高校の教員を対象とする愛知・岐阜・三重地区環境・エネルギー問題セミナーの実行委員として、企画・進行・実験指導を担当した(緒方)。
- 11) 独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員として、医療機器と関連機器との相互作用に関する検討を行い医療機関に注意喚起を行った(小寺)。

(主任：小寺吉衛)

検査技術科学専攻・病態解析分野

本専攻は、高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、かつ医療人として不可欠な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を備えた臨床検査技師、さらに検査技術科学を学問として追及する教育・研究者を育成することを目的としている。病態解析分野は、環境病因解析学、病態化学解析学、病因病態解析学、生体生理解析学、形態情報解析学、分子病態解析学の6領域からなり、先端的の研究、学際的な病態解析、技術開発を進めるとともに、先端医学につながる病態解析科学研究を遂行できる能力の育成、指導的立場に立つのに必要な高度な専門知識・技術を有する人材を育成することを目的としている。平成17年4月大学院医学系研究科博士課程医療技術学専攻病態解析学分野には、20名の第4期前期課程大学院生を、4名の第2期後期課程大学院生を迎えることができた。

1. 学部構成・運営

本専攻は2つの大講座によって構成されているが、講座の壁をなくし、専攻が一丸となって運営している。

- (1) 基礎検査学講座：人体から得られる、あらゆる情報を分析・整理・総合して、健康状態や病的状態を把握するために、生体情報修得のためのハードウェアおよび情報処理のソフトウェア、生体情報取得のための管理・運営と精度管理の方法、人体に関する外的病因を環境分析によって認識する方法等、科学的根拠の提供に必要な基礎知識および技術について教育・研究を行う。
- (2) 病因・病態検査学講座：生体情報の基礎的理解に基づき、病原体および病因を病原体側と宿主反応側から検索する方法、形態変化としての情報を認識する方法、生理機能の変化を情報として記録・認識する方法、体液・分泌物・排泄物等の検体物中微量物質の変化を主として化学的・物理的に情報化する等、病的状態の把握や病因の解析に必要な知識および技術について教育・研究を行う。

専攻の運営は全教員が参加する専攻会議の決定に従って行われた。専攻会議は第1と第2水曜日の12時および第4水曜日の17時から開催された。

2. 教育

- 1) 4月に第8期の入学生43名（推薦入学生13名、前期日程入学生22名、後期日程入学生8名）を迎えた。
- 2) 4月の新入生ガイダンスには専攻主任、学生生活担当教員、学生教育担当教員と全員の学生が参加し、専攻の教育と学生生活のガイダンス、教員の紹介、指導教員の紹介、学生の自己紹介などが行われた。
- 3) 4月の第6期編入生（入学生4名）ガイダンスには専攻主任、学生生活担当教員、学生教育担当教員が教育と学生生活、教員紹介、研究室紹介、研究指導教員などについて説明した。
- 4) 4月には検査技術科学専攻の2年生が中心になって教員と共に新入生歓迎会を大幸厚生会館にて開催した。
- 5) 9月1日に第5回大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学分野（博士前期課程）の入学試験を実施し、23名の合格者を決定した（実際の入学者は21名）。また、9月2日には第3回の大学院 同（博士後期課程）の入学試験を実施し、1名の合格者を決定した。
- 6) 8月に第7回の3年次編入試験を行い、5名の合格者を決定した。
- 7) 9月に第5期生の臨地実習を充実させることを目的に医学部附属病院検査部の教員および技師との合同会議を開催した。
- 8) 平成18年3月には本専攻の第5期生の卒業生として、編入生を含め44名を社会に輩出した。そのうち17名が大学院博士前期課程（2名が他大学大学院）へ進学し、就職希望の25名は主に国公立大学病院、公私立病院等の検査部に就職し、就職率はほぼ100%であった。なお、2名は就職を希望しなかった。
- 9) 第5期生の第52回臨床検査技師国家試験（平成18年3月3日）の合格率を上げるために、全教官による教育指導と4回の模擬試験を実施した。5期生の第52回臨床検査技師国家試験合格率は90.2%であった。

3. 研究

本専攻では保健学科設立後、大学院修士課程ならびに博士課程設置に向けて各系独立型および融合型の研究体制を

構築し、研究設備とスタッフの充実に重点を置き、大学院博士課程病態解析学分野への大学院生の受け入れ体制を整備してきた。平成17年4月5日に20名の博士前期課程第4期生を迎え、研究活動がますます活発になり、国際学術雑誌への投稿論文数と国際学会への発表演題数が増加してきた。また第2期博士後期課程に4名を迎えることができ、さらに高度な研究活動の継続が可能となった。その成果の1つが9月24日に開催された第5期生による卒業研究発表でもある。以下に各講座における卒業研究発表内容を示す。

【免疫・微生物系（病因病態解析学）】

担当教員：長瀬文彦、伊藤秀郎、川部 勤、川村久美子

1. 院内感染起因菌の遺伝学的解析
2. 臨床分離アシネトバクター属の消毒薬感受性の調査
3. 消毒薬抵抗性アシネトバクター属の解析
4. 活性型 Vitamin D3 および Dexamethasone によるトリプトファン代謝酵素 IDO を発現する骨髄由来樹状細胞の樹立
5. トリプトファン代謝産物 NAD と ATP による T 細胞アポトーシスの誘導と樹状細胞の調節
6. 肺胞マクロファージ株 AMJ2-C11の免疫応答性の検討—マクロファージ細胞株 RAW264.7 との比較—

【病理系（形態情報解析学）】

担当教員：横井豊治、市原正智、橋本克訓

1. 子宮頸部扁平上皮病変の病理細胞診断におけるヒトパピローマウイルス感染の意義
2. 子宮頸部扁平上皮病変における細胞異型と癌原遺伝子の増幅、染色体の異数性との関連
3. RET チロシンキナーゼ下流における Sprouty ファミリータンパク質の機能解析
4. 効果的な siRNA 配列予測アルゴリズムの実験的検証

【生理系（生体生理解析学）】

担当教員：古池保雄、永田浩三、野田明子

1. 睡眠時の聴覚誘発反応所見について
2. 近赤外線スペクトロスコピーによる脳血行動態と終夜睡眠ポリグラフィ所見との関係
3. 組織ドプラ法による心内膜心筋 Strain-Strain rate 解析の有用性
4. 糖尿病治療薬ピオグリタゾンが食塩感受性高血圧ラットにおいて心肥大を抑制する
5. 食塩感受性高血圧ラットにおける Teprenone の左室肥大抑制効果の検討

【血液系（分子病態解析学）】

担当教員：村手隆、小嶋哲人、高木明

1. 新規転写因子 FKLf-2 (KLF13) の筋肉分化系における発現調節機序
2. セラミドキナーゼの細胞内機能と発現調節機序
3. GST 融合蛋白質発現システムを用いた抗 ZFF29b 抗体の作製
4. 血小板無力症例における遺伝子異常解析
5. 先天性プロテイン S 欠損 7 症例の遺伝子解析
6. 血液凝固第 V 因子 R2 haplotype の日本人における遺伝子頻度解析
7. リコンビナント W67S LMAN1 の作成解析

【分析系（病態化学解析学・環境病因解析学）】

担当教員：高木健三、涌澤伸哉、高木健次、近藤高明、北市清幸

1. フラボノイドの生体における抗アレルギー作用の検討
2. モルヒネの生体内動態に関する研究：生体試料中モルヒネの測定系確立とドラッグトランスポーターの影響について
3. Multidrug Resistance 3 P-glycoprotein の発現機構について
4. 健常人集団での赤血球ポリアミン値の特性：生活習慣との関連
5. 健常人集団での赤血球ポリアミン値の特性：検診結果との関連

6. 血球中スベルミンおよびスベルミジン分析と臨床応用への基礎検討

7. Streptozotocin 誘発性糖尿病モデルラットにおける有機リン酸系殺虫剤投与による血中コリンエステラーゼ活性の影響

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

A) 国際交流

小嶋哲人教授は、平成17年9月に XXth Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, Sydney, Australia に参加し、共同演者として2演題のポスター発表など各国の研究者と交流して最新の学術情報収集を行った。また、平成17年12月には American Society of Hematology Forty-Sixth Annual Meeting (San Diego, U.S.A.) に共同演者として1演題のポスター発表を行い各国の研究者と情報交換を行った。

B) 大学間交流—国立大学検査技師教育施設協議会—

平成17年度は東北大学医学部保健学科を会長校として、6月3日(金)に第42回国立大学臨床検査技師教育施設協議会が開催された(出席者：伊藤秀郎教授)。主な議題：1) 国家試験問題基準検討委員会の活動と今後の方針について、2) 国家試験会場の早期公表について、3) 臨床検査技師の専門認定技師制度について、4) 学内実習に関するアンケート調査について、5) 国立大学法人後の各大学の対応について、6) 臨床検査技師国家試験合格発表の早期実施について、7) 大学院教育の充実に向けてについて審議した。

C) 地域との連携

古池保雄教授は、野田助手とともに平成11年から睡眠外来を継続し、学会認定技師の資格取得を可能にするべく、本学の検査技術科学の教育研究の向上への努力を継続している。

また、東海地区の検査技師技術向上を目指して脳波検討会(中部脳波検討会)を毎月定期的で開催しており、さらに、主にてんかん学を対象とする「名古屋臨床脳波検討会」、睡眠学を対象とする「東海睡眠障害研究会」、パーキンソン病研究会である「中部パーキンソン病研究会」、自律神経疾患研究会である「自律神経懇話会」などの研究会継続に努力している。

高木健三教授は、愛知・岐阜在宅酸素療法研究会の会長として、東海喘息研究会および愛知成人喘息研究会の代表世話人として、呼吸器・アレルギー領域の東海地区における医師、医療従事者の卒後教育の一端を担った。また、日本アレルギー協会理事(東海支部長)として、東海4県のアレルギー週間行事を統括するなど地域社会への啓発活動を積極的に推進している。さらに、同教授は愛知県と名古屋市の公害健康被害認定審査会委員として審査にあたっている。平成17年度7月には第36回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会(名古屋市)会長を務め、職業・環境アレルギー性疾患の臨床的研究と基礎的研究の発展に貢献した。

伊藤秀郎教授は、名古屋市内の総合病院細菌検査室との共同研究で院内感染起因菌の薬剤耐性遺伝子の保有調査と消毒薬耐性遺伝子について調査研究した。その成果は院内感染防止対策に有効に利用された。

村手 隆教授は、愛知県特定疾患認定審査会議委員として申請書類の審査に関わった。

横井豊治教授は、専門である呼吸器疾患の病理診断学の知識と経験を生かし、日本病理学会の呼吸器コンサルタントとして、東海地区を中心とする多数の医療施設より、呼吸器疾患を中心に病理診断のコンサルテーションを受け入れている。平成17年度は約50例の症例を検討・報告し、各施設における呼吸器領域の診療・研究に貢献した。また、日本臨床細胞学会東海連合会幹事として、平成17年6月には日本臨床細胞学会東海連合会主催の細胞診基礎講習会において、11月には日本臨床衛生検査技師会主催の第3回中部地区病理検査研究班研修会において、呼吸器などの病理細胞診の講義を行い東海地区における細胞検査士の育成、生涯教育に貢献した。また、横井豊治教授、市原正智助教授は平成17年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座「あなたはがんについてどこまで知っていますか」において、それぞれ「顕微鏡でがんを診断する」、「がんになるメカニズム」のタイトルで講義を行い、一般市民へのがんの知識の啓蒙に貢献した。

小嶋哲人教授は、医師、臨床検査技師を対象とする東海血栓症研究会、東海血栓症セミナー、ならびに凝固線溶セミナーの世話人として、東海地区の幅広い血液凝固学領域研究の交流と促進活動を活発に行った。また、愛知県特定疾患研究協議会において血液凝固異常症調査研究を行った。さらに、日本臨床血液学会の中部地区幹事として活動した。

高木健次助教授は、名古屋市を中心とした愛知県下にある殺虫剤、殺鼠剤、シロアリ防除剤などの薬剤を取り扱う作業者集団の健康問題の取り扱いの一環として、平成17年8月に健康診断および散布作業の頻度、作業に関わる自覚症状等の問診を行った。また併せて、尿中の有機リン代謝物を測定し散布作業との関連性をまとめるなどの調査研究を実施した。本調査研究の対象としては、中小零細事業所の作業者であり、本研究が中小企業の産業保健のあり方及び労働衛生管理において有用な成果を提供しているものと考ええる。また、愛知県地区を中心とした医療従事者（理学療法士・作業療法士・看護師）を対象として「糖尿病について」「炎症について」と題して、平成17年2月に2回の日程で、生化学的側面からの基礎的な内容で教育講演をし、医療職に従事されている方々の卒後教育の一旦を担った。

近藤高明助教授は、犬山市健康プラン推進委員会の委員（学識者）として、健康増進法にもとづき策定された犬山市保健計画の実施にあたり助言を行った。また愛知県職員の健康管理アドバイザーの一員として、健診結果で血中脂質代謝異常が疑われた職員を対象とする健康教室で講演を行った。専門の疫学分野では、愛知県内の防虫作業従事者を対象とした撒布作業に関連する健康調査、北海道八雲町での住民健診の機会を利用した生活習慣病リスク調査を行うためのフィールド調査に参加した。

市原正智助教授は、平成17年度名古屋大学医学部保健学科・市民公開講座“あなたはがんについてどこまで知っていますか”において“がんになるメカニズム”という題目で講演を行い教育、研究の成果の社会への還元に努めた。

永田浩三助教授は平成17年6月に半田市医師会の主催する講演会において医師を初めとする医療従事者を対象として高血圧の最新治療に関する講演を行い、医療従事者の卒後教育の一端を担った。平成17年11月に岐阜県病院薬剤師会東濃ブロック会の主催する講演会にて「日本人における高血圧治療－病態に応じた降圧薬の選択－」と題する講演を行い、薬剤師の卒後教育の一端を担った。また、同月、東区医師会の主催する定例集会・学術講演会において「高血圧のテーラーメイド医療に向けて－至適降圧薬の選択－」と題する講演を行った。平成18年1月に Hypertension Conference において医師を対象として心保護を考慮した降圧療法に関する講演を行い、啓蒙に努めた。平成18年2月に第4回東海心血管系アルドステロン研究会において医師を初めとする医療従事者を対象として抗アルドステロン薬の心血管効果に関する講演を行った。平成18年3月に南区医師会の主催する勉強会において「心臓病と分子生物学－これからの臨床医に必要な知識－」と題する講演を行い、医療従事者の卒後教育の一端を担った。

（主任：伊藤秀郎）

理学療法学専攻

1) 前文

本専攻の教育・研究目標は、高度医療・技術を支える豊かな人間性の形成を基本とし、理学療法に必要な基礎・臨床医学的知識を身体機能と障害の観点から再編して、体系化し、機能と障害を生体の情報として分析・評価し、それらの回復や予防への科学的関連づけを可能にすることである。これにより新たな理学療法を理論的に構築し、より高度な知識と技術を身に付けた理学療法士を養成するとともに、最近必要性が高まりつつある健康医科学領域への道を開き、さらに高齢社会に対応できるよう地域や高齢者に対する理学療法を強化する。さらには、理学療法研究を通じて理学療法学を実証的学問として確立し、医療の場、教育の場、地域において指導的役割を果たすことができる教育・研究者の養成を目指している。平成16年度には大学院医学研究科リハビリテーション療法学専攻に後期（博士）課程が設置され2年目を迎えた。

本専攻は、東海地区では唯一の博士課程を有する理学療法士の教育・研究機関であり、博士課程の専攻はリハビリテーション療法学専攻であり前期と後期課程からなる。前期課程理学療法学分野と作業療学分野に分かれるが、後期課程は2分野には分かれずリハビリテーション療法学専攻1本である。後期過程はまだ卒業生を輩出していないが、博士（リハビリテーション療法学）の学位を目指し大学院生が活発な研究活動を展開している。

2) 運営

本専攻は基礎理学療法学講座と病態理学療法学講座の2大講座から構成されているが、専攻運営は、講座の壁をはずし全教員（総数11名）による専攻会議（毎週水曜日12時から開催）における協議・決定にしたがい進められている。さらに、学部運営では関係の深い作業療法学専攻との両専攻会議（毎月第3水曜日）を行い、また大学院の運営に関しては関係教員によるリハビリテーション療法学教員会議（毎月第1水曜日）を行っている。

- (1) 基礎理学療法学講座：理学療法研究の基礎となる知識や技術を開発・発展させるための生体の構造と機能に関連づけた体系的な基礎教育、身体運動からみた人体機能の体系的教育、機能と障害に重点を置いた臨床医学実践の基盤となるような基礎（医学）教育、機能異常や障害を病態として把握し的確な分析・評価能力を培う教育を実践しつつ、それらを裏付けるための研究を推進している。
- (2) 病態理学療法学講座：理学療法の実践に必要な科学的知識と技術を発展させるため、経験や感覚に頼りかちな生体反応を生体情報として定量的に評価すること、障害を機能的に分析し理学療法との理論的関連を追求すること、またそれらを通して障害からの回復のための治療・障害の予防方略などに科学性を持たせることを目標とし教育・研究を行っている。

これらの教育・研究を実践するため、全教員が基礎的テーマと臨床的テーマをできるだけ合わせ持つようにして、研究を推し進めている。

3) 教育活動

4月に保健学科理学療法学専攻第8期生として22名の学部学生を迎え入れた。選抜方法による内訳は、推薦入学7名、前期日程試験入学13名、後期日程試験入学2名、性別では男子学生11名、女子学生11名であった。3年次編入生の該当者はなかった。さらに、大学院前期課程に7名（一般選抜7名）、後期課程に4名（作業と合わせると6名）が入学した。こうして、理学療法学専攻としての学生数は、1年生22名、2年生20名、3年生21名、4年生25名（うち、編入生4名）、大学院修士課程リハビリテーション療法学専攻理学療法学分野の1年生7名、2年生10名、博士課程のリハビリテーション療法学専攻のうち理学療法学関係学生は1年生4名（一般選別1名、社会人特別選抜3名）、2年生4名（一般選別2名、社会人特別選抜2名）となった。

新学期には、4月2日(土)に新入生ガイダンス、5日(火)に大学院生ガイダンス、さらに6日(水)には保健学科全体と専攻ごとの学部新入生ガイダンスと在校生（各学年）ガイダンスをおこなった。在校生ガイダンスでは、共通科目については理学療法学専攻・作業療法学両専攻合同で、専門科目については理学療法学専攻単独で、各学年別に1時間ずつを使い、本年度のカリキュラムの説明、学生生活のルールの再確認を行った。また、6日(水)には、作業療

法学専攻と共同で、全教員との顔合わせと新生に対して生活（特に別館でのルールなど）ガイダンスを行った。これらにより、本専攻に所属する学部学生、大学院生のすべてに対して、カリキュラムの説明、学生生活のルールの説明・再確認がおこなわれた。主任、教育委員、学生生活委員、授業担当教員がそれぞれの説明を担当した。

4月9日(土)には、専攻内での新生歓迎会を行った。新2年生が幹事となり、土曜日半日を使い、在校生、新生、教員が全員参加し、全員の自己紹介、スポーツリクレーション(バレーボール、体育館)、懇親会(大幸厚生会館)を通じて人間的交流・連携の強化を達成した。まだ入学して間もない新生の緊張を解きほぐすための良い企画であった。

4月下旬から臨床実習「・」の始まる4年生を対象として、4月中旬には、臨床実習に備え、各教員が臨床実習に必要な項目についての学内実習をおこなった。

5月7日(土)から8(日)にかけて、中津川東海地区国立大学研修センターにおいて1泊2日の厚生補導特別企画が実施された。新生と新2年生全員に上級生名、全教員、その他で総勢62名が参加した。この企画は、新生がスムーズに快適で充実した大学生活を送れるようにするための導入部としての研修旅行であり、教員・職員・学生・先輩・後輩が寝食を共に生活することにより、縦と横の強い人間関係を構築することを目的として、短期大学部時代から毎年実施されてきたものである。今年度は、1日目に荒川高光先生(短大卒業生、神戸大学大学院医学系研究科脳科学講座神経発生学分野博士課程)の講演があり、その後、スポーツ活動(バレーボール)と懇親会を開いた。2日目は妻籠発～馬籠へのハイキングをおこなった。企画の目的は十分に達成し得た。

4月25日(月)から、4年生の臨床実習が始まった。この実習は各種疾患を観察し、臨床実習指導者のもとに基本的検査技術を実施することを目的としている。多くの不安を抱きながら、実習先に向かった。4週ごとに反省会が行われ、種々の問題点などが指摘されたが、全員無事この実習を終えることが出来た。今年度から開始した臨床実習前の各教官による学内実習により、各学生と実りの多い臨床実習を経験できた。

6月24日(金)に4年生を対象として、地域理学療法学実習のガイダンスをおこなった。本実習は訪問理学療法の実際を見学できる貴重な実習である。

6月2日(木)の名大祭第1日目の夕刻、保健学科別館中庭において、理学療法学・作業療法学両専攻の学生主催のパーベキューパーティーがおこなわれ、両専攻の教員を交えて、交流が図られた。夏休み直前に、3年次編入生と指導教員とで、編入学後の状況把握と相互理解のための話し合いを持った。内容はおもに教科履修、研究テーマ、学生生活についてであり、現況および将来構想、大学への要望など活発に話し合った。

前期補講期間を用い、8月8日(月)～12日(金)の5日間、夏期特別実習(人体解剖実習)が開催され、理学・作業両専攻の多数の学生が参加した。医学部主催の人体解剖トレーニングセミナーで解剖された遺体が提供された。学生にとっては、人体構造と機能の理解を深めるとともに、遺体に対する感謝の念を通して人の命の尊厳を考え、将来の医療人としてのあり方を考えるよい機会となった。

8月23日(火)に編入学試験を実施した。今年度は専門学校出身者が5名受験し、2名が合格した。

9月1日(木)に大学院博士前期課程、2日(金)に後期課程の入試を実施した。今年度はリハビリテーション療法学専攻博士前期課程理学療学分野に7名(一般選抜5名、社会人特別選抜2名)、博士後期課程理学療法学関係に2名(一般1名、社会人1名)が合格した。

後期授業では4年生の卒業研究の後半部分が再開され、12月9日(金)に大学院講義室において、最終発表がなされた。編入生を含め合計23題の発表があり、3年生をはじめとする下級生も参加し、活発な討論がなされた。1、2年生にとっては将来の自身の研究の参考になったと思われる。また、3年生の卒業研究中間発表会が平成18年2月22日(水)に大学院講義室で行われた。合計22題の発表があり、1、2年生からの質問も多く、活発な発表会であった。また、中間発表会終了後、3年生に対し、大学院ガイダンスと就職ガイダンスがおこなわれた。

大学院では、作業療法学専攻を含むリハビリテーション療法学専攻博士前期課程2期生の修士論文発表会が平成18年2月7日(火)に大講義室で行われた。合計10題の発表があった。また、前期課程4期生の中間報告会が平成18年3月11日(土)に大学院講義室で行われた。合計7題の発表があった。

3月6日(日)に理学療法士国家試験が施行され、本専攻学部卒業予定者21名が受験し、18名が合格した。3月27日(月)には保健学科第5期生の卒業式が執り行われた。本専攻は23名の新卒業者を世に送り出した。そのうち16名が病院に

勤務し、3名が大学院へ進学、その他4名であった。

以上とは別に、名大理学療法研究会の事務局を本専攻に置き、短期大学部理学療法学科と保健学科理学療法学専攻の卒業生の研究活動を支援している。当年度は、平成17年7月16日(土)と平成18年1月21日(土)に研究会が開催され、会員の研究発表と専攻教員による特別講演が行われた。毎回40～50人が参加した。

4) 研究活動

前述の通り本専攻は、全教員が基礎的テーマと臨床的テーマを可及的に併せ持つように努力し、研究を進めている。各教員の研究テーマは、以下の通りである。

猪田邦雄 教授：関節の生理・バイオメカニクス・病態とリハビリテーション、関節の拘縮と軟骨代謝、高齢者の関節疾患と医療経済、転倒予防

小林邦彦 教授：関節拘縮の病態と微細構造、温熱(灸)刺激による皮膚の微細構造変化、解剖学教育法

河村守雄 教授：実験的異所性骨化と関節運動および不動化の関係、骨形成因子の特性と臨床応用、脊髄損傷モデルマウスの病態、慢性腰痛症状保有者の再発予防対策

鈴木重行 教授：培養筋細胞を用いた機械的刺激の影響、筋ストレッチングと疼痛抑制法の臨床的効果、女性尿失禁に対するバイオフィードバック療法、糖尿病と関節拘縮モデルラットを用いた理学療法効果の検証

山田純生 教授：疾病管理における運動介入、骨格筋パワーを用いた運動処方、運動習慣化を促進する指導方策、電気刺激療法と運動耐容能、運動中の換気様式に関する研究

木山喬博 助教授：治療用超音波の機械的効果の検証(皮膚、筋、血流への影響)

河上敬介 助教授：機械刺激に対する培養細胞の形態応答のメカニズムの解明、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム、筋・筋膜連結の形態と臨床的意義

肥田朋子 助手：疼痛時の神経・筋機能の解析、物理的刺激に対する神経・筋の応答

石田和人 助手：脳出血モデル動物における中枢神経の病理変化と運動療法の効果に関する研究、ニューロン障害の最初期像の解析とその予後に関する研究、糖尿病モデルラットを用いた理学療法効果の検証

宮津真寿美 助手：伸張刺激による内皮細胞の細胞骨格・接着斑の動態、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム

加藤智香子 助手：高齢者の身体活動量・筋力・バランス・QOLなど、転倒予防、ヒッププロテクター

現在は、これらの研究テーマをもとに、リハビリテーションに関係した臨床系の研究、生体の微細構造究明に関する研究、物理療法の機器の開発と治療効果に関する研究、モデル動物を用いた各種病態究明と治療・予防法の確立に関する研究の4本柱を構築して、それぞれの研究室を整備・充実させている過程である。

5) 対外的な、または社会と関わりのある活動

今年度より年に1度の開催となった臨床実習指導者連絡協議会(スーパーバイザー会議)を平成17年7月21日(木)に行った。内容は、臨床実習全般(理学療法イントロダクション、同コミュニケーション、Ia、Ib、II、III)についての報告と反省、昨年度より開始した臨床実習前の学内実習である臨床実習Ibの実際と学習効果、さらに臨床実習II、IIIについて本学の理念や目的と実習施設における実習目的との差などについて協議した。更に、後期より始まる臨床実習Ia、理学療法コミュニケーション、同イントロダクションについて協議した。

専攻代表が出席した学外関係会議は、臨床実習東海地区理学療法士養成施設連絡協議会(平成17年9月30日(金)、会場：名古屋医療福祉専門学校、平成18年3月17日(金)、会場：日本医療福祉専門学校)、全国理学療法士・作業療法士学校養成施設連絡協議会(6月18日(土)、金沢)、第8回国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会(9月29日(木)～9月30日(金)、担当：秋田大学)である。

毎年夏に催される名古屋大学・大学説明会は8月10日(水)に行われた。今年から保健学科は大幸キャンパスを主会場とすることになり、保健学科全体の説明がなされた後、参加した高校生に本専攻の特徴等について山田専攻主任が

説明した。その後、本専攻主催の説明会には約120名が参加し、教員と学生が施設を案内し、質問に答えた。質問も鋭くかつ多く、高校生の興味の深さが示された。

その他の対外活動としては、一昨年度より開始された隣接する大幸医療センターでの相談外来では、河村教授の腰痛相談室、猪田教授、加藤助手の転倒予防教室（転ばん大幸教室、名古屋市との共同主催）、鈴木教授の女性尿失禁相談外来が引き続き行われた。

4月から7月にかけて市民を対象として、「障害イキイキ健康を創ろう！一寝たきり・痴呆を防ぐ為に一」をメインテーマとしてNHK文化センターの名古屋大学提携市民講座が開かれ、本専攻の教員6名が交替で担当した。各回の話題は、「序・骨・筋・脳・心臓・痛み」、であった。参加者は約30名で、毎回活発な質疑応答があり非常に好評であった。

全国PT・OT学校連絡協議会のもとに、東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）の理学療法・作業療法に関係する各養成校の教員及び関連する教育に関わる専門職の資質向上を目的として平成17年1月29日（土）に東海地区教育協会が開催され、会長に本専攻の鈴木重行教授が就任した。第1回研修会は同日に「OSCEを用いた学校教育（講師：群馬大学 内山靖教授）」をテーマとして開催された。第2回研修会は11月3日（木）に「臨床実習における精神不安定学生の現状と対策（講師：名古屋大学 鈴木國文教授）」をテーマとして開催された。

（主任：山田純生）

作業療法学専攻

作業療法学専攻は、作業療法に関する学問体系の確立、作業療法領域の高度専門職業人の養成、そして、この領域における研究者、教育者の育成を目的として設置された専攻である。

本専攻の教員は、作業療法士8人と医師3人の二領域の教員から編成されているが、それぞれの背景分野を活かした教育・研究活動を通して、ともに作業療法学の発展に資するよう、努力をしている。

1. 運営

本専攻の運営は、全員参加して行われる水曜日の専攻会議を中心に行われている。専攻会議は、本専攻の中心となる審議・決議組織と位置づけられ、作業療法学専攻の運営上の諸問題が話し合われる一方、全保健学科の委員会の報告や持ち帰りの審議がなされ、それに対する作業療法学専攻としての態度決定が行われている。具体的には、専攻の行事・事業計画、その進行の確認、活動の報告・反省、予算分配に関する審議・決定、学生の教育に関する諸事項の審議（例えば、学生の生活上・成績上の諸問題に関する教育方針の確認、臨床実習や卒業研究の可否決定など）が行われている。

教員人事など教授専任事項については、不定期に開催される専攻教授会議において審議・決定されている。この会議は全員一致を原則として運営されている。

また、様々な点で密接な連携関係にある理学療法学専攻とは、月1回水曜日に教員全員が参加する両専攻会議をもち、意思の疎通を図っている。作業・理学連携事項については、この会議で審議・決定されている。

平成17年度は大学院博士後期課程の開設2年目に当たる。大学院では、作業療法学専攻は理学療法学専攻とともにリハビリテーション療法学専攻を構成し、ひとつの専攻として運営されている。大学院に関わる諸事項については、月1回水曜日に行われる大学院教員会議（大学院担当教員全員が参加）によって審議され、運営されている。

2. 教育活動

17年3月25日卒業の四期生は卒業生20名、内大学院進学者が2名で、他の卒業生は全員医療・保健機関へと就職した。

17年4月1日には、20名の学部入学生、1名の三年次編入生を迎え、大学院博士前期課程には5名（内一般入学3名、社会人入学2名）の第四期入学生を迎え、大学院博士後期課程には2名（内一般入学1名、社会人入学1名）を迎えた。

4月15日16日には、学部および大学院入学生へのガイダンスを一泊二日の日程で犬山ユースホステルにて行った。これには学部三年生までの多くの学生、および大学院生が先輩として参加し、入学生との交流を深めた。

6月25日に博士課程後期の中間発表会を実施した。博士課程後期の第一期生の研究の進捗状況の発表が行われ、リハビリテーション療法学専攻の教員の多くから今後の研究の進め方について、指導があった。

8月10日、名古屋大学説明会を行い、作業療法学専攻にも見学者を迎えた。

8月23日に編入学試験、9月1日に大学院博士前期課程、9月2日に大学院博士後期課程の入学試験が実施された。

9月16日に卒業研究中間発表会を実施した。

12月2日に卒業研究発表会を実施した。

18年2月9日、18年度の総合臨床実習に向けて実習指導者会議を開催した。

2月1日、大学院博士前期課程の研究発表会を開催し修士三期生の研究成果を披露した。

3月11日、修士1年の研究中間発表会を開催し四期生の研究の進捗状況の確認と指導が行われた。

17年度4年生は、前期は総合臨床実習に、後期は前年度から継続中の卒業研究のまとめにと忙しく過ごし、18年3月27日に18名が第五期生として卒業した。（なお、他に平成17年11月に2名が卒業になっている。）この学年の大学院進学者は2名、他の卒業生はこの学年も全員が医療・保健機関に就職している。

同時に大学院の学位授与式が行われ、修士二期生9名が修士号を授与された。

3. 人事異動

森助手が平成18年3月31日をもって退職した。

4. 研究活動

本専攻の教員は、異なる専門分野から構成されているため、専攻としての共同研究が成立しにくい側面を持っている。そのため、専攻の研究は教員による各個研究が主となっている。以下のような研究が行われた。

(1) 共同研究

- 1) スモン患者の運動能力評価に関する研究（杉村、清水、美和、寶珠山、伊藤、森）
- 2) スモン患者の基本動作時間の経時的変化に関する研究（清水、杉村、美和、寶珠山、伊藤、森）
- 3) 若年スモン患者のADLとQOL（伊藤、杉村、清水、美和、寶珠山）

(2) 各個研究

- 1) 老年痴呆の障害分析的研究、老年痴呆患者の行動評価法の開発（杉村）
- 2) 介護老人保健施設などにおける作業療法の効果に関する研究、老人痴呆患者の問題処理能力などの定量的評価に関する研究（田川）
- 3) 統合失調症の精神病理学的研究、神経症の精神分析学的研究（鈴木）
- 4) 運動と体性感覚誘導脳反応に関する研究、意識と感覚情報処理能力に関する研究、人の脳における情報処理能力に関する研究（寶珠山）
- 5) 補装具と福祉機器に関する研究（伊藤）
- 6) 作業療法の歴史に関する研究（加賀谷）
- 7) 作業療法と自律神経機能に関する研究（美和）
- 8) 精神障害に対する作業療法介入効果に関する研究（美和）
- 9) 入浴の自律神経機能に与える影響に関する研究（美和）
- 10) 認知機能と情動の関係に関する研究、自己関連情報に関する心理的処理特性（清水）
- 11) 高齢者の前頭葉機能に関する研究（伊藤）
- 12) 趣味活動など生活習慣と認知機能に関する研究（伊藤）
- 13) 統合失調症に対する作業療法介入効果に関する研究（向）
- 14) 児童虐待の精神心理学的研究（向）
- 15) 作業療法専攻学生の職業レディネスに関する研究（向）
- 16) 老年痴呆の作業療法の研究（森）
- 17) 機能訓練事業に対する作業療法の役割（森）
- 18) 発達障害児の日常生活動作における作業療法の研究（浅野）

5. 対外的、または社会と関わりのある活動

17年度中に本専攻教員が主催した学会、研究集会は以下のとおりである。

- 6月12日 第15回東海精神科作業療法研究会（鈴木、美和、向）
- 9月11日 第16回東海精神科作業療法研究会（鈴木、美和、向）
- 2月5日 第17回東海精神科作業療法研究会（鈴木、美和、向）
- 5月8日 第18回精神障害者リハビリテーション研究会（鈴木、向）
- 12月17日 第16回精神障害者リハビリテーション研究会（鈴木、向）
- 3月12日 第17回精神障害者リハビリテーション研究会（鈴木、向）

(主任 鈴木國文)

2. 公開講座 (平成16年度)

平成17年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座報告

平成17年度の公開講座では、前年度までの実績、問題点をふまえて公開講座委員会を中心に討議し、実施にあたり以下のようにいくつかの変更を行った。

1. 受講者の減少に歯止めをかけるため受講料を無料とした。なお従来のように大学本部の公開講座規定に沿った企画として開催するには定められた受講料を徴収する必要があるため、独自に開催することとした。
2. 1. の理由で本部への予算要求ができないため、資料作成等で大幅な経費節減を行い、支出を最小限にとどめるよう努力することとした。
3. 保健学科全体の行事という位置付けを明確にし、専攻横断的な内容とし複数専攻から講師を選任することとした。
4. 受講者の時間的負担の軽減のため、1日のみの開催とした。

このような方針に基づいて実施したので概要を報告する。

平成17年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座

テ ー マ	あなたはがんについてどこまで知っていますか
開講日時	平成17年10月16日(日) 9:30~16:10
開講場所	名古屋大学医学部保健学科大講義室 (当初、大学院講義室を予定したが、受講申し込みが125名となったため、大講義室に変更した。)
募集人員	100名
受 講 料	無料
後 援	愛知県、名古屋市、名古屋大学医師会、愛知県医師会、名古屋市医師会、愛知県看護協会、愛知県放射線技師会、愛知県臨床衛生検査技師会、愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会
テーマ説明文	
日本人の死因の一位の座を占めるがん(悪性腫瘍)についての情報は巷にあふれていますが、その中から正確で有益な知識を得ることは容易ではありません。本講座ではがんについて特に社会の関心が高い4つのテーマを取り上げ、皆様に最新の情報を提供します。講義はすべて名古屋大学医学部保健学科に所属し、各テーマを専門に研究している教員が担当します。	

開講時間・題目・講師

第1講	9:40~10:50	「がん早期発見のための最新画像診断機器」	放射線技術科学専攻助教授 池田 充
第2講	11:00~12:10	「がんになるメカニズム」	検査技術科学専攻助教授 市原正智
第3講	13:30~14:40	「顕微鏡でがんを診断する」	検査技術科学専攻教授 横井豊治
第4講	14:50~16:00	「がんと共に生きる」	看護学専攻助教授 神里みどり
申し込み人数： 125名 当日参加人数： 94名			

アンケート結果

回答者	78名（男性 41名、女性 37名）
-----	--------------------

職業	学生	10名
	会社員	11名
	公務員	5名
	医療関係者	6名
	主婦	7名
	無職	21名
	その他	7名
	無記入	11名

年齢	10代	5名
	20代	9名
	30代	7名
	40代	8名
	50代	17名
	60代	17名
	70代	11名
	無記入	4名

参加の動機

a. 職業上の知識、理解を増すため	9名
b. 興味、関心を持ったから	48名
c. 余暇を有効に利用するため	3名
d. 生活上の知識の向上のため	29名
e. その他	15名

本講座を何で知ったか

a. 新聞	37名
b. 病院においてあった募集要項	3名
c. 区役所等の募集要項、ポスター	6名
d. テレビ、ラジオの報道	1名
e. 開催校からの案内	12名
f. 友達からの情報	5名
g. その他	18名

受講後の感想の例

- ・（年齢無記入 男性）がんについての知識の未知の部分を知り得て参考になった。
- ・（高校生 女性）大学進学を考えていて、検査技術について興味を持っていたので、仕事の内容を知ることができてとてもよかったです。
- ・（60代 男性）どんどん外へ出て、新しいことを学ぶ新鮮さを感じている。がんのパートⅡを是非計画してください。
- ・（大学生 男性）とても面白かった。来てよかったと思う。
- ・（50代 女性）難しい内容を私のような主婦にもよくわかるように話してくださって、とても楽しく聴くことができました。盛りだくさんの内容なのに飽きずに聴け、本当に来てよかったです。

- ・(30代 女性) 1つのテーマをいろいろな方向からお話し下さって、興味深いものとなりました。
- ・(70代 男性)(60代 女性) 今日講座に出席された方はある程度の知識はあるものと考えてよいと思いますので、もっと最新の情報がほしかったと思います。

開催日時等についての意見

- ・仕事をしている者にとり、休日に実施されるのはよかった。
- ・遠方からの参加ゆえ、開始時間をもう少し遅くしてほしい。
- ・1日に4講座は多いように感じました。2講座ずつ2日間に分けていただきたかったです。
- ・1日にコンパクトにまとめられていて、参加しやすかった。
- ・ひとつの講座の時間が少し長く感じました。
- ・無料でしたが、コピー代、コーヒー代くらいの請求をしていただいたらいかがでしょうか。

今後希望するテーマ

高血圧、心筋梗塞、脳卒中、認知症、老化、食生活と健康、再生医療、人工臓器、遺伝子医療、腰痛、健康食品、サプリメント、患者と病院とのうまい付き合い方、最近の感染症、心の病、災害医療、血液について、骨の病気、がんの治療、アロマセラピー、予防について、

総括

1. 94名という予想以上に大幅な受講者の増加となった。受講料の無料化、幅広い関心の得られるテーマの設定が奏功したと考えられる。
2. 複数専攻からの講師の選任により、「がん」というテーマについて様々な角度から紹介することができ、受講者に好評であった。
3. 経費節減の努力により、保健学科の共通予算を大きく圧迫することのない程度の支出で開催することができた。
4. 1日のみの開講としたことについては受講者に賛否両論があった。日程、時間配分等、細部について改善の余地があるので、来年度以降の検討課題とする。

以上。

(文責：平成17年度公開講座委員長 横井豊治)

3. 業 績 (2004年)

凡 例

◎業績の収録期間は2005(平成17)年1月～12月とした。

◎業績は下記の種別に分類した。

- * 著書
- * 原著論文
- * 総説・解説・その他
- * 科研費・班研究等
- * その他の印刷物等
- * 学会発表
- * 公開講座・講演会

◎掲載順位は ①専攻, ②業績種別, ③著者のアルファベット順 とした。

看護学専攻

1 看護学専攻

〔著書〕

浅野みどり

第 III 章 2 発達の障害のある子どもの日常生活のケア技術 B. 遊び, レクリエーション C. 学習
『新版小児看護学叢書 3 発達に障害のある子どもの看護』(森秀子編著, 及川郁子監修) メヂカルフレンド社,
2005. pp 173-185

浅野みどり

第 4 章 6 新生児疾患の理解 黄疸, 新生児メレナ, 腹部膨満
『新クイックマスター 母性看護学』(宮里和子 監修) 医学 芸術社, 2005. pp 408-412

浅野みどり

第 4 章 4.3 異常新生児の看護
『新版 テキスト母性看護 II』(後藤節子, 森田せつ子, 久納智子, 濱松加寸子編) 名古屋大学出版会, 2005.
pp 288-293

浅野みどり

第 4 章 5 胎外生活の不応状態への看護, ハイリスク新生児の理解と看護, 6 新生児疾患の理解
『新クイックマスター 母性看護学』(宮里和子 監修) 医学 芸術社, 2005. pp 374-393

浅野みどり

第 4 章 4.3 異常新生児の看護
『新版 テキスト母性看護 II』(後藤節子, 森田せつ子, 久納智子, 濱松加寸子編) 名古屋大学出版会, 2005.
pp 271-277

浅野みどり

第 IV 章 1 障害のある子どもの健康管理の基本的な考え方
『新版小児看護学叢書 3 発達に障害のある子どもの看護』(森秀子編著, 及川郁子監修) メヂカルフレンド社,
2005. pp 222-231

浅野みどり

第 III 章 2 発達の障害のある子どもの日常生活のケア技術 D. 子どもの状態に沿った移動方法 E. コミュニケーション
『新版小児看護学叢書 3 発達に障害のある子どもの看護』(森秀子編著, 及川郁子監修) メヂカルフレンド社,
2005. pp 189-199

浅野みどり

第 III 章 5 病と共に生きる子どもと家族のアセスメントとケア計画
『新版小児看護学叢書 2 病と共に生きる子どもの看護』(村田恵子編著, 及川郁子監修) メヂカルフレンド社,
2005. pp 130-139

石川道夫, 岡部美香, 久保田 新, 大野正博, 結城俊哉, 佐藤 労, 江藤真紀, 岡本里香, 高木裕宜, 杉浦美幸
暮らしの中にひそむ危険: 高齢者の生活とケアから
『ケアリングのとき: こころと手』(石川道夫編著) 中央法規出版(株), 2005. pp 162-191

濱松加寸子

医療技術の進歩と看護活動

『現代看護キーワード事典』（現代看護キーワード事典企画・編集委員会編）桐書房，2005. pp 2-11

濱松加寸子

人間の性と生殖

『新版テキスト母性看護Ⅰ』（後藤節子・森田せつ子・鈴木和代・大村いづみ編）名古屋大学出版会，2005. pp 20-29

池松裕子

急性期にある人の特徴と理解

『急性期看護論』（池松裕子，山勢善江）ヌーヴェルヒロカワ，2005. pp 12-17

池松裕子

生体侵襲理論

『成人看護学概論』（大西和子，岡部聡子）ヌーヴェルヒロカワ，2005. pp 162-165

池松裕子

急性期看護の考え方

『急性期看護論』（池松裕子，山勢善江）ヌーヴェルヒロカワ，2005. pp 4-10

石黒彩子

5 病い共に生きる子どもと家族のアセスメントとケア計画 A 健康歴 B フィジカルアセスメント

『新版小児看護叢書2 病いと共に生きる子どもの看護』（監修・及川郁子 編著・村田恵子）メヂカルフレンド社，2005. pp 122-129

森田せつ子，濱松加寸子，東村博子，後藤節子，久納智子，浅井光興，中嶋律子，坂上明子，佐藤弘子，稲垣恵美，岡田由香，清水 亮，渡邊実香，大村いづみ，山中 昴，安藤寿夫，藤原 郁，堀 文子

母性の概念

『新版テキスト母性看護Ⅰ』（後藤節子，森田せつ子，鈴木和代，大村いづみ）名古屋大学出版会，2005. pp 1-19

森田せつ子，濱松加寸子，東村博子，後藤節子，久納智子，浅井光興，中嶋律子，坂上明子，佐藤弘子，稲垣恵美，岡田由香，清水 亮，渡邊実香，大村いづみ，山中 昴，安藤寿夫，藤原 郁，堀 文子

母性看護と家族

『新版テキスト母性看護Ⅰ』（後藤節子，森田せつ子，鈴木和代，大村いづみ）名古屋大学出版会，2005. pp 1-19

森田せつ子，濱松加寸子，東村博子，後藤節子，久納智子，浅井光興，中嶋律子，坂上明子，佐藤弘子，稲垣恵美，岡田由香，清水 亮，渡邊実香，大村いづみ，山中 昴，安藤寿夫，藤原 郁，堀 文子

母性看護の変遷

『新版テキスト母性看護Ⅰ』（後藤節子，森田せつ子，鈴木和代，大村いづみ）名古屋大学出版会，2005. pp 1-19

奈良間美保

第7章 2. 病いと共に生きる子どもと家族のサポートネットワーク

『新版小児看護学叢書2・病いと共に生きる子どもの看護』（村田恵子編著，及川郁子監修）メヂカルフレンド社，2005. pp 332-343

新實夕香理

高齢者の脱水症状のアセスメント

『フィジカルアセスメントのコツと落とし穴 Part2』(山内豊明編集) 中山書店, 2005. pp 16-17

川島みどり, 数間恵子, 太田勝正, 安藤幸子, 井上智子, 金子あけみ, 河口てる子, 酒井美絵子, 佐藤郁子, 陣田泰子, 村嶋幸代, 牛久保美津子, 卯野木健, 大島弓子, 奥原秀盛, 小野寺綾子, 角濱春美, 上鶴重美, 神山明子, 北浦暁子, 金 壽子, 小林貴子, 櫻井利江, 佐藤麗子, 茂野香おる, 志自岐康子, 千田敏恵, 常盤文枝, 富律子, 長場直子, 西村俊二, 花出正美, 平松則子, 藤原キミ子, 本谷菜穂子, 松月みどり, 森田夏実, 屋宜譜美子, 山内豊明, 山口瑞穂子, 吉村由枝, 渡辺真里, 伊藤直美, 及川郁子, 桜庭 繁, 佐藤和佳

『看護行為用語分類』(日本看護科学学会第6期・7期看護学学術用語検討委員会編集) 日本看護科学学会, 2005.

佐伯香織

心臓手術後患者のフィジカルアセスメント

『フィジカルアセスメントのコツと落とし穴 Part2』(山内豊明編集) 中山書店, 2005. pp 44-45

鈴木和代

『新版テキスト母性看護Ⅰ』(後藤節子, 森田せつ子, 鈴木和代, 大村いづみ) 名古屋大学出版会, 2005.

鈴木和代

第2章 産婦の看護, 第3章 産褥の生理

『新版テキスト母性看護Ⅱ』(後藤節子, 森田せつ子, 久納智子, 濱松加寸子) 名古屋大学出版会, 2005. pp 106-119

鈴木和代

第3章 産褥の生理

『新版テキスト母性看護Ⅱ』(後藤節子, 森田せつ子, 久納智子, 濱松加寸子) 名古屋大学出版会, 2005. pp 125-128

赤川里美, 池田文子, 生駒洋子, 稲山貴代, 高橋由紀, ほか (102名)

コメディカルの出現と時代背景

『現代看護キーワード事典』(現代看護キーワード辞典企画・編集委員会編集) 桐書房, 2005. p1

渡邊実香

第2章 3. 排卵誘発と減数手術 26. 生殖医療コーディネーター

『現代看護キーワード事典』 桐書房, 2005. pp 22-3133

渡邊実香

第1篇 第5章 5. 家族計画指導

『テキスト母性看護Ⅰ』(後藤節子・森田せつ子編) 名古屋大学出版会, 2005. pp 135-143

泉キヨ子, 伊奈侑子, 井上智子, 今川詢子, 川畑安正, 真田弘美, 高見沢恵美子, 徳世良重, 中川雅子, 長谷川真美, 南川雅子, 渡邊憲子

XVIII. 肺切除術を受ける患者の看護

『成人看護学B. 急性期にある患者の看護Ⅱ 周手術期看護 第3版』(高見沢恵美子・泉キヨ子・大森武子編集, 氏家幸子監修) 廣川書店, 2005. pp 111-137

泉キヨ子, 伊奈侑子, 井上智子, 今川詢子, 川畑安正, 真田弘美, 高見沢恵美子, 徳世良重, 中川雅子, 長谷川真美, 南川雅子, 渡邊憲子

XV. 手術中の看護 2. 麻酔時の看護

『成人看護学 B. 急性期にある患者の看護 II 周手術期看護 第3版』(高見沢恵美子・泉キヨ子・大森武子編集, 氏家幸子監修) 廣川書店, 2005. pp 34-37

山内豊明

6 フィジカルアセスメント

『最新訪問看護研修テキストステップ 1-2』 日本看護協会出版会, 2005. pp 139-161

山内豊明

『フィジカルアセスメントガイドブック: 目と手と耳でここまでわかる』 医学書院, 2005.

山内豊明

12 内部環境調節機能の障害

『疾病の成立と回復促進』(北村聖, 仙波純一, 松尾ミヨ子編著) 放送大学教育振興会, 2005. pp 250-268

山内豊明

14 生殖機能をつかさどる器官の障害

『疾病の成立と回復促進』(北村聖, 仙波純一, 松尾ミヨ子編著) 放送大学教育振興会, 2005. pp 283-296

山内豊明

知るべき他とは-看護の留学・交流に期待するもの-

『日米医学医療交流 15 年の成果-医療の輝く未来を語る』 日米医学医療交流財団, 2005. pp 42-43

山内豊明

はじめに

『フィジカルアセスメントのコツと落とし穴 Part1』(山内豊明編集) 中山書店, 2005. p iii

山内豊明

看護職はどう成長していくべきか—米国における先進的看護の実践—(II 部)

『アメリカ・カナダ医学・看護留学へのパスポート vol.2』(日米医学医療交流財団編) はる書房, 2005. pp 131-147

山内豊明

はじめに

『フィジカルアセスメントのコツと落とし穴 Part2』(山内豊明編集) 中山書店, 2005. p iii

吉田久美子

成人保険施策と保健師活動

『地域看護学.jp』(荒賀直子, 後閑容子) インターメディカル, 2005. pp 249-251

〔原著論文〕

相原優子, 勝山貴美子, 渡邊順子, 神里みどり, 遠藤淑美, 樋口香織, 新實夕香理, 藤井徹也, 河津芳子
看護学生が捉えた早期体験実習における体験の意味
日本看護医療学会雑誌 7: 27-35, 2005

安藤詳子, 中村みゆき
難治がんに対する臨床試験と看護倫理： 脳神経外科領域における初回遺伝子治療例を通して
がん看護 10(2): 179-184, 2005

山口桂子, 佐野明美, 服部淳子, 野口明美, 浅野みどり, 森 節子, 江見たか江, 高坂久美子, 横山京子, 舟島
なをみ
小児医療における医師と看護師の協働に関する問題－協働を妨げる看護師側の要因－
愛知県立看護大学紀要 11: 1-9, 2005

SUGIURA Taichi, **ASANO Midori**, **MIURA Kiyomi**, **ISHIGURO Ayako**, TORII Shinpei
Development of the revised final version aged children with asthma questionnaire; the characteristics of the low
QOL scoring group and development of an evaluation form
Allergy International 54: 589-599, 2005

江藤真紀
地域在住高齢者における転倒既往と視覚刺激下の姿勢制御能との関連
日本老年医学会雑誌 42: 106-111, 2005

江藤真紀
Study on multidimensional health locus of control (MHLC) among Japanese and Chinese patients with chronic
disease
中国内モンゴル医学院学報 27:, 2005

西田友子, 藤井千恵, 榊原久孝
メタボリックシンドロームと青年期からの体重増加および生活習慣との関連
日本看護研究学会雑誌 28: 11-17, 2005

大島弓子, 門井貴子, 佐藤美紀, 藤井徹也, 長谷部佳子, 須賀京子
基礎看護学におけるヘルスアセスメント/看護アセスメント・看護技術・臨地実習の教育の実態
愛知県立看護大学紀要 11: 41-49, 2005

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, MUTO Masahiro, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU
Takeshi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITO Teruo, KONDO Takahisa, INDEN Ya-
suya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Computerized three-dimensional potential mapping with a multielectrode basket catheter can be useful for
pulmonary vein electrical disconnection
J Interv Card Electrophysiol 12: 23-33, 2005

ZHANG Huiming, TAMAKOSHI Koji, YATSUYA Hiroshi, MURATA Chiyoe, WADA Keiko, OTSUKA Rei, NAGASAWA Nobue, ISHIKAWA Miyuki, SUGIURA Kaichiro, MATSUSHITA Kunihiko, **HORI Yoko**, KONDO Takaaki, TOYOSHIMA Hideaki

Long-term body weight fluctuation is associated with metabolic syndrome independent of current body mass index among Japanese men

Circ J 69: 13-18, 2005

原田真澄, 堀 容子, 高須美香, 東野督子, 安藤詳子

看護学生の死に対する態度に関連する要因：死のイメージ, 性格, 死の経験との関連から

日本看護医療学会雑誌 7(2): 17-26, 2005

大塚 礼, 豊嶋英明, 八谷 寛, 張 恵明, 和田恵子, 村田千代栄, 堀 容子, 近藤高明, 玉腰浩司

職域コホート男性における血清レプチン濃度と生活習慣との関連

日本循環器病予防学会誌 40: 123-130, 2005

近藤高明, 平野幸伸, 堀 容子, 鈴木重行, 三浦弥生, 塩沢まゆみ, 小林あゆみ, 伊藤美香, 新宅幸憲

小中学生の footprint を用いた扁平足の評価と骨密度との関連

社会医学研究 23: 1-8, 2005

KONDO Takaaki, TOYOSHIMA Hideaki, TSUZUKI Y, **HORI Yoko**, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Koji, TAMAKOSHI Akiko, OHNO Yoshiyuki

Family aggregation and co aggregation of history of hypertension and stroke

J Hum Hypertens 19: 119-125, 2005

MURATA Chiyoe, KONDO Takaaki, **HORI Yoko**, MIYAO Daiki, TAMAKOSHI Koji, YATSUYA Hiroshi, **SAKAKIBARA Hisataka**, TOYOSHIMA Hideaki

Effects of social relationships on mortality among the elderly in a Japanese rural area: an 88-month follow-up study

J Epidemiol 15: 78-84, 2005

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 平野幸伸, 岡本和士

つまずきの関連要因についての検討： 長野県 M 町の転倒予防事業に参加した女性の後期高齢者を対象として

日本看護医療学会雑誌 7(2): 10-16, 2005

MABUCHI Tomoko, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Koji, OTSUKA Rei, NAGASAWA Nobue, ZHANG Huiming, MURATA Chiyoe, WADA Keiko, ISHIKAWA Miyuki, **HORI Yoko**, KONDO Takaaki, HASHIMOTO Shyuji, TOYOSHIMA Hideaki

Association between serum leptin concentration and white blood cell count in middle-aged Japanese men and women

Diabetes Metab Res Rev 21: 441-447, 2005

KAJITA Etsuko, **ETO Maki**, KAGAMIMORI Sadanobu, LU FU Bi

Studies on the multidimensional health locus of control(MHLC) in Japanese and Chinese patients with chronic disease

Acta Acad Med Neimongol 27: 1-10, 2005

杉原亜希子, 神里みどり, 相原優子

精油による手浴と前腕マッサージが倦怠感とバイタルサインに及ぼす影響： 健常者とがん患者を対象にして
看護技術 51(7): 67-70, 2005

鈴木 妙, 河津芳子

五十嵐節先生のライフヒストリー： 先生との談話から
埼玉医科大学短期大学紀要 15: 71-79, 2004

前川厚子, 井口弘子, 竹井留美

[疾患・領域別 実習サブノート 事前学習からアセスメントまで, 一目で分かる実習の「ココ」がポイント!]
消化器疾患/実習中の援助のポイント
ナーシングカレッジ 9: 67-75, 2005

小松喜子, 前川厚子, 神里みどり, 渋谷優子, 山崎京子, 片平洸彦

クローン病 (CD) 患者の人生の満足度に関わる要因について
日本難病看護学会誌 9: 179-187, 2005

前川厚子, 安藤詳子, 神里みどり, 竹井留美, 毛受 彬, 毛受矩子

第 13 回国際がん看護学会シドニー大会; グローバルに成長したがん看護実践の多様化にお祝いを!
月刊ナーシング 25: 112-117, 2005

前川厚子, 井口弘子, 竹井留美, 作間久美, 平井 孝, 中里博昭

健心友の会における 1995 年からの「現況お伺い」調査報告
東海ストーマリハビリテーション研究会誌 25: 55-62, 2005

前川厚子

看護とボディイメージ
理学療法ジャーナル 39: 1065-1071, 2005

三浦清世美, 浅野みどり, 杉浦太一, 山田知子, 石黒彩子

改良版 JSCA-QOL Ver.2 を用いた喘息をもつ子どもの QOL 調査： 小学生と中学・高校生との比較
金城学院大学大学院人間生活学研究科論集 5: 27-36, 2005

石山君代, 渡邊実香, 森田せつ子

不妊治療中の夫婦の夫婦関係満足度： 不安状態との関連から
愛知母性衛生学会誌 23: 15-22, 2005

渡邊実香, 森田せつ子

The Coping Scale for Infertile Couples (CSIC) の信頼性・妥当性の検討
日本看護医療学会雑誌 7: 1-9, 2005

奈良間美保

小児在宅ケアにおけるコーディネーターの役割とネットワーク化
コミュニティケア 7(14): 30-33, 2005

脇田 望, 岡山久代, 森田せつ子
施設勤務助産師の退院後の育児支援の実施状況と支援に関する考え
愛知母性衛生学会誌 23: 23-31, 2005

SAKAKIBARA Hisataka, HIRATA Mamoru, TOIBANA Norikuni
Impaired manual dexterity and neuromuscular dysfunction in patients with hand-arm vibration syndrome
Ind Health 43: 542-547, 2005

FUTATSUKA Makoto, SHONO Masahiro, **SAKAKIBARA Hisataka**, QUAN Pham Quoc
Hand-arm vibration syndrome among quarry workers in Vietnam
J Occup Health 47: 165-170, 2005

竹井留美, 前川厚子, 吉川由利子, 桜井志保美, 井口弘子, 安藤詳子
ダブルストーマ保有者と妻のライフコースに関する研究
日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 9: 19-23, 2005

篠崎恵美子・山内豊明
医療面接技法とその学び方
医薬ジャーナル 41: 981-984, 2005

山内豊明
なぜアセスメント技法が必要か, また活用方法は
第3回日本フォーカスチャータリング協会全国大会会誌 (3): 20-26, 2005

山内豊明
看護教育とクリティカルパス
医療マネジメント学会雑誌 6(2): 405-407, 2005

吉田久美子
子どもの虐待予防ネットワークの構築
子どもの健康づくりにおける地域・学校保健連携支援事業最終報告会 : 141-174, 2005

〔総説・解説・その他〕

安藤詳子, 深谷陽子, 前川厚子
第30回アメリカがん看護学会レポート
月刊ナーシング 25(9): 82-85, 2005

安藤詳子, 山内豊明, 奥田晃子, 高田早苗
その瞬間(とき)に問われる急性期看護
第35回日本看護学会(成人看護I) 57(4): 152-163, 2005

浅野みどり, 山田知子, 石井 真
看護過程レビュー 小児気管支喘息
ナーシングカレッジ 9: 46-63, 2005

池松裕子

ICU 患者家族ニーズ研究の現状と展望
日本集中治療医学会雑誌 12: 81-82, 2005

池松裕子

慢性心不全患者の Quality of Life とクリティカルケア
日本集中治療医学会雑誌 12: 381-382, 2005

梶田悦子

エビデンスに基づくガイドラインの有効性評価
Clin Calcium 15: 31-36, 2005

前川厚子, 井口弘子, 竹井留美, 作間久美, 平井 孝, 中里博昭
健心友の会における 1995 年からの「現況お伺い」調査報告
日本ストーマリハビリテーション学会誌 21: 40, 2005

前川厚子, 井口弘子, 竹井留美

[疾患・領域別 実習サブノート 事前学習からアセスメントまで, 一目で分かる実習の「ココ」がポイント!]
消化器疾患 疾患別／アセスメントまでのポイント 胃癌
ナーシングカレッジ 9: 58-62, 2005

前川厚子, 井口弘子, 竹井留美

[疾患・領域別 実習サブノート 事前学習からアセスメントまで, 一目で分かる実習の「ココ」がポイント!]
消化器疾患 疾患別／アセスメントまでのポイント 潰瘍性大腸炎
ナーシングカレッジ 9: 63-66, 2005

前川厚子, 安藤詳子, 神里みどり, 竹井留美, 毛受 彬, 毛受矩子

第 13 回国際がん看護学会シドニー大会 グローバルに成長したがん看護実践の多様化にお祝いを!
月刊ナーシング 25(3): 112-117, 2005

奈良間美保

子どものセルフケア支援の実際
コミュニティケア 7(8): 44-48, 2005

奈良間美保

小児のセルフケアのポイント
コミュニティケア 7(5): 38-41, 2005

奈良間美保

乳児・幼児の在宅ケアのポイント
コミュニティケア 7(3): 66-69, 2005

奈良間美保, 中村泰子

思春期における問題発生の予防; 先天性疾患患者へのアプローチ
小児看護 28: 215-219, 2005

奈良間美保, 松岡真里

小児在宅ケアガイドラインのねらいと活用
コミュニティケア 7(1): 40-45, 2005

奈良間美保

二分脊椎でキャリアオーバーした人の成育看護： 小児期からの継続的ケアに焦点をあてて
小児看護 28: 1254-1258, 2005

新實夕香理, 佐伯香織, 酒井由紀

「なぜ」から理解する看護技術 加湿などを組み合わせ効果的に行う気道内吸引
ナーシングカレッジ 9: 40-45, 2005

太田勝正

書評「いのちの地域ケア いのちの倫理を考える 第2版」
響き合う街で： 52-53, 2005

竹井留美, 前川厚子, 吉川由利子, 桜井志保美, 井口弘子, 安藤詳子

ダブルストーマ保有者と妻のライフコースに関する研究
日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 9: 19-23, 2005

渡邊憲子

看護における QOL 評価の課題と今後の展望
日本看護医療学会雑誌 7: 46-51, 2005

渡邊憲子

喉頭摘出者の社会復帰について—卒業生の名声会調査報告より—
名古屋市名声会： 18-20, 2005

山内豊明

フィジカル・アセスメント 基礎レッスン 連載第4回 心停止リスクがある高カリウム状態のアセスメント
ナース専科 25(7): 60-63, 2005

山内豊明

インタビュー 「なぜ」を考えるアセスメント 山内豊明氏（名古屋大学教授・医学部基礎看護学講座）に聞く
週刊医学界新聞 (2647): 2, 2005

山内豊明

フィジカル・アセスメント 基礎レッスン 連載第6回 患者さんの苦痛や訴えのアセスメント
ナース専科 25(9): 70-73, 2005

山内豊明

急性期研修ローテーションプログラムその評価と期待
名古屋徳洲会総合病院広報誌かすたねっと (9月): 5, 2005

山内豊明

フィジカル・アセスメント 基礎レッスン 連載第7回 くも膜下出血の患者さんのアセスメント
ナース専科 25(10): 70-73, 2005

山内豊明

フィジカル・アセスメント 基礎レッスン 連載第8回 点滴開始直後のアセスメント
ナース専科 25(11): 60-63, 2005

山内豊明

書評 心電図に対する苦手意識を克服したいあなたへ (心電図道場・高階経和著)
看護学雑誌 69: 1104, 2005

山内豊明

フィジカル・アセスメント 基礎レッスン 連載第9回 見えない原因を探るアセスメントの進め方
ナース専科 25(12): 62-65, 2005

山内豊明

質疑応答 胸部打診の意義
junior (448): 53, 2005

山内豊明

(書評) 心電図を学ぶ人のために・高階経和著
週刊医学界新聞 (2623): 7, 2005

山内豊明

フィジカル・アセスメント 基礎レッスン 連載第5回 生命に直結するバイタル異常の見分け方
ナース専科 25(8): 60-63, 2005

山内豊明

フィジカル・アセスメント 基礎レッスン 連載第3回 腹部の張りをアセスメントする打診の方法
ナース専科 25(6): 58-61, 2005

山内豊明

質疑応答 Q&A 胸部打診の意義
日本醫事新報 (4229): 90, 2005

山内豊明

フィジカル・アセスメント 基礎レッスン 連載2回 「あれ、へんだ」と感じた疑問を探求する姿勢
ナース専科 25(5): 58-61, 2005

山内豊明

他流試合の勧め
BIS BODEN 21: 6-7, 2005

山内豊明

フィジカル・アセスメント基礎レッスン 第1回 看護するうえで必須となるアセスメントとは何か？
ナース専科 25(4): 52-55, 2005

山内豊明

その瞬間に問われる急性期看護： フィジカルアセスメントの思考と技能
第35回日本看護学会特別講演・シンポジウム 57(4): 152-157, 2005

山内豊明

ドクターインタビュー ナースになった医師～アメリカで、そして日本で
医療事故情報センター (204): 1-4, 2005

山内豊明・高岡宣子・小黒道子・南雲秀子・中島民子

VIVO 座談会「国際かとスキルアップの関係」海外に出てわかる日本の看護のよさと問題点
VIVO (6): 8-11, 2005

山内豊明

特集 急変サインを見抜くフィジカルアセスメント成功集 総論 急変の見抜き方
Nursing Today 20(9): 16-19, 2005

吉田久美子

子どもの虐待予防ネットワークの構築
子どもの健康づくりにおける地域・学校保健連携支援事業最終報告会：181-215, 2005

〔科研費・班研究等〕

新野直明, 江藤真紀, 芳賀 博, 安藤富士子, 杉森裕樹

愛知県西枇杷島町における高齢者の転倒予防を目指した実態調査
平成16年度厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究(高齢者における効果的な転倒予防活動事業の推進に関する研究) 総括研究報告書 pp 17-35, 2005

藤井千恵, 榎原久孝

地域全体の生活習慣病予防をめざした家庭・学校・地域連携システム構築の試み
平成15-16年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書 1冊, 2005

藤井千恵, 榎原久孝

生徒の生活習慣病予防教育： 血圧測定を通して
平成17年度文部科学省サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業「教育連携講座」研究成果報告書 1冊, 2005

石黒彩子, 森田せつ子, 浅野みどり, 三浦清世美, 鳥居新平, 杉浦太一

喘息学童のQOL評価とQOL低下要因の検討： QOL調査票を用いた全国調査
平成14年度-平成16年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(2))研究成果報告書 pp 1-145, 2005

唐澤由美子, 佐々木幾美, 濱田悦子, **太田勝正**

看護系大学におけるファカルティディベロップメントに関する調査研究： 若手教員の能力開発に着目して
平成 14-16 年度科学研究費補助金基盤研究 (C・2) 研究成果報告書 pp 1-75, 2005

神 裕, 猪狩和之, 伊藤 靖, **太田勝正**, 菊池 透, 栗原 治, 小池 薫, 小塚拓洋, 瀧 健治, 瀧田昭久, 平
間敏靖, 青木芳朗, 古賀佑彦, 衣笠達也, 前川和彦, 郡山一明

緊急被ばく医療ポケットブック

平成 16 年度文部科学省委託「緊急時対策総合技術調査」報告書 pp 1-163, 2005

榊原久孝, 藤井千恵

生活習慣病における血漿フィブリノゲンと動脈硬化危険因子との関連性の追跡研究

平成 15-16 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (2)) 研究成果報告書、1 冊, 2005

山内豊明, 三笠里香, 志賀たずよ, 佐々木詩子

難病訪問看護実践に必要とされるアセスメント技能に関する研究

平成 14 年度ー平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 特定疾患の生活の質 (Quality of Life, QOL) の向上に資するケアの在り方に関する研究 総合研究報告書 pp 111-136, 2005

山内豊明

医療チューブ類事故防止対策に関する学際的探索研究

平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 (医療技術評価総合研究事業) 総括研究報告書 1 冊, 2005

山内豊明, 角間辰之

看護におけるフィジカルアセスメント教育に関するアウトカム評価研究

平成 16 年度科学研究費補助金実績報告書 pp 1-2, 2005

嶋森好子, 小橋 元, **山内豊明**, 宮本敦史, 稲村美代子, 西海真理, 川村佐和子, 酒井美絵子, 横井郁子

チューブ・カテーテル類に関する事例の記述情報分析結果

平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 (医療技術評価総合研究事業) 医療事故防止のためのヒヤリ・ハット事例等の記述情報の分析に関する研究 総括研究報告書 pp 1-72, 2005

山内豊明, 三笠里香, 志賀たずよ, 佐々木詩子

パーキンソン病療養者の訪問看護に必要とされるフィジカルアセスメント

平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 特定疾患の生活の質 (Quality of Life, QOL) の向上に資するケアの在り方に関する研究 総括・分担研究報告書 pp 113-118, 2005

[その他の印刷物等]

浅野みどり

ワシントン大学看護学部訪問印象記： Family Health Project

The report: International exchange for nursing students and faculty members in 2001-2003 pp 17-18, 2005

濱松加寸子

第1回「看護と社会」研究全国集会レポート 多様かつ多面的視覚から看護のあり方に迫る (特集 少子化と地域医療・看護)

Nurse eye 18(1) pp91-114, 2005

池松裕子

看護部会長就任にあたって

日本集中医療医学会雑誌 12: 423, 2005

水溪雅子

手法論 II 精神的問題を持つクライアントと家族の支援経験

実践過程テキスト pp 1-8 2005

水溪雅子

精神的問題を持つクライアントと家族の支援経験

実践過程テキスト pp 1-8 2005

〔学会発表〕

近藤高明, 渡邊ゆかり, 堀 容子, 八谷 寛, 玉腰浩司, 豊嶋英明

同一個人の追跡観察から得た経年的血圧測定値の多重レベル解析

第15回日本疫学会学術総会, 2005.1 (大津)

榊原久孝, 樋端規邦, 平田 衛

振動障害患者の末梢神経障害と手指巧緻性

第18回日本産業衛生学会東海地方会振動障害研究会, 2005.2 (名古屋)

安藤詳子, 神里みどり, 前川厚子

認定看護師を目指す時の困難点—第8回疼痛緩和勉強会アンケートからの一考察—

第19回日本がん看護学会学術集会, 2005.2 (仙台)

繁澤弘子, 吉川由利子, 安藤詳子, 神里みどり, 前川厚子

在宅における終末期がん患者の療養体験と家族の介護体験の様相

第19回日本がん看護学会学術集会, 2005.2 (仙台)

澤井美穂, 安藤詳子, 神里みどり, 前川厚子

認定看護師をめざす時の困難点

第19回日本がん看護学会学術集会, 2005.2 (仙台)

OHASHI Naoki, INDEN Yasuya KONDO Takahisa, TAKADA Yasunobu, MUTOH Masahiro, HARATA Shuji, MIURA Manabu, IMAI Hajime, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki

Atrioventricular nodal reentrant tachycardia in children is associated with atrial remodeling

69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

TAKADA Yasunobu, HARADA Shuji, MUTOH Masahiro, MIURA Manabu, IMAI Hajime, HAYASHI Mut-suharu, OHASHI Naoki, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Pulmonary vein isolation improves the atrial endocrine function in patients with paroxysmal atrial fibrillation
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

HARATA Shuji, INDEN Yasuya, IMAI Hajime, MIURA Manabu, OHASHI Naoki, MUTO Masahiro, TAKADA Yasunobu, KONDO Takahisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Biochemical markers of myocardial fibrosis predict recurrence of atrial fibrillation after successful catheter ablation
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

INDEN Yasuya, HARATA Shuji, MUTO Masahiro, TSUJI Yukiomi, TAKADA Yasunobu, IMAI Hajime, MIURA Manabu, OHASHI Naoki, KONDO Takahisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Novel ECG parameters during atrial fibrillation predict the possibility of conversion by the infusion of pilsicainide
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

OKADA Taro, YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, WATANABE Kosuke, KATO Toshiaki, UMEDA Hisashi, TANI Tamomitsu, MATSUSHITA Toyoaki, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, MUTOH Masahiro, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, MUROHARA Toyoaki, **HIRAI Makoto**, TOYAMA Junji
Edematous changes in left atrial wall detected by electron beam tomography early after pulmonary vein isolation
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

SHIMANO Masayuki, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, OGURA Yasuhiro, SUZUKI Hirohiko, YAMASHITA Kantaro, MURAMATSU Takashi, UNNO Kazumasa, NANASATO Mamoru, TAKEZAWA Hirohito, HIRAYAMA Haruo, ITOH Teruo, OKADA Taro, YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, MUROHARA Toyoaki, **HIRAI Makoto**, TOYAMA Junji
Acute hemodynamic effects of LV and biventricular pacing on LV function in patients with heart failure and complete AV block
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, MUTOH Masahiro, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Circumferential PV isolation significantly reduces difference in AF recurrence between persistent and paroxysmal AF as compared to segmental PV isolation
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, MUTOH Masahiro, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Circumferential PV isolation is more effective for curing paroxysmal atrial fibrillation than segmental pulmonary vein ostial isolation
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

SUZUKI Hirohiko, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, OGURA Yasuhiro, SUZUKI Hirohiko, YAMASHITA Kantaro, MURAMATSU Takashi, UNNO Kazumasa, SHIMANO Masayuki, NANASATO Mamoru, TAKEZAWA Hirohito, HIRAYAMA Haruo, ITOH Teruo, OKADA Taro, YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, MUROHARA Toyoaki, **HIRAI Makoto**, TOYAMA Junji
Baseline LVdP/dtmax predicts the long-term effectiveness of CRT in patients with CHF and IVCD
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, OGURA Yasuhiro, SUZUKI Hirohiko, YAMASHITA Kantaro, MURAMATSU Takashi, UNNO Kazumasa, SHIMANO Masayuki, NANASATO Mamoru, TAKEZAWA Hirohito, HIRAYAMA Haruo, ITOH Teruo, OKADA Taro, YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, MUROHARA Toyoaki, **HIRAI Makoto**, TOYAMA Junji
Midterm outcome of single-site left ventricular pacing in patients with heart failure and IVCD
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

MUTOH Masahiro, INDEN Yasuya, TAKADA Yasunobu, HARATA Shuji, IMAI Hajime, MIURA Manabu, OHASHI Naoki, KONDO Takahisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Assessment of atrial remodeling and characteristics of atrial fibrillation; comparison of frequency analysis during atrial fibrillation with echocardiography
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

INDEN Yasuya, HARATA Shuji, MUTO Masahiro, TSUJI Yukiomi, TAKADA Yasunobu, IMAI Hajime, MIURA Manabu, OHASHI Naoki, KONDO Takahisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Atrial fibrillation is associated with collagen type-I synthesis in patients without organic heart disease
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

OKADA Taro, YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, WATANABE Kosuke, KATO Toshiaki, UMEDA Hisashi, TANI Tamomitsu, MATSUSHITA Toyoaki, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, MUTOH Masahiro, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Circumferential pulmonary vein isolation may reduce AF recurrence by greater effects on vagal denervation than segmental pulmonary vein ostial Isolation
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, MUTOH Masahiro, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Esophageal leads can be useful for determining the strategy of PV ablation to avoid complications associated with the esophagus
69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2005.3 (大阪)

山田知子, 石黒彩子, 浅野みどり, 三浦清世美, 杉浦太一
気管支喘息をもつ思春期学童のコンプライアンス： アンケート調査によるコンプライアンス低得点群の特徴
第9回日本研究学会東海地方会学術集会, 2005.3 (豊田)

嶋田良江, 水溪雅子

ケア提供者としての葛藤を持つ統合失調症患者家族の看護相談の検討
第9回日本看護研究学会東海地方会, 2005.3 (豊田)

巽あさみ, 小野雄一郎, 今枝敏彦, 蛭田秀一, 島岡みどり, 堀 文子, 安藤詳子, 服部 洋兒
上方移動介助における介護補助具使用の効果: 自覚的作業強度および表面筋電に基づく検討
第78回日本産業衛生学会, 2005.4 (東京)

吉川由利子, 日比野夕美江, 前川厚子, 竹井留美, 桜井志保美, 井口弘子
透析治療群と非透析群における糖尿病性下腿潰瘍患者の創傷管理評価
第14回日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会, 2005.4 (名古屋)

IGUCHI Hiroko, Katsumasa **OTA Katsumasa**

Conflict between Information Sharing and Privacy Protection
15th Summer Institute of Nursing Informatics, 2005.4 (Maryland, USA)

太田勝正

被ばくという言葉から看護学生は何を連想するか
第39回日本保健物理学会研究発表会, 2005.4 (六ヶ所村(青森県))

太田勝正, 山内一史, 浅沼優子, 中村 恵, 唐澤由美子, 井口弘子
病院内での患者情報の共有に関する実態調査
第25回日本看護科学学会学術集会, 2005.4 (青森)

平田 衛, 榊原久孝

振動障害における感覚神経伝導速度の検討—指における測定の意義—
第78回日本産業衛生学会, 2005.4 (東京)

樋端規邦, 平田 衛, 榊原久孝

振動障害患者の手指巧緻性の検討
第78回日本産業衛生学会, 2005.4 (東京)

塚田月美, 飯田和子, 榊原久孝

某工場における騒音労働衛生教育について
第78回日本産業衛生学会, 2005.4 (東京)

竹井留美, 前川厚子, 吉川由利子, 桜井志保美, 井口弘子

ダブルストーマ保有者とその妻のライフコースに関する研究
第14回日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会, 2005.4 (名古屋)

大橋幸美, 森田せつ子

親性への看護介入モデルに基づく支援プログラムを試みて (第1報)
第23回愛知県母性衛生学会学術集会, 2005.5 (名古屋)

石山君代, 渡邊実香, 森田せつ子

不妊治療中の夫婦の夫婦関係満足度： 不安状態との関連から
第 23 回愛知県母性衛生学会学術集会, 2005.5 (名古屋)

大橋幸美, 森田せつ子

親性への看護介入モデルに基づく支援プログラムを試みて (第 2 報)
第 23 回愛知県母性衛生学会学術集会, 2005.5 (名古屋)

鶴田竜一, 岡山久代, 高橋由紀, 森田せつ子

妊産褥婦の男性助産師についての意識調査： 男子助産学生による出産のロールプレイおよび分娩介助・産褥ケア実習の影響
第 23 回愛知県母性衛生学会学術集会, 2005.5 (名古屋)

脇田 望, 岡山久代, 森田せつ子

施設勤務助産師が行う退院後の育児支援に関する研究：助産師の育児支援の実施状況と支援に対する考え
第 23 回愛知県母性衛生学会学術集会, 2005.5 (名古屋)

OTA Katsumasa, YAMAGISHI Yuka, IGUCHI Hiroko, NAKAMURA Megumi

Problems of confidentiality of patient's information in the clinical practice of nursing students in Japan
23rd ICN Quadrennial Congress 2005, 2005.5 (Taipei, Taiwan)

KADOI Takako, OTA Katsumasa

Measuring nurses' expectations for patients' role in Japan
23rd ICN Quadrennial Congress 2005, 2005.5 (Taipei, Taiwan)

高橋由紀, 森田せつ子, 上垣外日登美, 足立広子, 五藤久美子

男子学生への助産学実習の試み： 教育機関と臨床実習機関の連携
第 23 回愛知県母性衛生学会学術集会, 2005.5 (名古屋)

上垣外日登美, 高林知恵, 五藤久美子, 高橋由紀, 森田せつ子

臨床における男子学生助産学実習の受入の試みー実習中の看護職員の意識, 産婦と家族の反応
第 23 回愛知県母性衛生学会学術集会, 2005.5

MATSUNARI Yuko, YAMAUCHI Toyoaki, SHORTRIDGE-BAGGETT Lillie M., NEWLAND Jamesetta A.

The newly developed attitude scale for predicting health behavior; on the correlation with health practices score of sleep, breakfast, between meals, BMI, exercise, drinking, smoking
23rd Quadrennial Congress of International Council of Nurses, 2005.5 (Taipei, Taiwan)

YAMAUCHI Toyoaki, NEWLAND Jamesetta A., SHORTRIDGE-BAGGETT Lillie M., MATSUNARI Yuko

Predictability of health behavior of university students by the newly developed attitude scale
23rd Quadrennial Congress of International Council of Nurses, 2005.5 (Taipei, Taiwan)

HIGASHI Kiyomi, HANADA Taeko, KUROKI Miki, MICHIHATA Yumiko, KIGO Rie, YAMAUCHI Toyoaki
Producing an educational video program for intravenous injection techniques and their practical use
23rd Quadrennial Congress of International Council of Nurses, 2005.5 (Taipei, Taiwan)

山内豊明

看護教育とクリティカルパス
第7回医療マネジメント学会学術総会, 2005.6 (福岡)

千本美紀, **山内豊明**

ヒヤリ・ハット報告におけるチューブ類の自己抜去に関する発生状況・発生要因の傾向
第7回医療マネジメント学会学術総会, 2005.6 (福岡)

深谷陽子, 安藤詳子, 稲垣聡美, 宮崎雅之, 中村みゆき, 澤井美穂, 野田幸裕, 神里みどり
簡便な操作でペインレベルを記憶する痛み計の検討
第10回日本緩和医療学会, 2005.6 (横浜)

安藤詳子, 澤井美穂, 神里みどり

集学的治療から緩和医療への転換を妨げる要因
第10回日本緩和医療学会, 2005.6 (横浜)

神里みどり, 相原優子, 北田美穂, 田内香織, 安藤詳子

がん患者の症状コントロールにおけるアロマセラピーの有効性：文献レビューを通して
第18回日本サイコオンコロジー学会総会, 第10回日本緩和医療学会総会合同大会, 2005.6 (横浜)

澤井美穂, 安藤詳子, 神里みどり

一般病棟で緩和ケアを実践する看護師のストレス
第10回日本緩和医療学会, 2005.6 (横浜)

相原優子, 神里みどり, 北田美穂, 田内香織, 安藤詳子

英国のがん医療における補完・代替医療 (CAM) の実施状況
第18回日本サイコオンコロジー学会総会, 第10回日本緩和医療学会総会合同大会, 2005.7 (横浜)

都築知香枝, 浅野みどり, 三浦清世美, 山田知子, 奈良間美保, 石黒彩子

アトピー性皮膚炎の子どもをもつ母親の育児ストレスと家族機能
第15回日本小児看護学会学術集会講演集, 2005.7 (横浜)

浅野みどり, 杉浦太一, 三浦清世美, 山田知子, 石井 真, 石黒彩子

気管支喘息をもつ子どものQOLの共分散構造モデルの検討
第15回日本小児看護学会学術集会講演集, 2005.7 (横浜)

門井貴子, 田代ひろみ, 佐藤美紀, 藤井徹也, 小松万喜子, 大島弓子

基礎看護学実習における看護技術経験と達成度の実習病院別差異に関する検討
第31回日本看護研究学会学術集会, 2005.7 (札幌)

田代ひろみ, 門井貴子, 佐藤美紀, 藤井徹也, 小松万喜子, 大島弓子
基礎看護学実習における看護技術の経験状況と課題
第 15 回日本看護学教育学会学術集会, 2005.7 (さいたま)

山内一史, 浅沼優子, 太田勝正, 前田樹海, 猫田泰敏, 真嶋由貴恵
予備知識が看護情報学の学習におよぼす影響
第 30 回日本看護研究学会学術集会, 2005.7 (札幌)

太田勝正, 井口弘子, 山内一史, 浅沼優子, 中村 恵
患者情報のプライバシーについての看護師の認識
第 30 回日本看護研究学会学術集会, 2005.7 (札幌)

前田樹海, 中村 恵, 太田勝正
県立看護大学卒業生の就業地の推移に関する検討: 長野県看護大学の場合
第 30 回日本看護研究学会学術集会, 2005.7 (札幌)

毛受 彬, 桜井志保美, 野田明子, 古池保雄, 平井眞理, 前川厚子, 中井 滋, 新平鎮博, 毛受矩子, 工藤充子,
竹谷千津子, 田中一子
NPO における睡眠に関する地域保健事業
第 30 回日本睡眠学会学術集会, 2005.7 (宇都宮)

SUZUKI Kazuyo, IWAMOTO Mishako, OGISO Miyoko, TAKAHASHI Satoi, TOKUDA Junko
Changes in Japanese midwives and women in the past hundred years
27th Congress of the International Confederation of Midwives, 2005.7 (Brisbane, Australia)

安藤詳子, 神里みどり, 前川厚子
一般病棟で緩和ケアを実践する看護師のストレス
第 10 回日本緩和医療学会総会・第 18 回日本サイコオンコロジー学会総会合同大会, 2005.7 (横浜)

IKEMATSU Yuko

Chest/respiratory symptoms of cardiac tamponade patients in Japan
9th Congress of the World Federation of Societies of Intensive and Critical Care Medicine, 2005.8 (Buenos Aires, Argentina)

祖父江正代, 棚橋幸子, 前川厚子
在宅褥瘡フォーラム 褥瘡医療全国ネットワーク作りに向けて 入院時褥瘡評価からみた在宅褥瘡予防ケアの課題
日本褥瘡学会誌 7(3): 396, 2005.8

渡邊実香, 森田せつ子
日本語版 The Coping Scale for Infertile Couples の信頼性・妥当性
第 3 回日本不妊看護学会学術集会, 2005.8 (千葉)

TOIBANA Norikuni, SAKAKIBARA Hisataka

Reduced finger dexterity and difficulties in daily activities in patients with hand-arm vibration syndrome
13th Japan Group Meeting on Human Response to Vibration, 2005.8 (Osaka)

HACHISUKA Tomohiro, IKUTA Hiroshi, **SAKAKIBARA Hisataka**
Evaluation of human response to vibration of new rotary hammer
13th Japan Group Meeting on Human Response to Vibration, 2005.8 (Osaka)

原田直子, 榊原久孝
地域筋力強化教室の効果に関する研究
第 51 回東海公衆衛生学会学術大会, 2005.8 (多治見)

吉田久美子, 川崎 孝, 梶田悦子
児童虐待防止ネットワーク委員のネットワーク会議に対する認識と課題
第 64 回日本公衆衛生学会, 2005.8(札幌)

濱松加寸子, 高橋由紀, 渡邊実香
出産形態の変容: 三世代のアンケート調査を通して
第 46 回日本母性衛生学会総会学術集会, 2005.9 (宮崎)

濱松加寸子, 高橋由紀, 渡邊実香
「自然」な出産の捉え方の変容: 三世代を通して
第 46 回日本母性衛生学会総会学術集会, 2005.9 (宮崎)

吉田幸彦, 坪井直哉, 青山 豊, 石川 真, 小椋康弘, 鈴木博彦, 山下健太郎, 村松 嵩, 七里 守, 三輪田悟,
平山治雄, 伊藤昭男, 岡田太郎, 山田 功, 村上善正, 因田恭也, 井澤英夫, 近藤弾久, 室原豊明, 平井眞理, 外
山淳治
CRT と CRT-D (左室ペーシングと ICD 機能付き左室ペーシング) について
第 53 回日本心臓病学会学術集会, 2005.9 (大阪)

奈良間美保
小児在宅看護の理解
愛知県看護協会訪問看護ステーション看護師研修, 2005.9 (名古屋)

原田直子, 榊原久孝
筋力強化教室終了後 7 か月後の効果に関する研究
第 64 回日本公衆衛生学会, 2005.9 (札幌)

清水三紀子, 森田せつ子
妊産婦のエンパワーメントを最大限に生かす出産準備教室の在り方に関する検討
第 46 回日本母性衛生学会学術集会, 2005.9 (宮崎)

赤川里美, 浅野みどり, 石黒彩子, 三浦清世美, 山田知子
NICU 入院児をもつ母親の産褥早期の疲労感の変化とその影響要因—3 事例の検討を中心に—
第 7 回日本看護医療学会学術集会プログラム講演抄録集, 2005.10 (名古屋)

濱松加寸子, 高橋由紀, 渡邊実香
出産形態の変容—三世代のアンケート調査を通して—
第 46 回日本母性衛生学会総会学術集会, 2005.10 (宮崎)

濱松加寸子, 高橋由紀, 渡邊実香

「自然」な出産の捉え方の変容：三世代のアンケート調査を通して
第 46 回日本母性衛生学会総会学術集会, 2005.10 (宮崎)

高田康信, 嶋野裕之, 原田修治, 高木克昌, 山内正樹, 辻 幸臣, 近藤隆久, 因田恭也, 室原豊明, 平井眞理
肺動脈隔離術は発作性心房細動患者における心房内伝導遅延を改善する。—心房加算平均心電図による検討—
第 21 回心電情報処理ワークショップ, 2005.10 (名古屋)

武藤真広, 岡田耕治, 高仲知永, 因田恭也, 高田康信, 原田修治, 大橋直樹, 室原豊明, 山田 功, 村上善正, 岡田太郎, 平井眞理

複数房室結節伝導路を有し, 心室二重応答と遅延伝導路の 1:1 伝導が持続した 1 例
第 22 回日本心電学会学術集会, 2005.10 (富山)

中谷芳美, 松原 勇, 梶田悦子, 関根道和, 鏡森定信

社会参加の状況とその後の転帰との関係の症例対照研究の統計分析
第 64 回日本公衆衛生学会総会, 2005.10 (札幌)

松原 勇, 中谷芳美, 梶田悦子, 関根道和, 鏡森定信

心理・社会的状況とその後の住民の健康状況の転帰との関係—3 年間の追跡調査の分析—
第 64 回日本公衆衛生学会総会, 2005.10 (札幌)

伊藤千晴, 小塩泰代, 小笠原ゆかり, 河津芳子

文献からみた看護基礎教育における特別活動の効果的な指導方法
第 7 回日本看護医療学会学術集会, 2005.10 (名古屋)

奈良間美保

在宅療養児と家族の包括的支援のために
平成 17 年度母子保健専門指導員研修会, 2005.10 (東京)

田中裕一, 杉田豊子, 永井邦芳, 渋谷菜穂子, 水溪雅子

看護師の入院患者に対する「怒り」の経験とその影響
第 21 回日本精神衛生学会大会, 2005.10 (大館)

永井邦芳, 水溪雅子

家族教室参加家族の疾病受容と対処
第 21 回日本精神衛生学会大会, 2005.10 (大館)

田中裕一, 杉田豊子, 永井邦芳, 渋谷菜穂子, 水溪雅子

看護師の入院患者に対する「怒り」の経験とその影響
第 21 回日本精神衛生学会大会, 2005.10 (大館)

梶岡多恵子, 都竹茂樹, 榎原久孝, 佐藤祐造, 島岡 清

自重による筋力トレーニングが肥満女性の体組成, アディポサイトカイン, 糖代謝に及ぼす影響
第 26 回日本肥満学会, 2005.10 (札幌)

高橋由紀, 渡邊実香, 岡山久代, 濱松加寸子, 鈴木和代, 森田せつ子
大学助産師教育における助産学実習技術評価の検討 (第2報) :臨地実習における活用
第46回日本母性衛生学会総会学術集会, 2005.10 (宮崎)

山内豊明

なぜアセスメント技法が必要か, また活用方法は
第3回日本フォーカスチャータリング協会全国大会, 2005.10 (名古屋)

高田真澄, 渡邊順子, 高田宗樹, 山内豊明
腹臥位時における胃腸運動と心循環機能の共同性
2005年日本人間工学会東海支部研究大会, 2005.10 (名古屋)

小林加奈, 浅野みどり

自閉症児を育てる家族の家族機能に関する研究
第12回家族看護学, 2005.11 (千葉)

佐藤好恵, 藤井徹也, 佐伯香織, 新實夕香理, 小澤由紀, 中野 隆
殿部への筋肉内注射部位における上殿神経の走行について
第4回日本看護技術学会学術集会, 2005.11 (つくば)

井口弘子, 太田勝正

諸外国における患者情報プライバシーと医療職者間における情報共有の認識について: グローバル化社会における異文化背景を持つ患者情報に注目して
第25回医療情報学連合大会, 2005.11 (横浜)

塚田月美, 飯田和子, 榊原久孝

某社における騒音労働衛生対策について
平成17年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2005.11 (長久手町 (愛知県))

西谷直子, 榊原久孝

ある製造事業場における男性労働者の肥満と職場ストレス, 食行動との関連
平成17年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2005.11 (長久手町 (愛知県))

安藤詳子, 神里みどり, 前川厚子

終末期看護学実習における教員の役割
第29回日本死の臨床研究会年次大会, 2005.11 (山口)

安藤詳子, 澤井美穂

看護学生の死生観に関する授業前後の変化
第29回日本死の臨床研究会, 2005.11 (山口)

澤井美穂, 安藤詳子

終末期看護学実習における教員の役割: 疼痛緩和を中心に関わった一事例
第29回日本死の臨床研究会, 2005.11 (山口)

MITOMA Rika, YAMAUCHI Toyoaki

Exploring and testing a casual model about factors of clinical incident reports

Sigma Theta Tau International 38th Biennial Convention-Indianapolis, 2005.11 (Indianapolis,USA)

YAMAUCHI Toyoaki, MITOMA Rika

The effect of newly developed lung and heart simulators in physical assessment courses for Japanese nurses

Sigma Theta Tau International 38th Biennial Convention-Indianapolis, 2005.11 (Indianapolis,USA)

山口桂子, 佐野明美, 服部淳子, 野口明美, 浅野みどり, 森 節子, 江見たか江, 高坂久美子, 横山京子, 舟島なをみ

小児医療における医師と看護師の協働に関する問題： 協働を妨げる看護師側の要因

日本看護科学学会第24回学術集会講演集, 2005.12 (東京)

星野純子, 堀 容子, 丹羽さゆり, 新實夕香理, 桜井志保美, 西尾和子, 濱本律子, 浜島久美子, 岡田 武, 渡辺智之, 渡邊憲子, 前川厚子, 岡本和士

在宅要介護者の主介護者に対する健康支援システムの構築に関するパイロットスタディ

第12回日本疫学学会, 2005.12 (東京)

前川厚子, 竹井留美, 神里みどり, 井口弘子, Simmons Kingsley, SmithJane

健康障害のある人のQOLと今後の課題 ストーマ保有者のQOLとOstomate's Self Adjustment Scale ver.2の開発

第7回日本看護医療学会学術集会, 2005.12 (名古屋)

奈良間美保, 堀 妙子, 松岡真里, 山内尚子

二分脊椎症患児のセルフケアの特徴と関連要因

第4回二分脊椎症トータルケア研究会, 2005.12 (千葉)

〔公開講座・講演会〕

太田勝正

患者情報とプライバシー

市立恵那病院会員1周年記念講演, 2005.1 (恵那)

鈴木和代

いのちってなあに？ いのちのふしぎ

名古屋市科学館 だからからだゼミナール, 2005.3 (名古屋)

鈴木和代

女性学講座「リプロダクティブヘルス・ライツ 自分らしく産む産まない？」

, 2005.5 (名古屋)

奈良間美保, 堀 妙子, 田中千代, 宮城島恭子, 尾出真理子, 松岡真里, 山内尚子

小児在宅ケアコーディネーター研修会の取組み

平成17年度第1回小児在宅療養コーディネーター研修会, 2005.6 (名古屋)

安藤詳子

終末期における痛みのケア

第 27 回疼痛学会・第 39 回ペインクリニック学会大会, 2005.7 (宇都宮)

太田勝正

看護と個人情報保護

第 3 回看護サマーセミナー in 駒ヶ根, 2005.8 (駒ヶ根)

榊原久孝

生活習慣病を通じた健康づくり

豊橋市ヘルスボランティア地域活動講座, 2005.9 (豊橋)

榊原久孝

生活習慣病予防の知識と最新情報

四日市市生活習慣病予防講座, 2005.9 (四日市)

浅野みどり

楽しもう子育て： 幼児期の精神発達について

健全母性育成事業講演会, 2005.9 (名古屋)

奈良間美保

小児在宅ケアのポイント： 発達段階の視点から（乳幼児期のケアのポイント）

平成 17 年度第 2 回小児在宅療養コーディネーター研修会, 2005.10 (名古屋)

浅野みどり

家族看護学概説

愛知県市町村保健師協議会尾東支部研修会, 2005.11 (知多)

浅野みどり

家族のケア姿勢を再考する－家族の見方とリフレクション

第 3 回小児在宅ケアコーディネーター研修会, 2005.12 (名古屋)

放射線技術科学専攻

2 放射線技術科学専攻

〔著書〕

市川勝弘

3D 画像作成の基礎技術：3D 画像作成の基礎知識とテクニック

『3D PACS ネットワーク対応リアルタイム 3D イメージング』（西谷 弘 監修，津坂昌利 編集）Innervision, 2005. pp 14-24

市川勝弘

3次元画像

『放射線技術学シリーズ CT 撮影技術学』（日本放射線技術学会 監修）オーム社, 2005. p1

池田 充

第 IV 部第 1 章医療の情報化

『基礎からの臨床医学 —放射線診療に携わる人のために—』（島本佳寿広 [編]）名古屋大学出版会, 2005. pp 214-227

池田 充

『画像診断のための ROC 解析概論』 現代図書, 2005. 1 冊

石樽信人

ガンマ線スペクトロメトリー

『原子力あるいは放射線緊急事態におけるモニタリングの一般的手順』（藤元憲三（監訳））放射線医学総合研究所, 2005. pp 144-153

石樽信人

セクション B 事故対応の管理

『放射線緊急事態時の評価および対応のための一般的手順』（藤元憲三（監訳））放射線医学総合研究所, 2005. pp 13-29

石樽信人

野外放射線及び汚染モニタリング

『原子力あるいは放射線緊急事態におけるモニタリングの一般的手順』（放射線医学総合研究所緊急被ばく医療研究センター線量評価研究部訳 藤元憲三（監訳））放射線医学総合研究所, 2005. pp 45-48

ISHIGURE Nobuhito

Neutron dose assessment for criticality emergency

Generic procedures for medical response during a nuclear or radiological emergency: emergency preparedness and responses IAEA, 2005. pp 117-120

ISHIGURE Nobuhito

Internal monitoring

“Landolt-Börnstein Zahlenwerte und Funktionen aus Naturwissenschaften und Technik. Neue Serie / New Series, Group 8. Advanced materials and technologies, V. 4 : Radiological protection”(KAUL, A., BECKER, D. (eds)) Springer, 2005. pp 7.46-7.67

石樽信人

セクション A 対応開始

『放射線緊急事態時の評価および対応のための一般の手順』（藤元憲三（監訳））放射線医学総合研究所，2005. pp 8-11

ISHIGURE Nobuhito

Measurement of ^{24}Na in blood sample for criticality dosimetry

Generic procedures for medical response during a nuclear or radiological emergency: emergency preparedness and responses IAEA, 2005. pp 114-116

島本佳寿広，野田明子，太田豊裕，加藤克彦，金澤寛明，岩瀬三紀，岩野信吾，伊藤茂樹，澤木明子，佐竹弘子，福嶋洋道，小幡康範，池田 充

第1部第1章 症候論

『基礎からの臨床医学—放射線診療に携わる人のために』（島本 佳寿広）名古屋大学出版会，2005. pp 6-16

島本佳寿広，野田明子，太田豊裕，加藤克彦，金澤寛明，岩瀬三紀，岩野信吾，伊藤茂樹，澤木明子，佐竹弘子，福嶋洋道，小幡康範，池田 充

第2部第1章 疾患総論 4. 生活習慣病総論

『基礎からの臨床医学—放射線診療に携わる人のために』（島本 佳寿広）名古屋大学出版会，2005. pp 51-55

島本佳寿広，野田明子，太田豊裕，加藤克彦，金澤寛明，岩瀬三紀，岩野信吾，伊藤茂樹，澤木明子，佐竹弘子，福嶋洋道，小幡康範，池田 充

第4部第2章 医療と社会

『基礎からの臨床医学放射線診療に携わる人のために』（島本 佳寿広）名古屋大学出版会，2005. pp 228-237

島本佳寿広，野田明子，太田豊裕，加藤克彦，金澤寛明，岩瀬三紀，岩野信吾，伊藤茂樹，澤木明子，佐竹弘子，福嶋洋道，小幡康範，池田 充

序章 臨床医学へのアプローチ

『基礎からの臨床医学—放射線診療に携わる人のために』（島本 佳寿広）名古屋大学出版会，2005. pp 1-4

島本佳寿広，野田明子，太田豊裕，加藤克彦，金澤寛明，岩瀬三紀，岩野信吾，伊藤茂樹，澤木明子，佐竹弘子，福嶋洋道，小幡康範，池田 充

第1部第2章 画像診断・臨床検査概論 1. CT, MRI, 超音波断層法

『基礎からの臨床医学—放射線診療に携わる人のために』（島本 佳寿広）名古屋大学出版会，2005. pp 17-20

島本佳寿広，野田明子，太田豊裕，加藤克彦，金澤寛明，岩瀬三紀，岩野信吾，伊藤茂樹，澤木明子，佐竹弘子，福嶋洋道，小幡康範，池田 充

第2部第10章 骨軟部疾患

『基礎からの臨床医学—放射線診療に携わる人のために』（島本 佳寿広）名古屋大学出版会，2005. pp 162-172

島本佳寿広，野田明子，太田豊裕，加藤克彦，金澤寛明，岩瀬三紀，岩野信吾，伊藤茂樹，澤木明子，佐竹弘子，福嶋洋道，小幡康範，池田 充

第1部第2章 画像診断・臨床検査概論 3. 検体検査

『基礎からの臨床医学—放射線診療に携わる人のために』（島本 佳寿広）名古屋大学出版会，2005. pp 24-28

津坂昌利

第3章 3D PACS 構築法

『3D PACS ネットワーク対応リアルタイム 3D イメージング』(津坂昌利編集・西谷 弘監修) インナービジョン, 2005. pp57-98

〔原著論文〕

AOYAMA Takahiko, KOYAMA Shuji, KAWAURA Chiyo, FUJII Keisuke

Organ and effective dose evaluation for pediatric and adult patients undergoing CT examinations based on the dosimetry within anthropomorphic phantoms

Biomed Tech(Berl) 50, Supplementary vol. 1: 1290-1291, 2005

広藤喜章, 青山隆彦, 小山修司, 川浦稚代

人体ファントム内線量計測に基づいた上部消化管 X 線検査における被検者の被ばく線量評価
保健物理 40: 341-353, 2005

FUJII Keisuke, AOYAMA Takahiko, KOYAMA Shuji, KAWAURA Chiyo, ACHIWA Masataka

Spherical photodiode dosimeter for x-rays and its application to the measurement of exposure dose in pediatric CT examinations

KEK proceedings 2005(12): 126-135, 2005

原 孝則, 市川勝弘, 津坂昌利

CT 検査のワークフロー改善のために考案された新しい画像フィルタの特性評価
日本放射線技術学会雑誌 61: 1033-1039, 2005

HORII Akiko, CHIHARA Aya, ICHIKAWA Katsuhiko, KODERA Yoshie, IKEDA Mitsuru, ISHIGAKI Takeo

Measurement of modulation transfer functions for liquid crystal displays by rectangular waveform analysis

Jap J Radiol Technol(Nippon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi) 61: 1651-1655, 2005

筆谷 拓, 池田 充, 奥田隆仁, 石川真一, 吉川秋利, 光岡 孝

上部消化管検査における誤嚥対策としての嚥下障害スクリーニング法
日本放射線技師会雑誌 52: 2260-2262, 2005

HIDANO Satoshi, IKEDA Mitsuru, ISHIGAKI Takeo, USAMI Hisashi, SHIMAMOTO Kazuhiro, KATO Katsuhiko

Effects of monitor luminance change on observer detection performance

Comput Med Imaging Graph 29: 35-41, 2005

KINOSHITA Yukihiro, IMAI Kuniharu

The relationship between the advance of PD degradation of fatigue failure type in a micro gap and injection of initial electrons required for PD generation

Proceedings of Korea-Japan Joint Symposium on Electrical discharge and High Voltage Engineering 1: 10-13, 2005

新美孝永, 今井國治, 池田 充, 前田尚利

マルコフ連鎖を用いた医用画像の視覚評価法とそれに伴う新しい画像観察法 (マルコフ連鎖型画像観察法) の考案

電子情報通信学会論文誌 J88-4: 858-861, 2005

遠地志太, 今井國治, 池田 充, 新美孝永

フラクタル次元による胸部 X 線 CR 像の画質評価と線量軽減

第 24 回日本医用画像工学会大会予稿集, 2005

今井國治, 遠地志太, 池田 充, 新美孝永

RMI156 マンモグラフィー用ファントムを用いた新しい画質評価法

第 24 回日本医用画像工学会大会予稿集, 2005

今井國治, 遠地志太, 池田 充, 新美孝永

極値統計学によるアーチファクトの統計解析とそれに基づく評価法 - Gumbel 評価法の考案 -

電子情報通信学会技術報告 1(1): 1-6, 2005

IMAI Kuniharu

PD degradation process of fatigue failure type in a micro gap

Proceedings of 2005 International Symposium on Electrical Insulating Materials 2: 447-450, 2005

IMAI Kuniharu

The Properties of PD degradation of fatigue failure type in a micro gap

IEEE/2005 Annual Report Conference on Electrical Insulation and Dielectric Phenomena 1: 214-217, 2005

TAKADA Akira, **ITOH Shigeki**, SUZUKI Kojiro, IWANO Shingo, SATAKE Hiroko, OTA Toyohiro, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Takeo

Branch duct-type intraductal papillary mucinous tumor: diagnostic value of multiplanar reformatted images in multislice CT

Eur Radiol 15: 1888-1897, 2005

ITOH Shigeki, **IKEDA Mitsuru**, ACHIWA Masataka, SATAKE Hiroko, OTA Toyohiro, ISHIGAKI Takeo

Multiphase contrast-enhanced CT of the liver with a multislice CT scanner: effects of iodine concentration and delivery rate

Radiat Med 23: 61-69, 2005

ITOH Shigeki, SUZUKI Koujiro, IWANO Shingo, SATAKE Hiroko, OTA Toyohiro, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Takeo

Three-phase CT examination of the pancreatobiliary region using multislice CT with 1-mm collimation

Radiat Med 23: 283-291, 2005

SAKAI Mitsuru, NAKAO Akimasa, KANEKO Tetsuya, TAKEDA Shin, INOUE Soichiro, YAGI Yoshikazu, OKOCHI Osamu, OTA Toyohiro, **ITOH Shigeki**

Transhepatic portal venous angioplasty with stenting for bleeding jejunal varices

Hepatogastroenterology 52: 749-752, 2005

鈴木耕次郎, 伊藤茂樹, 澤木明子, 森 芳峰, 佐竹弘子, 石垣武男, 竹田 伸
肝放線菌症の1例
消化器画像 7: 248-250, 2005

ITOH Shigeki, TAKADA Akira, SATAKE Hiroko, OTA Toyohiro, ISHIGAKI Takeo
Diagnostic value of multislice computed tomography for pancreas divisum: assessment with oblique coronal reconstruction images
J Comput Assist Tomogr 29: 452-460, 2005

川浦雅代, 青山隆彦, 小山修司, 阿知波正剛
人体ファントム線量測定に基づいた各種頭部 X 線検査における患者の臓器線量および実効線量評価
Radioisotopes 54(3): 55-66, 2005

YASUDA Naruomi, ISHIKAWA Yoko, **KODERA Yoshie**
Improvement of image quality in chest MDCT using nonlinear wavelet shrinkage with trimmed-thresholding
日本放射線技術学会雑誌 61: 1599-1608, 2005

ANDO Takekazu, TSUCHIYA Yuichiro, **KODERA Yoshie**
Fundamental study of compression for movie files of coronary angiography
Medical Imaging 2005, Image Perception, Obercer Performance, and Technology Assessment, Proceedings of SPIE, 425-435, 2005

TAKAMURA Miho, HIGAKI Akiko, **KODERA Yoshie**
Analysis of factors that affect DQE in digital mammography
Medical Imaging 2005, Physics of Medical Imaging, Proceedings of SPIE 1217-1228, 2005

TSUCHIYA Yuichiro, **KODERA Yoshie**
Development of kinetic analysis technique for PACS management and screening examination in dynamic radiography
Medical Imaging 2005, PACS and Imaging Informatics, Proceedings of SPIE, 256-266, 2005

土屋裕一郎, 小寺吉衛, 渡辺一夫, 大川剛史, 岩崎照夫, 中村真也, 法橋一生, 伊藤生也
時系列スペクトロスコピーによる生理運動の分離と解析および時系列ベクトル解析による呼吸位相検出
静岡県立総合病院医学雑誌 19: 135-142, 2005

ISHIKAWA Yoko, YASUDA Naruomi, **KODERA Yoshie**
Examination of threshold value in wavelet noise processing for chest X-ray CT image
Igaku Buturi(Jpn J Med Phys) 25(Sup 3-1): 236-239, 2005

TSUCHIYA Yuichiro, **KODERA Yoshie**
Development of a kinetic analysis technique for PACS management and a screening examination in dynamic radiography
日本放射線技術学会雑誌 61: 1666-1674, 2005

MORITA Kousuke, **MIYAHARA Hiroshi**, **OGATA Yoshimune**, KATOH Keiji
Emission probability measurement of g-ray of ¹⁰⁵Rh
Nucl Instrum Methods Phys Res A 540(2,3): 324-327, 2005

OGATA Yoshimune, SAKUMA Yoichi, OHTANI Nobuo, KOTAKA Masahiro
Tritium separation by electrolysis using solid polymer electrolyte
Fusion Sci Tech 48: 136-139, 2005

OGATA Yoshimune, **AOYAMA Takahiko**, **MIYAHARA Hiroshi**, SAKUMA Yoichi, OHTANI Nobuo
Tritium measurement with a proportional counter
Proceedings of the 19th Workshop on Radiation Detectors and Their Uses 1: 177-182, 2005

SAKUMA Yoichi, IIDA Takao, KOGANEZAWA Takayuki, **OGATA Yoshimune**, **AOYAMA Takahiko**,
TORIKAI Yuji, OHTA Masatoshi, TAKAMI Michiko
Development of a low-level tritium air monitor
Fusion Sci Tech 48: 397-400, 2005

島本佳寿広, 池田 充, 小山一之, 村元秀行, 福島洋道, 佐竹弘子, 澤木明子, 加藤克彦, 石垣武男
乳房ファントム画像の評価におけるモニタの輝度と照明の影響：CRT モニタと液晶モニタの比較
第7回医用画像認知研究会, 2005(奈良)

佐竹弘子, 澤木明子, 石垣聡子, 島本佳寿広, 福原理恵子, 菊森豊根, 小田高司, 今井常夫, 九澤孝美, 荒井 修,
石垣武男
乳腺領域におけるRVSの有用性と発展性について
第15回日本乳腺甲状腺超音波診断会議, 2005(横浜)

〔総説・解説・その他〕

本間光彦

第24回人体解剖トレーニングセミナーに参加して
第24回人体解剖トレーニングセミナー（2004年）報告書 1: 49, 2005

市川勝弘

CT装置の新しい性能評価：表示装置 医療現場に適した画質測定法を求めて
Innervision 20: 22-24, 2005

市川勝弘

3次元画像処理による医師の画像読影支援の最先端
Innervision 21: 61-65, 2005

池田 充

電子カルテ
健康文化 40: 21-24, 2005

池田 充, 石垣武男

[モニタ診断とその環境整備] 液晶モニタの診断能
臨床放射線 50: 1766, 2005

小寺吉衛

ISO

知っておくべき新しい診療理念、日本医師会雑誌付録 133: 121-123, 2005

小寺吉衛

第3章 胸部 X 線画像の生成

ICRU レポート 70 胸部 X 線写真の画質 pp 39-50, 2005

小寺吉衛

医用画像のデジタル化の特徴

日本放射線技術学会雑誌 61: 660-665, 2005

島本佳寿広

放射線科医に快適な読影室

臨床放射線 50: 1767-1773, 2005

佐竹弘子, 澤木明子, 石垣聡子, 福原理恵子, 島本佳寿広, 石垣武男

乳房の画像診断：これだけは知っておこう CT

臨床画像 21: 1084-1093, 2005

江本 豊, 長嶋宏和, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦

インターネット入門 (111) CyberRad 2005

臨床放射線 50(6): 811-817, 2005

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦

インターネット入門 (116) DHCP サーバ設定 (その1)

臨床放射線 50(12): 1718-1721, 2005

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦

インターネット入門 (117) DHCP サーバ設定 (その2)

臨床放射線 50(13): 1824-1827, 2005

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦, 嶋 吉成

インターネット入門 (114) 電子メールウイルスに対抗するために！電子メールサーバでのウイルスチェックシステム (その1)

臨床放射線 50(9): 1155-1158, 2005

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦, 嶋吉成

インターネット入門 (115) 電子メールウイルスに対抗するために！電子メールサーバでのウイルスチェックシステム (その2)

臨床放射線 50(10): 1279-1282, 2005

嶋 芳成, 江本 豊, 長嶋宏和, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦
インターネット入門 (112) 電子カルテと病歴データベース (1)
臨床放射線 50(7): 924-930, 2005

嶋 芳成, 江本 豊, 長嶋宏和, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦
インターネット入門 (113) 電子カルテと病歴データベース (2)
臨床放射線 50(8): 1038-1046, 2005

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦
インターネット入門 (110) レイヤ 2 レベルでのネットワーク通信
臨床放射線 50(5): 691-695, 2005

津坂昌利, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 嶋 芳成, 古賀佑彦
インターネット入門 (106) 初心にかえて; 電子メール考 (2)
臨床放射線 50(1): 215-219, 2005

武藤 晃一, 江本 豊, 津坂昌利, 長嶋宏和, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 嶋 芳成, 古賀佑彦
インターネット入門 (107) RSNA2004 雑感 (その 1)
臨床放射線 50(2): 334-338, 2005

武藤 晃一, 江本 豊, 津坂昌利, 長嶋宏和, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 嶋 芳成, 古賀佑彦
インターネット入門 (108) RSNA2004 雑感 (その 2)
臨床放射線 50(3): 455-460, 2005

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦
インターネット入門 (109) 手術ネットライブ中継の舞台裏
臨床放射線 50(4): 582-586, 2005

[科研費・班研究等]

宮原 洋
Br-80 及び Ru-105 の γ 線放出率精密測定
平成 15-16 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) 研究成果報告書 1 冊, 2005

[その他の印刷物等]

ISHIGURE Nobuhito, MATSUMOTO Masaki, NAKANO Takashi, ENOMOTO Hiroko
MONDAL3 – Support system for internal dosimetry
National Institute of Radiological Sciences, CD-ROM, 2005

〔学会発表〕

市川勝弘, 仁川英紀, 小林正佳, 大橋一也, 川野 誠
CTにおける操作支援プログラムの開発
平成16年度日本放射線技術学会中部部会会員研究発表会, 2005.1 (名古屋)

藤井啓輔, 青山隆彦, 小山修司, 川浦稚代, 阿知波正剛
球状フォトダイオード X線線量計と X線 CT 検査による小児の被ばく線量計測への応用
第19回高エネルギー加速器研究機構研究会「放射線検出器とその応用」, 2005.2 (つくば)

ANDO Takekazu, TSUCHIYA Yuichiro, **KODERA Yoshie**
Fundamental study of compression for movie files of coronary angiography
Medical Imaging 2005, Image Perception Observe Performance, and Technology Assessment SPIE, 2005.2 (San Diego, CA, USA)

TSUCHIYA Yuichiro, **KODERA Yoshie**
Development of kinetic analysis technique for PACS management and screening examination in dynamic radiography
Medical Imaging 2005, PACS and Imaging Informatics SPIE, 2005.2 (San Diego, CA, USA)

TAKAMURA Miho, HIGAKI Akiko, **KODERA Yoshie**
Analysis of factors that affect DQE in digital mammography
Medical Imaging 2005, Physics of Medical Imaging SPIE, 2005.2 (San Diego, CA, USA)

清水秀年, 江原康太郎, 緒方良至, 宮原 洋, 鳥養祐二, 松山政夫
プラスチックシンチレータを用いた高濃度トリチウムの測定
第19回放射線検出器とその応用, 2005.2 (つくば)

緒方良至, 青山隆彦, 宮原 洋, 佐久間洋一, 大谷 暢夫
比例計数管によるトリチウムの計測
第19回放射線検出器とその応用, 2005.2 (つくば)

望月真吾, 緒方良至, 旗野健太郎, 阿部潤一郎, 伊藤健吾, 西野正成, 宮原 洋
医療用小型サイクロトロン放射化と PET 薬剤中の放射性副生成物の分析
第14回 PET 化学ワークショップ, 2005.2 (蒲郡)

服部真澄, 棚田信春, 酒井 功, 小山修司
Snakes (動的輪郭モデル) を使用した側脳室下角輪郭の検討
日本放射線技術学会中部部会会員研究発表会, 2005.2 (名古屋)

HORII Akiko, CHIHARA Aya, TAKAMURA Miho, **ICHIKAWA Katsuhiko, KODERA Yoshie, IKEDA Mitsuru, ISHIGAKI Takeo**
Measurement of MTFs for liquid crystal displays by rectangular waveform analysis
2005 European Congress of Radiology, 2005.3 (Vienna, Austria)

IMAI Kuniharu, NIIMI Takanaga, **IKEDA Mitsuru**, **MAEDA Hisatoshi**, MANO Akihiro, ENCHI Yukihiro
The strict meaning of the area under a contrast-detail (C-D) curve
2005 European Congress of Radiology (ECR 2005), 2005.3 (Vienna, Austria)

今井國治, 遠地志太, 新美孝永, 池田 充, 前田尚利
情報損失量を用いた医用画像の画質評価法
2005年電子情報通信学会総合大会, 2005.3 (豊中)

木下幸弘, 今井國治, 木全浩市
微小空隙内のPD劣化領域の広がり特性と放電遅れとの関係
平成17年電気学会全国大会, 2005.3 (徳島)

NIIMI Takanaga, **IMAI Kuniharu**, **IKEDA Mitsuru**, **MAEDA Hisatoshi**, MANO Akihiro, ENCHI Yukihiro
Reliability of contrast-detail (C-D) diagram deduced from Markov chain and reduction in the number of observation times
2005 European Congress of Radiology (ECR 2005), 2005.3 (Vienna, Austria)

緒方良至, 清水秀年, 江原康太郎, 宮原 洋
プラスチックシンチレータを用いた高濃度トリチウム水測定
第3回同位体科学研究会, 2005.3 (名古屋)

望月真吾, 緒方良至, 簗野健太郎, 阿部潤一郎, 伊藤健吾, 西野正成, 宮原 洋
PET薬剤製造時に生成する放射性副生成物の分析
第3回同位体科学研究会, 2005.3 (名古屋)

小田耕司, 津坂昌利
デジタル画像システムにおける散乱線除去グリッドのモアレ：シミュレーションによる解析
第39回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2005.3 (福井)

IKEDA Mitsuru, ISHIGAKI Takeo, **ITOH Shigeki**
Influence of rib structure on detection of subtle lung nodules
17th European Congress of Radiology 2005, 2005.3 (Vienna, Austria)

WADA Shinichi, **IKEDA Mitsuru**, NISHIZAWA Kanae
Evaluation of Signal and Noise and Exposure in Medical Image for CAD
1st International Symposium on Intelligent Assistance in Diagnosis of Multi-Dimensional Medical Images,
2005.3 (Nagoya)

西沢かな枝, 森 慎一郎, 大野真里, 赤羽恵一, 和田真一, 池田 充
マルチCT検査時の被検者の被ばく線量
文部科学省 科学研究費補助金 特定領域研究 「多次元医用画像の知的診断支援」 第2回シンポジウム, 2005.3 (名古屋)

USAMI Hisashi, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Takeo, FUKUSHIMA Masanori, SHIMAMOTO Kazuhiro
Influence of liquid crystal display (LCD) monitors on observer performance for detection of nodular lesions on chest radiographs

17th European Congress of Radiology (ECR2005), 2005.3 (Vienna, Austria)

池田 充, 石垣武男, 伊藤茂樹, 和田真一, 西沢かな枝, 古川 章, 新美孝永, 今井國治

CADのための医用画像の画質評価と被曝線量評価—研究成果概要—

文部科学省 科学研究費補助金 特定領域研究 「多次元医用画像の知的診断支援」 第2回シンポジウム, 2005.3 (名古屋)

寺本篤司, 村越貴行, 津坂昌利, 藤田広志

開放型 X 線発生器とフラットパネルディテクタを用いた実装基板検査用 3 次元 X 線 CT 装置の開発
第 19 回エレクトロニクス実装学会学術講演大会, 2005.3 (東京)

本間光彦

私は診療放射線技師です。と名乗る前に,

第 55 回日本病院学会, 2005.4 (名古屋)

堀井亜希子, 高村美穂, 石垣武男, 干原 絢, 市川勝弘, 小寺吉衛, 池田 充

液晶ディスプレイ装置の画質特性の測定

第 61 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2005.4 (横浜)

市川勝弘, 仁川英紀, 小林正佳, 大橋一也, 川野 誠

CTにおけるスキャン範囲自動設定プログラムの開発—腹部下縁と頭部撮影範囲の認識

第 61 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2005.4 (横浜)

遠地志太, 今井國治, 池田 充, 新美孝永

Contrast-Detail(C-D) 解析における曲線下面積の情報工学的解釈

第 60 回日本放射線技術学会総合学術大会, 2005.4 (横浜)

福嶋洋道, 伊藤茂樹, 高田 章, 森 芳峰, 鈴木耕次郎, 澤木明子, 岩野信吾, 佐竹弘子, 太田豊裕, 石垣武男
膵管癌検出における高分解能 curved MPR 画像の役割の検討

第 64 回日本医学放射線学会学術集会, 2005.4 (横浜)

伊藤茂樹, 池田 充, 森 芳峰, 佐竹弘子, 石垣武男

マルチスライス CT による胆膵領域の 3 相造影 CT 検査における造影効果の評価: 年齢の影響

第 64 回日本医学放射線学会学術集会, 2005.4 (横浜)

YASUDA Naruomi, ABE Shinji, NISHIMURA Katsuyuki, SATO Hitoshi, MURAISHI Hiroshi, YOKOYAMA Kenichi, TOMIDA Tetsuya, INADA Tetsuo, YUSA Ken, KANAI Tatsuaki, KAWACHI Kiyomitsu, **KODERA Yoshie**

Noise reduction in heavy ion computed tomography using wavelet shrinkage method

6th Asian-Pacific Conference on Medical and Biological Engineering, 2005.4 (つくば)

高村美穂, 檜垣亜希子, 加藤佐和子, 小寺吉衛

デジタルマンモグラフィにおける DQE の測定法に与える影響因子の解析
第 61 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2005.4 (横浜)

土屋裕一郎, 小寺吉衛, 真田 茂, 田中利恵, 井上仁司

動画対応フラットパネルディテクタシステムによる胸部動態画像照合方法の検討
第 61 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2005.4 (横浜)

安田成臣, 小寺吉衛

Wavelet shrinkage denoising における直交ウェーブレット関数系
第 61 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2005.4 (横浜)

角谷倫之, 田伏勝義, 霜村康平, 木藤哲史, 塩田泰生, 青山裕一

低エネルギー光子に対するガラス線量計のばらつき
第 89 回日本医学物理学会学術大会, 2005.4 (横浜)

霜村康平, 田伏勝義, 木藤哲史, 塩田泰生, 角谷倫之, 青山裕一

蛍光ガラス線量計の低エネルギー光子に対するエネルギー特性
第 89 回日本医学物理学会学術大会, 2005.4 (横浜)

塩田泰生, 田伏勝義, 小幡康範, 青山裕一, 木藤哲史

線量測定における変動補正用検出器の影響
第 89 回日本医学物理学会学術大会, 2005.4 (横浜)

木藤哲史, 霜村康平, 田伏勝義

放射線治療用電離箱の実行中心の論理計算モデルとモンテカルロシミュレーションによる検証
第 89 回日本医学物理学会学術大会, 2005.4 (横浜)

小田耕司, 津坂昌利

デジタル画像システムにおける散乱線除去グリッドのモアレ
第 89 回日本医学物理学会大会, 2005.4 (横浜)

小田耕司, 津坂昌利

デジタル画像システムにおける散乱線除去グリッドのアーチファクト
第 61 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2005.4 (横浜)

池田 充

合同シンポジウム 3 「モニタ診断とその環境整備」 5. 液晶モニタの診断能
第 64 回日本医学放射線学会学術大会, 2005.4 (横浜)

島本佳寿広

シンポジウム 「モニタ診断とその環境整備」 放射線科医に快適な読影室
第 64 回日本医学放射線学会学術大会, 2005.4 (横浜)

池田 充

胸部単純撮影における結節の検出能に与える肋骨の影響
第7回放射線研究セミナー, 2005.4 (名古屋)

太田豊裕, 鈴木耕次郎, 森 芳峰, 高田 章, 館 靖, 伊藤茂樹, 加藤加代子, 金子哲也, 石垣武男
膵癌術後の上腸間膜動脈出血に対して, 冠動脈用ステントグラフトを留置した1例
第23回日本Metallic Stents & Grafts研究会, 2005.5 (東浦町 (兵庫県))

堀井亜希子, 高村美穂, 市川勝弘, 小寺吉衛

モノクロおよびカラー液晶ディスプレイのMTFの測定
平成17年度(第142回)医用画像情報学会年次大会, 2005.6 (岐阜)

石樽信人

計算シミュレーションによるICRP体内動態モデルの妥当性の検討
第39回日本保健物理学会研究発表会, 2005.6 (六ヶ所村 (青森県))

山田裕, 榎本宏子, 石樽信人

気道上皮培養細胞における放射性感受性の比較
第39回日本保健物理学会研究発表会, 2005.6 (六ヶ所村 (青森県))

仲野高志, 鈴木敏和, 石樽信人

体外計測におけるファントム形態の影響
第39回日本保健物理学会研究発表会, 2005.6 (六ヶ所村 (青森県))

仲野高志, 鈴木敏和, 石樽信人

BOMABファントム作製について
第39回日本保健物理学会研究発表会, 2005.6 (六ヶ所村 (青森県))

ITOH Shigeki, SATAKE Hiroko, OTA Toyohiro, IKEDA Mituru, ISHIGAKI Takeo

Triple-phase contrast-enhanced CT of the pancreatobiliary region with a multislice CT scanner: effect of patients age on contrast enhancement
16th Annual meeting and postgraduate course ESGAR2005 (European society of gastrointestinal and abdominal radiology), 2005.6 (Florence, Italy)

FUKUSHIMA Hiromichi, ITOH Shigeki, SATAKE Hiroko, OTA Toyohiro, IKEDA Mituru, ISHIGAKI Takeo

Diagnostic value of curved multiplanar reformatted images in multislice CT for the detection of pancreatic ductal adenocarcinoma
16th Annual meeting and postgraduate course ESGAR2005 (European society of gastrointestinal and abdominal radiology), 2005.6 (Florence, Italy)

森 芳峰, 伊藤茂樹, 長縄慎二, 石垣武男

下大静脈壁由来の平滑筋肉腫の1例
第19回腹部放射線研究会, 2005.6 (熊本)

安田成臣, 石川陽子, 小寺吉衛

X線CTのウェーブレットdenoisingにおけるQian Thresholding
平成17年度(第142回)医用画像情報学会年次大会, 2005.6(岐阜)

高村美穂, 小寺吉衛

仮想スリット法と二次元フーリエ変換法によるデジタルウィナーズスペクトルの比較
平成17年度(第142回)医用画像情報学会年次大会, 2005.6(岐阜)

小栗夕佳, 小寺吉衛, 宮原 洋, 石樽信人

Si-PIN フォトダイオードを用いた低エネルギー X線スペクトル測定
平成17年度(第142回)医用画像情報学会年次大会, 2005.6(岐阜)

太田雅壽, 佐久間洋一, 緒方良至

化学形弁別トリチウムモニターの開発
第39回日本保健物理学会研究発表会, 2005.6(六ヶ所村(青森県))

佐久間洋一, 山西弘城, 飯田孝夫, 緒方良至

環境水中トリチウム測定の簡素化3
第39回日本保健物理学会研究発表会, 2005.6(六ヶ所村(青森県))

広藤喜章, 青山隆彦, 小山修司

上部消化管 X線検査における被ばく線量評価
第39回日本保健物理学会研究発表会, 2005.6(六ヶ所村(青森県))

今井國治, 遠地志太, 池田 充, 新美孝永

RMI156 マンモグラフィ用ファントムを用いた新しい画質評価法
第24回日本医用画像工学会大会, 2005.7(東京)

遠地志太, 今井國治, 池田 充, 新美孝永

フラクタル次元による胸部 X線 CR像の画質評価と線量軽減
第24回日本医用画像工学会大会, 2005.7(東京)

石樽信人

ICRPの作業: ボクセルファントムにおける標準的な個人の表現
日本保健物理学会シンポジウム「たゆみないファントムの開発及び利用」, 2005.7(千葉)

駒田智大, 太田豊裕, 佐竹弘子, 川井 恒, 石垣武男, 伊藤茂樹

マルチスライスCTで主膵管内進展が描出できた乳頭部癌の1例
第138回日本医学放射線学会中部地方会, 2005.7(富山)

安田成臣, 小寺吉衛

X線CT画像のWavelet Denoisingにおける母関数の選択
第24回日本医用画像工学会大会, 2005.7(東京)

小寺吉衛, 高村美穂

仮想スリット法と二次元フーリエ変換法によるデジタルウィナースペクトルの比較
第 24 回日本医用画像工学会大会, 2005.7 (東京)

望月真吾, 緒方良至, 旗野健太郎, 阿部潤一郎, 伊藤健吾, 西野正成, 宮原 洋, 石樽信人
PET 薬剤製造時の放射性副生成物の測定とサイクロترون室における中性子の測定
第 42 回アイソトープ・放射線研究発表会, 2005.7 (東京)

緒方良至

プラスチックシンチレーションバイアルによる放射能の測定
第 42 回アイソトープ・放射線研究発表会, 2005.7 (東京)

佐久間洋一, 山西弘城, 緒方良至, 辻 成人, 佐竹 洋, 垣内正久, 飯田孝夫
環境水中トリチウム濃度測定的时间効率化および正確化 2
第 42 回アイソトープ・放射線研究発表会, 2005.7 (東京)

太田雅壽, 佐久間洋一, 緒方良至, 上松和義
トリチウム化合物の化学形弁別連続モニタリングシステム
第 42 回アイソトープ・放射線研究発表会, 2005.7 (東京)

MORITA Junya, MIWA Kazuhisa, KITASAKA Takayuki, MORI Kensaku, SUENAGA Yasuhito, IWANO Shingo, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Takeo
Expertise in interactions of perceptual and conceptual processing
27th Annual Conference of the Cognitive Science Society, 2005.7 (Stresa, Italy)

森田純哉, 三輪和久, 北坂孝幸, 森 健策, 末永康仁, 岩野信吾, 池田 充, 石垣武男
知覚と概念の相互作用: 医用画像診断における熟達化の検討
第 22 回日本認知科学学会大会, 2005.7 (京都)

木下幸弘, 今井國治, 木全浩市
PD 劣化と初期電子供給の相関性
2004 年電気学会基礎・材料・共通部門大会, 2005.8 (東京)

松島正哉, 伊藤茂樹, 太田豊裕, 館 靖, 石垣武男
腹部巨大 Gastrointestinal Stromal tumor (GIST) の 2 例
第 58 回東海総合画像医学研究会, 2005.8 (名古屋)

前田尚利

心臓核医学: 心機能がどこまでわかるか?
第 17 回放射線夏の学校テキスト, 2005.8 (志摩)

SHIOTA Yasuo, **TABUSHI Katsuyoshi**, KITO Satoshi
Examination of the component of the scattered radiation by external monitor chamber using EGS4
12th EGS User's Meeting in Japan, 2005.8 (Tsukuba)

SHIMOMURA Kohei, **TABUSHI Katsuyoshi**, KITO Satoshi, SHIOTA Yasuo, KADOYA Noriyuki, BAN Syuichi, NAMITO Yoshihito

Investigation of the energy characteristic for radiophotoluminescent glass rod dosimeter with EGS4

12th EGS User's Meeting in Japan, 2005.8 (Tsukuba)

KADOYA Noriyuki, **TABUSHI Katsuyoshi**

Basal study of CT based on Cherenkov radiation using EGS4

12th EGS User's Meeting in Japan, 2005.8 (Tsukuba)

KITOU Satoshi, **TABUSHI Katsuyoshi**

Development of numerical calculation program of high energy photon spectra using random sampling algorithm

12th EGS User's Meeting in Japan, 2005.8 (Tsukuba)

堀井亜希子, 市川勝弘, 小寺吉衛, 池田 充, 石垣武男

液晶ディスプレイ装置の画質特性

第7回医用画像認知研究会 第7回遠隔画像診断部会 第5回画像診断報告書研究会 第26回医用画像電子化研究会合同研究会, 2005.8 (奈良)

池田 充, 今井國治, 新美孝永, 石垣武男

Contrast-Detail 解析のマルコフ理論を応用した新しい評価方法

第7回医用画像認知研究会 第7回遠隔画像診断部会 第5回画像診断報告書研究会 第26回医用画像電子化研究会合同研究会, 2005.8 (奈良)

福島洋道, 池田 充, 石垣武男, 宇佐見寿志, 島本佳寿広

液晶モニタにおける肺間質影の診断能の評価

第7回医用画像認知研究会 第7回遠隔画像診断部会 第5回画像診断報告書研究会 第26回医用画像電子化研究会合同研究会, 2005.8 (奈良)

島本佳寿広, 池田 充, 小山一之, 村元秀行, 福島洋道, 佐竹弘子, 澤木明子, 加藤克彦, 石垣武男

乳房ファントム画像の評価におけるモニタの輝度と照明の影響 : CRT モニタと液晶モニタの比較

第7回医用画像認知研究会 第7回遠隔画像診断部会 第5回画像診断報告書研究会 第26回医用画像電子化研究会合同研究会, 2005.8 (奈良)

今井國治, 遠地志太, 池田 充, 新美孝永

胸部 CR 像における解像度とフラクタル次元との関係

2005 年電子情報通信学会ソサエティー大会, 2005.9 (札幌)

木下幸弘, 今井國治, 木全浩市

PD 劣化した微小空隙内の PD 発生機構

平成 17 年度電気関係東海支部連合大会, 2005.9 (名古屋)

ISHIKAWA Yoko, YASUDA Naruomi, **KODERA Yoshie**

Examination of threshold value in wavelet noise processing for X-ray CT image

4th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and The 5th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2005.9 (Kyoto)

小栗夕佳, 小寺吉衛, 石樽信人, 宮原 洋

Si-PIN フォトダイオードを用いた乳房撮影領域の X 線エネルギースペクトル測定
平成 17 年度医用画像情報学会秋季 (第 143 回) 大会, 2005.9 (鹿児島)

MOCHIZUKI Shingo, **OGATA Yoshimune**, HATANNO Kentaro, ABE Junichiro, ITO Kengo, ITO Yoshihiro,
NISHINO Masanari, **MIYAHARA Hiroshi**, **ISHIGURE Nobuhito**

Measurement of the Induced Radionuclides in Production of Radiopharmaceuticals for Positron Emission Tomography (PET)

2nd International Symposium on Isotopes: Effects in Physics, Chemistry and Engineering (IEPCE2), 2005.9 (Nagoya)

佐久間洋一, 山西弘城, 緒方良至, 辻 成人, 鳥養祐二

環境水中トリチウム測定手法の簡素化 2

日本原子力学会 2005 年秋の大会, 2005.9 (八戸市)

KITOU Satoshi, SHIMOMURA Kohei, **TABUSHI Katsuyoshi**, SHIOTA Yasuo

Improvement of theoretical calculation for the effective point of measurement of cylindrical ionization chamber in external photon radiotherapy

4th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and The 5th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2005.9 (Kyoto)

SHIOTA Yasuo, **TABUSHI Katsuyoshi**, KITO Satoshi

The effect of the scattered radiation by external monitor chamber in radiotherapy dosimetry

4th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and The 5th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2005.9 (Kyoto)

KADOYA Noriyuki, **TABUSHI Katsuyoshi**, HASEGAWA Tatsuya, YAMAMOTO Emi, AMANO Sinji,
SHIMOMURA Kouhei, KITOU Satoshi

Trial CT based on Cherenkov radiation using Co-60 gamma-rays

4th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and The 5th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2005.9 (Kyoto)

SHIMOMURA Kouhei, **TABUSHI Katsuyoshi**, KADOYA Noriyuki, KITOU Satoshi, SHIOTA Yasuo,
AOYAMA Yuuichi, BAN Syuichi, NAMITO Yoshihito

The energy dependence of radiophotoluminescence glass Dosimeter for low energy photon using synchrotron radiation

4th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and The 5th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2005.9 (Kyoto)

AOYAMA Takahiko, **KOYAMA Shuji**, **KAWAURA Chiyo**

Organ and effective dose evaluation for pediatric and adult patients undergoing CT examinations based on the dosimetry within anthropomorphic phantoms

14th IOMP's International Conference of Medical Physics, 2005.9 (Nuremberg, Germany)

ODA Koji, TSUZAKA Masatoshi

Evaluation of moire Artifacts with Stationary Anti-scatter Grids in Amorphous Selenium-based Flat Panel X-ray System.

Japan-Korea Joint Symposium 2005 on Medical Imaging, 2005.9 (Seoul, Korea)

市川勝弘, 堀井亜希子, 小寺吉衛, 東出 了, 國友博史

仮想スリットによる液晶ディスプレイのウィナーズスペクトル測定

第 33 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2005.10 (鹿児島)

堀井亜希子, 市川勝弘, 小寺吉衛

二次元フーリエ変換法による液晶ディスプレイのウィナーズスペクトル測定

第 33 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2005.10 (鹿児島)

IMAI Kuniharu

The Properties of PD degradation of fatigue failure type in a micro gap

2005 Conference on Electrical Insulation and Dielectric Phenomena, 2005.10 (Nashville, USA)

今井國治, 遠地志太, 池田 充, 新美孝永

フラクタル次元を用いた胸部 CR 像の画質評価法

第 33 回日本放射線技術学会秋季大会, 2005.10 (鹿児島)

石垣聡子, 佐竹弘子, 石垣武男, 伊藤茂樹

術前に MSCT にて胆嚢穿孔を診断しえた 1 例

第 41 回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 2005.10 (広島)

土屋裕一郎, 小寺吉衛

動態画像患者認識システムの特徴量データマイニングによる判別モジュールの最適化

第 33 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2005.10 (鹿児島)

石川陽子, 安田成臣, 小寺吉衛

胸部 X 線 CT 画像のウェーブレットノイズ低減における閾値の検討

第 33 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2005.10 (鹿児島)

高村美穂, 小寺吉衛

仮想スリット法と二次元フーリエ変換法によるデジタルウィナーズスペクトルの比較

第 33 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2005.10 (鹿児島)

小栗夕佳, 小寺吉衛, 石樽信人, 宮原 洋

Si-PIN フォトダイオードを用いた乳房撮影領域の X 線エネルギースペクトル測定

第 33 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2005.10 (鹿児島)

朝原正喜, 楠原俊明, 吉田 彰, 加藤佐和子, 小寺吉衛

RMI156 ファントム像評価アルゴリズムの開発—微小石灰化群の評価—

第 33 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2005.10 (鹿児島)

OGATA Yoshimune

Radioactivity measurement with a plastic scintillation vial
Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry-05, 2005.10 (Beijing, China)

村井 誠, 津坂昌利

Web 技術の画像配信への応用
日本生体医工学会東海支部学術集会, 2005.10 (名古屋)

広藤喜章, 青山隆彦, 小山修司, 川浦稚代

人体ファントム内線量測定にて評価した腹部 CT 検査と上部消化管 X 線検査の被ばく線量の比較
第 32 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2005.10 (鹿児島)

佐野文香, 根來小百合, 市川勝弘, 小寺吉衛

デジタルマンモグラフィにおけるウィナースペクトルの測定
第 40 回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2005.11 (大垣)

市川勝弘, 堀井亜希子, 小寺吉衛

周期成分減算法における液晶ディスプレイのウィナースペクトル測定
第 40 回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2005.11 (大垣)

堀井亜希子, 高村美穂, 市川勝弘, 小寺吉衛

カラー液晶ディスプレイの MTF およびモノクロ液晶ディスプレイの二次元 WS の測定
第 40 回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2005.11 (大垣)

根來小百合, 佐野文香, 市川勝弘, 小寺吉衛

デジタルマンモグラフィにおけるプリサンプリング MTF の測定
第 40 回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2005.11 (大垣)

今井國治, 遠地志太, 池田 充, 新美孝永, 和田真一

極値統計学によるアーチファクトの統計解析とそれに基づく評価法— Gumbel 評価法の考案—
電子情報通信学会医用画像研究会, 2005.11 (千葉)

KINOSHITA Yukihiro, IMAI Kuniharu

The relationship between the advance of PD degradation of fatigue failure type in a micro gap and injection of initial electrons required for PD generation
Korea-Japan Joint Symposium on Electrical discharge and High Voltage Engineering, 2005.11 (Asan, Korea)

山田裕, 榎本宏子, 岡安隆一, 石樽信人

ラット呼吸気道上皮細胞の放射線感受性の比較
第 48 回日本放射線影響学会大会, 2005.11 (広島)

石川陽子, 安田成臣, 小寺吉衛

X 線 CT 画像のウェーブレットノイズ低減における閾値の検討
第 40 回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2005.11 (大垣)

加藤佐和子, 朝原正喜, 小寺吉衛
マンモグラフィ用画質評価ファントム像の評価アルゴリズムの開発
第40回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2005.11 (大垣)

山崎明日美, 小寺吉衛, 市川勝弘
位相コントラストマンモグラフィ(PCM)の物理的画質特性の測定
第40回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2005.11 (大垣)

ASAHARA Masaaki, YOSHIDA Akira, **KODERA Yoshie**, KUSUHARA Toshiaki
Computerized scheme for evaluating mammographic phantom images
Radiological Society of North America 91st Scientific Assembly and Annual Meeting, 2005.11 (Chikago,IL,USA)

佐久間洋一, 山西弘城, 緒方良至
環境中トリチウム測定
第4回日本放射線安全管理学会学術大会, 2005.11 (京都)

山内(川浦)稚代, 丸山治彦, 太田伸生
ヴェネズエラ糞線虫の体内移行期における虫体の運動
第61回寄生虫学会西日本支部大会 第60回日本衛生動物学会西日本支部大会 合同大会, 2005.11 (高知)

FUKUSHIMA Hiromichi, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Takeo, USAMI Hisashi, **SHIMAMOTO Kazuhiro**
Influence of liquid crystal display (LCD) monitors on observer performance for detection of subtle pulmonary disease on chest radiographs
91st Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America, 2005.11 (Chicago, IL USA)

〔公開講座・講演会〕

井口哲夫, 宮原 洋
水血圧計の作製と血圧測定実験
東郷高校, 2005.1 (東郷町 (愛知県))

小山修司
X線CT撮影時の被ばく線量評価の実際
日本放射線技術学会東京部会第48回医療被ばく測定セミナー, 2005.1 (東京)

宮原 洋
エックス線の管理
エックス線作業主任者勉強会講習会, 2005.2 (名古屋)

本間光彦
社会からみえる診療放射線技師
第46回東海四県放射線技師合同研究会, 2005.2 (四日市)

市川勝弘

わかりやすいマルチスライス CT における画像再構成
第 61 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2005.4 (横浜)

小寺吉衛

医用画像 その過去と現在そして未来
2005 年度日本写真学会年次大会, 2005.5 (東京)

小山修司

医療被ばく線量計測の基礎と応用
平成 17 年度日本放射線技術学会中部部会医療被ばく測定セミナー, 2005.8 (名古屋)

市川勝弘

3 次元画像処理による医師の画像読影支援の最先端
平成 17 年度電気関係学会東海支部連合大会, 2005.9 (名古屋)

小山修司

X 線 CT 撮影時の被ばく線量評価の実際
日本放射線技術学会近畿部会第 2 回医療被ばく測定セミナー, 2005.9 (大阪)

石樽信人

ICRP 第 2 専門委員会 2005 年会合
第 10 回ファントムの開発及び利用に関する専門研究会, 2005.10 (大阪)

石樽信人

2005 年 9 月 ICRP 第 2 専門委員会の概要報告
平成 17 年度第 2 回 ICRP 調査研究連絡会報告会, 2005.10 (東京)

池田 充

がん早期発見のための最新画像診断機器
平成 17 年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座, 2005.10 (名古屋)

後藤賢一, 奥村信次, 松尾綾江, 蛭川亜希子, 横井みどり, 有地栄一郎, 小山修司, 西川真理, 笹田裕也, 遠山和希, 中川拓哉

歯科用コンビーム CT の被ばく線量測定
第 40 回日本放射線技術学会中部部会学術大会, 2005.11 (大垣)

石樽信人

ICRP の現在の動向
平成 17 年度愛知県放射線技師会第 3 回研修会, 2005.12 (名古屋)

石樽信人

ICRP の最近の状況
核融合科学研究所研究会, 2005.12 (土岐)

検査技術科学専攻

3 検査技術科学専攻

〔著書〕

古池保雄

汎自律神経障害

『看護のための最新医学講座－第1巻－（第2版）』 中山書店, 2005. pp 460-462

古池保雄

ナルコレプシー

『看護のための最新医学講座－第1巻－（第2版）』 中山書店, 2005. pp 501-502

古池保雄

起立性低血圧

『看護のための最新医学講座－第1巻－（第2版）』 中山書店, 2005. pp 462-467

古池保雄

パーキンソン病に伴う自律神経不全症

『看護のための最新医学講座－第1巻－（第2版）』 中山書店, 2005. pp 470-471

小嶋哲人

「血管内皮の向流動性機構」

『図説 血栓・止血・血管学 血栓症制圧のために』（一瀬白帝編著）中外医学社, 2005. pp 51-56

岡田浩美, 小嶋哲人

「第4章 主要疾患：現況・病態・診断・治療 36. プロテイン C, プロテイン S 欠乏症」

『「血液疾患」-state of arts Ver.3 別冊・医学のあゆみ』（坂田洋一ほか編）医歯薬出版, 2005. pp 765-768

山影 望, 小嶋哲人

「第1章 病態生理に関する基礎的・臨床的研究：最近の進歩 病態研究 72. 第V, 第VIII因子合併欠乏症の病因」

『「血液疾患」-state of arts Ver.3 別冊・医学のあゆみ』（坂田洋一ほか編）医歯薬出版, 2005. pp 295-298

野田明子

第2章画像診断・臨床検査概論 2. 生体機能検査

『基礎からの臨床医学』（島本佳寿広）名古屋大学出版会, 2005. pp 20-24

OCHI Hikari, MIYATA Seiko, **NODA Akiko**, IWASE Mitsunori, KUROKI Syoko, **KOIKE Yasuo**, ITO Rieko, YAMADA Hiroshi, YOKOTA Mitsuhiro

Electrocardiography fails to diagnose left ventricular hypertrophy accurately in women

Advances in electrocardiology 2004: proceedings of the 31th international congress on electrocardiology (HIROOKA Masayasu, OGAWA Satoshi, KOMADA Itsuo, INOUE Hiroshi, KASANUKI Hiroshi, KATOH Takao) World Scientific, 2005. pp 640-643

野田明子

第4章循環器疾患 I. 循環器領域の生体機能検査

『基礎からの臨床医学』（島本佳寿広）名古屋大学出版会, 2005. pp 81-88

高木健三, 川部 勤, 長谷川高明

テオフィリンの薬物動態に影響を与える因子

『喘息治療におけるテオフィリン薬』(宮本昭正, 真野健次監修) メディカルレビュー社, 2005. pp 139-157

横井豊治

呼吸器系

『カラーアトラス マクロ病理学 第3版』(監訳: 山川光徳, 横井豊治, 吉野 正, 監修: クック, スチュアート) 西村書店, 2005. pp 43-51

[原著論文]

MORINAGA Takatoshi, ENOMOTO Atsushi, SHIMONO Yohei, HIROSE Fumiko, FUKUDA Naoyuki, DAMBARA Atsushi, JIJIWA Mayumi, KAWAI Kumi, **HASHIMOTO Katsunori**, **ICHIHARA Masatoshi**, ASAI Naoya, MURAKUMO Yoshiki, MATSUO Seiichi, TAKAHASH Masahide

GDNF-inducible zinc finger protein 1 is a sequence-specific transcriptional repressor that binds to the HOXA10 gene regulatory region

Nucleic Acids Res 33: 4191-4201, 2005

ZHANG Jing-min, HASHIMOTO Mizuo, KAWAI Kumi, MURAKUMO Yoshiki, SATO Tomoko, **ICHIHARA Masatoshi**, NAKAMURA Shigeo, TAKAHASH Masahide

CD109 expression in squamous cell carcinoma of the uterine cervix

Pathol Int 55: 165-169, 2005

OKAMOTO Masakazu, HASEGAWA Yoshinori, HARA Toru, HASHIMOTO Naozumi, IMAIZUMI Kazuyoshi, SHIMOKATA Kaoru, **KAWABE Tsutomu**

T-helper type 1/T-helper type 2 balance in malignant pleural effusions compared to tuberculous pleural effusions

Chest 128: 4030-4035, 2005

OKAMOTO Masakazu, **KAWABE Tsutomu**, IWASAKI Yasumasa, HARA Toru, HASHIMOTO Naozumi, IMAIZUMI Kazuyoshi, HASEGAWA Yoshinori, SHIMOKATA Kaoru

Evaluation of interferon-gamma, interferon-gamma-inducing cytokines, and interferon-gamma-inducible chemokines in tuberculous pleural effusions

J Lab Clin Med 145: 88-93, 2005

ZHANG Huiming, TAMAKOSHI Koji, YATSUYA Hiroshi, MURATA Chiyoe, WADA Keiko, OTSUKA Rei, NAGASAWA Nobue, ISHIKAWA Miyuki, SUGIURA Kaichiro, MATSUSHITA Kunihiro, HORI Yoko, **KONDO Takaaki**, TOYOSHIMA Hideaki

Long-term body weight fluctuation is associated with metabolic syndrome independent of current body mass index among Japanese men

Circ J 69: 13-18, 2005

大塚 礼, 豊嶋英明, 八谷 寛, 張 恵明, 和田恵子, 村田千代栄, 堀 容子, 近藤高明, 豊嶋英明

職域コホート男性における血清レプチン濃度と生活習慣との関連

日本循環器病予防学会誌 40: 123-130, 2005

MABUCHI Tomoko, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Koji, OTSUKA Rei, NAGASAWA Nobue, ZHANG Huiming, MURATA Chiyoe, WADA Keiko, ISHIKAWA Miyuki, HORI Yoko, **KONDO Takaaki**, HASHIMOTO Shuji, TOYOSHIMA Hideaki

Association between serum leptin concentration and white blood cell count in middle-aged Japanese men and women

Diabetes Metab Res Rev 21: 441-447, 2005

KAWAMURA-SATO Kumiko, TORII Keizo, HASEGAWA Tadao, **ITO Hideo**, OHTA Michio

Prevalence of Ile-460-Val/ParE substitution in clinical *streptococcus pneumoniae* isolates that were less susceptible to fluoroquinolones

Curr Microbiol 51(1): 27-30, 2005

KAWAMURA-SATO Kumiko, HIRAMA Yumi, AGATA Norio, **ITO Hideo**, TORII Keizo, TAKENO Akira, HASEGAWA Tadao, SHIMOMURA Yoshiharu, OHTA Michio

Quantitative analysis of cereulide, an emetic toxin of *Bacillus cereus*, by using rat liver mitochondria

Microbiol Immunol 49(1): 25-30, 2005

川村久美子, 平間佑美, 安形則雄, 伊藤秀郎, 太田美智男

High-performance liquid chromatography-mass spectrometry 法を用いた *Bacillus cereus* セレウリド (嘔吐毒) 検出法の検討

日本臨床微生物学会雑誌 15(2): 6-14, 2005

FUKUDA Masaya, **KITAICHI Kiyoyuki**, ABE Fumie, FUJIMOTO Yohei, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, MORISHIMA Tsuneo, HASEGAWA Takaaki

Altered brain penetration of diclofenac and mefenamic acid, but not acetaminophen, in Shiga-like toxin-II-treated mice

J Pharmacology Science 97: 525-532, 2005

古池保雄

睡眠時呼吸障害

総合臨牀 54: 2933-2934, 2005

新美由紀, 長谷川康博, 高城 晋, 岩瀬 敏, 古池保雄

高齢めまい患者における起立性高血圧

自律神経 42: 288-294, 2005

MABUCHI Naoto, HIRAYAMA Masaaki, **KOIKE Yasuo**, WATANABE Hikaru, ITO Hiroki, KOBAYASHI Reiko, HAMADA Kunihiro, SOBUE Gen

Progression and prognosis in pure autonomic failure (PAF): comparison with multiple system atrophy

J Neurol Neurosurg Psychiatry 76: 947-952, 2005

伊藤宏樹, 平山正昭, 古池保雄, 祖父江 元

自律神経不全症患者の起立性低血圧時脳血流自動調節能: 近赤外線分光法による検討

臨床脳波 47: 629-632, 2005

SAITO Hidehiko, MATSUSHITA Tadashi, YAMAMOTO Koji, **KOJIMA Tetsuhito**, KUNISHIMA Shinji
Giant platelet syndrome
Hematology 10(Suppl.1): 41-46, 2005

YAMAMOTO Koji, **KOJIMA Tetsuhito**, ADACHI Tatsuya, HAYASHI Mutsuharu, MATSUSHITA Tadashi,
TAKAMATSU Junki, LOSKUTOFF J. David, SAITO Hidehiko
Obesity enhances the induction of plasminogen activator inhibitor-1 by restraint stress: a possible mechanism
of stress-induced renal fibrin deposition in obese mice
J Thromb Haemost 3(7): 1495-1502, 2005

YAMAMOTO Koji, TAKESHITA Kyosuke, **KOJIMA Tetsuhito**, TAKAMATSU Junki, SAITO Hidehiko
Aging and plasminogen activator inhibitor-1 (PAI-1) regulation: implication in the pathogenesis of thrombotic
disorders in the elderly.
Cardiovasc Res 66(2): 276-285, 2005

KONDO Takaaki, TOYOSHIMA Hideaki, TSUZUKI Yoshie, HORI Yoko, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI
Koji, TAMAKOSHI Akiko, OHNO Yoshiyuki
Familial aggregation and coaggregation of history of hypertension and stroke
J Hum Hypertens 19: 119-125, 2005

ISO Hiroyasu, DATE Chigusa, YAMAMOTO Akio, TOYOSHIMA Hideaki, WATANABE Yoshiyuki, KIKUCHI
Shogo, KOIZUMI Akio, WADA Yasuhiko, **KONDO Takaaki**, INABA Yutaka, TAMAKOSHI Akiko
Smoking cessation and mortality from cardiovascular disease among Japanese men and women
Am J Epidemiol 161: 170-179, 2005

NIWA Yoshimitsu, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Koji, NISHIO Kazuko, **KONDO Takaaki**, LIN Ying-
song, SUZUKI Sadao, WAKAI Kenji, TOKUDOME Shinkan, YAMAMOTO Akio, HAMAJIMA Nobuyuki,
TOYOSHIMA Hideaki, TAMAKOSHI Akiko
Relationship between body mass index and the risk of ovarian cancer in the Japanese population: findings from
the Japanese Collaborate Cohort (JACC) study
J Obstet Gynaecol Res 31: 452-458, 2005

TAMAKOSHI Koji, YATSUYA Hiroshi, WAKAI Kenji, SUZUKI Sadao, NISHIO Kazuko, LIN Yingsong,
NIWA Yoshimitsu, **KONDO Takaaki**, YAMAMOTO Akio, TOKUDOME Shinkan, TOYOSHIMA Hideaki,
TAMAKOSHI Akiko
Impact of menstrual and reproductive factors on breast cancer risk in Japan: results of the JACC study
Cancer Sci 96: 57-62, 2005

NIWA Yoshimitsu, WAKAI Kenji, SUZUKI Sadao, TAMAKOSHI Koji, LIN Yingsong, YATSUYA Hiroshi,
KONDO Takaaki, NISHIO Kazuko, YAMAMOTO Akio, TOKUDOME Shinkan, HAMAJIMA Nobuyuki,
TOYOSHIMA Hideaki, TAMAKOSHI Akiko
Cigarette smoking and the risk of ovarian cancer in the Japanese population: findings from the Japanese
collaborate cohort study
J Obstet Gynaecol Res 31: 144-151, 2005

MURATA Chiyoe, **KONDO Takaaki**, HORI Yoko, MIYAO Daiki, TAMAKOSHI Koji, YATSUYA Hiroshi, SAKAKIBARA Hisataka, TOYOSHIMA Hideaki

Effects of social relationships on mortality among the elderly in a Japanese rural area: an 88-month follow-up study

J Epidemiol 15: 78-84, 2005

YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Akiko, TAMAKOSHI Koji, HOSHIYAMA Yoshiharu, FUJINO Yoshihisa, TOKUI Noritaka, MIZOUE Tetsuya, KIKUCHI Shogo, SAKATA Kiyomi, HAYAKAWA Norihiko, **KONDO Takaaki**, TOYOSHIMA Hideaki, YOSHIMURA Takesumi

Lack of an association between serum level of transforming growth factor b-1 and stomach cancer risk in the JACC Study

Asian Pac J Cancer Prev 6: 170-176, 2005

LIN Yingsong, KIKUCHI Shogo, TAMAKOSHI Koji, WAKAI Kenji, **KONDO Takaaki**, NIWA Yoshimizu, YATSUYA Hiroshi, NISHIO Kazuko, SUZUKI Sadao, TOKUDOME Shinkan, YAMAMOTO Akio, TOYOSHIMA Hideaki, TAMAKOSHI Akiko

Prospective study of alcohol consumption and breast cancer risk in Japanese women

Int J Cancer 116: 779-783, 2005

WAKAI Kenji, TAMAKOSHI Koji, DATE Chigusa, FUKUI Mitsuru, SUZUKI Sadao, LIN Yingsong, NIWA Yoshimitsu, NISHIO Kazuko, YATSUYA Hiroshi, **KONDO Takaaki**, TOKUDOME Shinkan, YAMAMOTO Akio, TOYOSHIMA Hideaki, TAMAKOSHI Akiko

Dietary intakes of fat and fatty acids and risk of breast cancer: a prospective study in Japan

Cancer Sci 96: 590-599, 2005

NODA Hiroshi, ISO Hiroyasu, TOYOSHIMA Hideaki, DATE Chigusa, YAMAMOTO Akio, KIKUCHI Shogo, KOIZUMI Akio, **KONDO Takaaki**, WATANABE Yoshiyuki, WADA Yasuhiko, INABA Yutaka, TAMAKOSHI Akiko

Walking and sports participation and mortality from coronary heart disease and stroke

J Am Coll Cardiol 46: 1761-1767, 2005

CUI Renzhe, ISO Hiroyasu, TOYOSHIMA Hideaki, DATE Chigusa, YAMAMOTO Akio, KIKUCHI Shogo, **KONDO Takaaki**, WATANABE Yoshiyuki, KOIZUMI Akio, WADA Yasuhiko, INABA Yutaka, TAMAKOSHI Akiko

Body mass index and mortality from cardiovascular disease among Japanese men and women

Stroke 36: 1377-1382, 2005

近藤高明, 高木健三, 柴田英治

健常職域男性集団でのアレルギー性疾患と血清脂質値や炎症マーカーとの関連性

日本職業・環境アレルギー学会雑誌 12(2): 22-27, 2005

TAMAKOSHI Koji, TOYOSHIMA Hideaki, WAKAI Kenji, KOJIMA Masayo, SUZUKI Koji, WATANABE Yoshiyuki, HAYAKAWA Norihiko, YATSUYA Hiroshi, **KONDO Takaaki**, TOKUDOME Shinkan, HASHIMOTO Shunji, SUZUKI Sadao, KAWADO Miyuki, OZASA Kotaro, ITO Yoshinori, TAMAKOSHI Akiko

Leptin is associated with an increased female colorectal cancer risk: a nested case-control study in Japan

Oncology 68: 454-461, 2005

MITSUMA Ayako, ASANO Haruhiko, KINOSHITA Tomohiro, **MURATE Takashi**, SAITO Hidehiko, STAM-
ATONANNOPOULOS Geoge, NAOE Tomoki
Transcriptional regulation of FKLf-2 (KLF13) gene in erythroid cells
Biochim Biophys Acta 1727: 125-133, 2005

MATSUMOTO Kenji, BANNO Yoshiko, **MURATE Takashi**, AKAO Yukihiro, NOZAWA Yoshinori
Localization of sphingosine kinase-1 in mouse sperm acromeres
J Histochem Cytochem 53: 243-247, 2005

KODA Masahiro, **MURATE Takashi**, WANG Shulin, OUGUCHI Kenji, SOBUE Sayaka, IKEDA Mika,
TAMIYA-KOIZUMI Keiko, IGARASHI Yasuyuki, NOZAWA Yoshinori, BANNO Yoshiko
Sphingosine kinase 1 is involved in dibutyl cyclic AMP-induced granulocytic differentiation through the
upregulation of extracellular signal-regulated kinase, but not p38 MAP kinase, in HL60 cells
Biochim Biophys Acta 1733: 101-110, 2005

OBATA Koji, **NAGATA Kohzo**, IWASE Mitsunori, ODASHIMA Mari, NAGASAKA Tetsuro, IZAWA Hideo,
MUROHARA Toyooki, YAMADA Yoshiji, YOKOTA Mitsuhiro
Overexpression of calmodulin induces cardiac hypertrophy by a calcineurin-dependent pathway
Biochem Biophys Res Commun 338: 1299-1305, 2005

IZAWA Hideo, MUROHARA Toyooki, **NAGATA Kohzo**, ISOBE Satoshi, ASANO Hiroyuki, AMANO Tet-
suya, ICHIHARA Sahoko, KATO Tomoko, OHSHIMA Satoru, MURASE Yosuke, IINO Shigeo, OBATA Koji,
NODA Akiko, OKUMURA Kenji, YOKOTA Mitsuhiro
Mineralocorticoid receptor antagonism ameliorates left ventricular diastolic dysfunction and myocardial fibrosis
in mildly symptomatic patients with idiopathic dilated cardiomyopathy: a pilot study
Circulation 112: 2940-2945, 2005

ISOBE Satoshi, IZAWA Hideo, IWASE Mitsunori, NANASATO Mamoru, NONOKAWA Makoto, ANDO Aki-
tada, OHSHIMA Satoru, **NAGATA Kohzo**, KATO Katsuhiko, NISHIZAWA Takao, MUROHARA Toyooki,
YOKOTA Mitsuhiro
Cardiac 123I-MIBG reflects left ventricular functional reserve in patients with nonobstructive hypertrophic
cardiomyopathy
J Nucl Med 46: 909-916, 2005

XU Jinglan, **NAGATA Kohzo**, OBATA Koji, ICHIHARA Sahoko, IZAWA Hideo, **NODA Akiko**, NA-
GASAKA Tetsuro, IWASE Mitsunori, NAOE Tomoki, MUROHARA Toyooki, YOKOTA Mitsuhiro
Nicorandil promotes myocardial capillary and arteriolar growth in the failing heart of Dahl salt-sensitive hy-
pertensive rats
Hypertension 46: 719-724, 2005

宮田聖子, 野田明子, 安藤晃禎, 吉村敦子, 上山 純, 北市清幸, 黒木祥子, 助川真代, 古池保雄, 横田充弘
生活習慣病における血漿 NO の検討
日本臨床生理学雑誌 35: 39-43, 2005

SUKEGAWA Mayo, **NODA Akiko**, SUGIURA Tatsuki, NAKATA Seiichi, YOSHIZAKI Shigehito, SOGA Taro, YASUDA Yoshinari, IWAMOTO Norio, NAKAI Shigeru, **KOIKE Yasuo**

Assessment of continuous positive airway pressure treatment in obstructive sleep apnea syndrome using 24-hour urinary catecholamines

Clin Cardiol 28: 519-522, 2005

NAKATA Seiichi, **NODA Akiko**, YAGI Hidehito, YANAGI Eriko, MIMURA Tamie, OKADA Tamotsu, MISAWA Hayato, NAKASHIMA Tsutomu

Nasal resistance for determinant factor of nasal surgery in CPAP failure patients with obstructive sleep apnea syndrome

Rhinology 43: 296-299, 2005

NAKATA Seiichi, **NODA Akiko**, MISAWA Hayato, YANAGI Eriko, YAGI Hidehito, NAKASHIMA Tsutomu

Obstructive sleep apnoea associated with congenital choanal atresia

J Laryngol Otol 119: 209-211, 2005

OHSHIMA Satoru, ISOBE Satoshi, IZAWA Hideo, NANASATO Mamoru, ANDO Akitada, YAMADA Akira, YAMADA Kiyoyasu, KATO Tomoko, OBATA Koji, **NODA Akiko**, NISHIZAWA Takao, KATO Katsuhiko, **NAGATA Kohzo**, OKUMURA Kenji, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro

Cardiac sympathetic dysfunction correlates with abnormal myocardial contractile reserve in dilated cardiomyopathy patients

J Am Coll Cardiol 46: 2061-2068, 2005

福田敏男, 湧田雄基, 長谷川泰久, 新井史人, 川口三夫, 野田明子

心拍変動のカオス解析に基づく睡眠状態推定手法

電気学会論文誌 C 電子・情報・システム部門誌 125: 43-49, 2005

SOBUE Sayaka, HAGIWARA Kazumi, BANNO Yoshiko, TAMIYA-KOIZUMI Keiko, SUZUKI Motoshi, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, ASANO Haruhiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

Transcription factor specificity preotein 1(Sp1) is the main regulator of nerve growth factor-induced sphingosine kinase 1 gene expression of the rat pheochromoxytoma cellll lien, PC12

J Neurochem 95: 940-949, 2005

KAMEI Hideya, HACHISUKA Takehiro, NAKAO Makoto, **TAKAGI Kenji**

Quick recovery of the serum diamine oxidase(DAO) activity in patients undergoing total gastrectomy by oral enteral nutrition

Am J Surg 189: 38-43, 2005

ITO Yuki, YOKOTA Hiroshi, WANG Ruisheng, YAMANOSHITA Osamu, ICHIHARA Gaku, WANG Hailan, KHRATA Yoshimasa, **TAKAGI Kenji**, NAKAJIMA Tamie

Species differences in the metabolism of di(2-ethylhexyl) phthalate (DEHP) in several organs of mice, rats and marmosets

Arch Toxicol 79: 147-154, 2005

IWASA Motoh, NAKAO Makoto, KATO Yoshiaki, KOBAYASHI Yoshinao, **TAKAGI Kenji**, KAITO Masahiko, ADACHI Yukihiko

Dietary fiber decreases ammonia levels in patients with cirrhosis

Hepatology 41: 217-218, 2005

OKAMURA Ai, KAMIJIMA Michihiro, SHIBATA Eiji, OHTANI Katsumi, **TAKAGI Kenji**, **UEYAMA Jun**, WATANABE Yukari, OMURA Minoru, WANG Hailan, ICHIHARA Gaku, **KONDO Takaaki**, NAKAJIMA Tamie

A comprehensive evaluation of the testicular toxicity of dichlorvos in Wistar rats

Toxicology 213: 129-137, 2005

高木健三

喘息診断のポイント

診断と治療 93: 1918-1922, 2005

UEYAMA Jun, NADAI Masayuki, KANAZAWA Hiroaki, IWASE Mitsunori, NAKAYAMA Hironao, **HASHIMOTO Katsunori**, **YOKOI Toyoharu**, BABA Kenji, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, HASEGAWA Takaaki

Endotoxin from various gram-negative bacteria has differential effects on function of hepatic cytochrome P450 and drug transporters

Eur J Pharmacol 510(1-2): 127-134, 2005

MIYOSHI Mika, NADAI Masayuki, NITTA Atsumi, **UEYAMA Jun**, SHIMIZU Akemi, **TAKAGI Kenji**, NABESHIMA Toshitaka, **TAKAGI Kenzo**, SAITO Kuniaki, HASEGAWA Takaaki

Role of tumor necrosis *factor* - α in down-regulation of hepatic cytochrome P450 and p-glycoprotein by endotoxin

Eur J Pharmacol 507: 229-237, 2005

KOYAMA Chizu, **WAKUSAWA Shinya**, HAYASHI Hisao, UENO Toshio, SUZUKI Rie, YANO Motoyoshi, SAITO Hiroshi, OKAZAKI Toru

A Japanese family with ferroportin disease caused by a novel mutation of SLC40A1 gene: hyperferritinemia associated with a relatively low transferrin saturation of iron

Intern Med 44: 990-993, 2005

MACHIDA Ikuo, **WAKUSAWA Shinya**, SANAE Fujiko, HAYASHI Hisao, KUSAKABE Atsushi, NINOMIYA Hiroshi, YANO Moyoyoshi, YOSHIOKA Kentaro

Mutational analysis of the MRP2 gene and long-term follow-up of Dubin-Johnson syndrome in Japan

J Gastroenterol 40: 366-370, 2005

KOYAMA Chizu, **WAKUSAWA Shinya**, HAYASHI Hisao, SUZUKI Rie, YANO Motoyoshi, YOSHIOKA Kentaro, KOZURU Mitsuo, TAKAYAMA Yoshihiro, OKADA Toshihide, MABUCHI Hiroshi

Two novel mutations, L490R and V561X, of the transferrin receptor 2 gene in Japanese patients with hemochromatosis

Hematologica 90: 302-307, 2005

KOYAMA Chizu, HAYASHI Hisao, **WAKUSAWA Shinya**, UENO Toshio, YANO Motoyoshi, KATANO Yoshiaki, GOTO Hidemi, KIDOKORO Ryuichi
Three patients with middle-age-onset hemochromatosis caused by novel mutations in the hemojuvelin gene
J Hepatol 43: 740-742, 2005

[総説・解説・その他]

KODAMA Yoshinori, ASAI Naoya, KAWAI Kumi, JIJIWA Mayumi, MURAKUMO Yoshiki, **ICHIHARA Masatoshi**, TAKAHASHI Masahide
The RET proto-oncogene: a molecular therapeutic target in thyroid cancer
Cancer Sci 96: 143-148, 2005

川部 勤
CD40 ノックアウトマウス
分子呼吸器病 9: 36-41, 2005

川部 勤, 長瀬文彦
やり直し! 基礎医学 Q&A part2 炎症反応のしくみ
月刊ナーシング 25(2): 18-30, 2005

川部 勤, 長瀬文彦
炎症反応のしくみ 炎症とは何なのだろうか?
月刊ナーシング 25(2): 18-30, 2005

小嶋哲人
出番を待つ DIC 治療薬 DIC の新たな展開
臨床医 31(10): 1734-1736, 2005

ITO Yoshinori, WAKAI Kenji, SUZUKI Koji, OZASA Kotaro, WATANABE Yoshiyuki, SEKI Nao, ANDO Masahiko, NISHINO Yoshikazu, **KONDO Takaaki**, OHNO Yoshiyuki, TAMAKOSHI Akiko
Lung cancer mortality and serum levels of carotenoids, retinol, tocopherols, and folic acid in men and women: a case-control study nested in the JACC study
J Epidemiol 15: S140-S149, 2005

WAKAI Kenji, ANDO Masahiko, OZASA Kotaro, ITO Yoshinori, SUZUKI Koji, NISHINO Yoshikazu, KURIYAMA Shin-ichi, SEKI Nao, **KONDO Takaaki**, WATANABE Yoshiyuki, OHNO Yoshiyuki, TAMAKOSHI Akiko
Updated information on risk factors for lung cancer: findings from the JACC study
J Epidemiol 15: S134-S139, 2005

KIKUCHI Shogo, YAGYU Kiyoko, OBATA Yuki, LIN Yingsong, YATSUYA Hiroshi, HOSHIYAMA Yoshiharu, **KONDO Takaaki**, SAKATA Kiyoshi, MIZOUE Tetsuya, TOKUI Noritaka, FUJINO Yoshihisa, TAMAKOSHI Akiko, TOYOSHIMA Hideaki, ISHIBASHI Teruo, HAYAKAWA Norihiko, YOSHIMURA Takesumi
Serum pepsinogen values and Helicobacter pylori status among control subjects of a nested case-control study in the JACC study
J Epidemiol 15: S126-S133, 2005

YATSUYA Hiroshi, TOYOSHIMA Hideaki, TAMAKOSHI Koji, TAMAKOSHI Akiko, **KONDO Takaaki**, HAYAKAWA Norihiko, SAKATA Kiyomi, KIKUCHI Shogo, HOSHIYAMA Yoshiharu, FUJINO Yoshihisa, MIZOUE Tetsuya, TOKUI Noritaka, YOSHIMURA Takesumi

Serum levels of insulin-like growth factor I, II, and binding protein 3, transforming growth factor β - 1, soluble fas ligand and superoxide dismutase activity in stomach cancer cases and their controls in the JACC study
J Epidemiol 15: S120-S125, 2005

野田明子, 伊藤理恵子, 川岸郁子, 松原宏紀, 山田 廣, 高松純樹, 横田充弘
施設紹介と将来展望 第4回動脈硬化の非観血的評価
MC メディカ出版 2: 8-13, 2005

〔科研費・班研究等〕

小嶋哲人

特発性血栓症の分子病態解析

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患対策研究事業 血液凝固異常症に関する調査研究 平成 14-16 年度 総合研究報告書 pp124-129, 2005

小嶋哲人

血栓性素因プロテイン S 欠損症の遺伝子解析

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患対策研究事業 血液凝固異常症に関する調査研究 平成 16 年度総括・分担研究報告書 pp98-101, 2005

小嶋哲人

老化ならびにストレスのモデルマウスを用いた血栓症発症の in vivo 分子機構解析

文部科学省・科学研究費補助金 (研究課題番号 15591000) 平成 15-16 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)(2)) 研究成果報告書 1 冊, 2005

豊嶋英明, 近藤高明, 玉腰浩司, 八谷 寛

生活習慣病の発症予防に関する職域コホート追跡研究

平成 13-16 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B)(2) 成果報告書 1 冊, 2005

高木健次, 上山 純, 斉藤 勳

化学物質によるヒト生殖・次世代影響の解明と内分泌かく乱作用検出のための新たなバイオマーカーの開発—ヒト尿中ジアルキルリン酸濃度測定条件の検討および血液コリンエステラーゼ活性に与える混合暴露の影響—

平成 16 年度厚生労働省科学研究費補助金 (化学物質リスク研究事業) 総括・分担研究報告書 pp 48-71, 2005

高木健次, 柴田英治, 上山 純, 斉藤 勳

化学物質によるヒト生殖・次世代影響の解明と内分泌かく乱作用検出のための新たなバイオマーカーの開発 — GC/MS による有機リン系農薬およびその尿中代謝物の分析—

平成 14 年度— 16 年度厚生労働省科学研究費補助金 (化学物質リスク研究事業) 総合研究報告書 pp 45-72, 2005

柴田英治, 上島通浩, 五藤雅博, 高木健次, 齊藤 勳, 上山 純

化学物質によるヒト生殖・次世代影響の解明と内分泌かく乱作用検出のための新たなバイオマーカーの開発 — 殺虫剤散布作業者の尿中代謝物モニタリング—

平成 14 年度－ 16 年度厚生労働省科学研究費補助金 (化学物質リスク研究事業) 総合研究報告書 pp 83-91, 2005

柴田英治, 上島通浩, 五藤雅博, 高木健次

有機リン暴露の生物学的モニタリングを用いた殺虫剤・農薬取り扱い作業者を対象とする特殊健康診断法の開発
平成 16 年度中央労働災害防止協会 労働安全衛生に関する調査研究報告書 1 冊, 2005

柴田英治, 上島通浩, 五藤雅博, 高木健次, 齊藤 勳, 上山 純

化学物質によるヒト生殖・次世代影響の解明と内分泌かく乱作用検出のための新たなバイオマーカーの開発 — 殺虫剤散布作業者の尿中代謝物モニタリングと自覚症状—

平成 16 年度厚生労働省科学研究費補助金 (化学物質リスク研究事業) 総括・分担研究報告書 pp 75-93, 2005

岡村 愛, 柴田英治, 上島通浩, 市原 学, 高木健次, 上山 純

化学物質によるヒト生殖・次世代影響の解明と内分泌かく乱作用検出のための新たなバイオマーカーの開発 — 有機リン系殺虫剤ジクロロボスの雄性生殖毒性の評価—

平成 16 年度厚生労働省科学研究費補助金 (食品・化学物質安全総合研究事業) 総括・分担研究報告書 pp 102-105, 2005

高木健次, 上山 純

化学物質によるヒト生殖・次世代影響の解明と内分泌かく乱作用検出のための新たなバイオマーカーの開発 — 有機リン系農薬の血液コリンエステラーゼ活性への影響について—

平成 14 年度－ 16 年度厚生労働省科学研究費補助金 (化学物質リスク研究事業) 総合研究報告書 pp 92-97, 2005

岡村 愛, 上山 純, 大谷勝己, 柴田英治, 上島通浩, 高木健次, 市原 学

化学物質によるヒト生殖・次世代影響の解明と内分泌かく乱作用検出のための新たなバイオマーカーの開発—有機リン系殺虫剤ジクロロボスの男性生殖器毒性の基礎検討—

平成 14 年度－ 16 年度厚生労働省科学研究費補助金 (化学物質リスク研究事業) 総合研究報告書 pp 92-97, 2005

〔その他の印刷物等〕

豊嶋英明, 玉腰浩司, 八谷 寛, 近藤高明

生活習慣病発症予防に関する職域コホート研究：職場におけるストレスと炎症マーカーとの関連
公益信託日本動脈硬化予防研究基金 平成 16 年度研究報告書, 2005

村田千代栄, 近藤高明, 玉腰浩司, 八谷 寛, 豊嶋英明

高齢者の医療費支出とその後の日常生活自立度および生命予後との関連
財団法人ユニバーサル財団調査研究報告書 Vol.13 豊かな高齢社会の探求, 2005

〔学会発表〕

近藤高明, 渡邊ゆかり, 堀 容子, 八谷 寛, 玉腰浩司, 豊嶋英明
同一個人の追跡観察からえた経年的血圧測定値の多重レベル解析： 階層構造データへの適用の利点
第 15 回日本疫学会学術集会, 2005.1 (大津)

大塚 礼, 八谷 寛, 玉腰浩司, 村田千代栄, 張 恵明, 和田恵子, 近藤高明, 豊嶋英明
縦断的検討による「腹いっぱい食べる」習慣の推移と 5 年間の BMI 変化量との関係
第 15 回日本疫学会学術集会, 2005.1 (大津)

若井建志, 小嶋雅代, 玉腰浩司, 八谷 寛, 近藤高明, 林 櫻松, 西尾和子, 丹羽慶光, 鈴木貞夫, 徳留信寛, 山本昭夫, 豊嶋英明, 玉腰暁子
心理的要因と乳がんリスクとの関連： 大規模コホート研究による検討
第 15 回日本疫学会学術集会, 2005.1 (大津)

橋本直純, 川部 勤, 今泉和良, 長谷川好規, 下方 薫
肺線維症の病態形成における骨髓由来細胞の関与
第 9 回 Acute Lung Injury 研究会, 2005.2 (東京)

松島充代子, 川部 勤, 青山真梨子, 田中成一, 長谷川高明, 高木健三
肥満細胞におけるフラボノイドの抗アレルギー作用の検討
第 17 回気道病態シンポジウム, 2005.2 (東京)

平間佑美, 川村久美子, 安形則雄, 伊藤秀郎, 太田美智男
LC/MS/MS を用いた *Bacillus cereus* 嘔吐毒素セレウリドの定量的測定法の基礎的検討
第 16 日本臨床微生物学会総会, 2005.2 (京都)

川村久美子, 平間佑美, 安形則雄, 伊藤秀郎, 太田美智男
ラット肝ミトコンドリアを用いた *Bacillus cereus* 嘔吐毒素, セレウリドの定量的測定法の基礎的検討
第 16 日本臨床微生物学会総会, 2005.2 (京都)

中田誠一, 笠井幸夫, 山本浩志, 杉浦 真, 向井田徹, 中島 務, 野田明子, 鈴木啓介, 橋本彩恵, 小西智代子, 澤木美音, 斉藤八千代
口蓋扁桃摘出術から鼻手術へと連続して行った閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症候群における客観的および主観的パラメーターの検討
第 34 回睡眠呼吸障害研究会, 2005.2 (東京)

宮田聖子, 野田明子, 本多久美子, 助川真代, 黒木祥子, 古池保雄, 中田誠一, 柳絵里子, 向井田徹, 中島 務, 杉浦建生, 岩山範久, 中田 実, 中井 滋
睡眠呼吸障害の早期発見および CPAP 療法における昼間睡眠ポリグラフィの有用性
第 34 回睡眠呼吸障害研究会, 2005.2 (東京)

杉浦建生, 野田明子, 吉崎重仁, 中田 実, 曾我太郎, 岩山範久, 助川真代, 黒木祥子, 宮田聖子, 中田誠一, 中井 滋, 中島 務, 古池保雄
閉塞性睡眠時無呼吸症候群の CPAP 療法による即日の BNP の変化
第 34 回睡眠呼吸障害研究会, 2005.2 (東京)

YAMADA Akira, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, KATO Tomoko, ASANO Hiroyuki, OHSHIMA Satoru, MURASE Yosuke, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
Left ventricular relaxation and myocardial perfusion pattern in different forms of left ventricular hypertrophy applying myocardial contrast echocardiography
第 69 回日本循環器学会総会, 2005.3 (横浜)

MIYATA Seiko, **NODA Akiko**, ANDO Akira, **KITAICHI Kiyoyuki**, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, **KOIKE Yasuo**, YOKOTA Mitsuhiro
Assessment of plasma NO in patients with diabetes mellitus
第 69 回日本循環器学会総会, 2005.3 (横浜)

岡村 愛, 上島通浩, 柴田英治, 大谷勝巳, 高木健次, 上山 純, 大村 実, 王 海蘭, 市原 学, 那須民江
有機リン殺虫剤ジクロルボスによるラット精子運動の持続性障害の検討
第 78 回日本産業衛生学会, 2005.3 (東京)

李チュルホ, 上島通浩, 柴田英治, 上山 純, 高木健次, 斎藤 勲, 五藤雅博, 日比初紀, 内藤久雄, 那須民江
有機リン系殺虫剤暴露と PON1 遺伝子型がヒト白血球と尿中の 8-hydroxydeoxybuanosine レベルに及ぼす影響
第 78 回日本産業衛生学会, 2005.3 (東京)

HAYASHI Keiko, MATSUSHITA Aya, KIMATA Hirotaka, **HASHIMOTO Katsunori**, ICHIHARA Sahoko, IWASE Mitsunori, **NODA Akiko**, **NAGATA Kohzo**
Xanthine oxidase inhibition improves left ventricular dysfunction in dilated cardiomyopathic hamsters.
第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

OHSHIMA Satoru, ISOBE Satoshi, IZAWA Hideo, YAMADA Kiyoyasu, ANDOH Akitada, ASANO Hiroyuki, HIRAI Toshihisa, KATOU Tomoko, YAMADA Akira, MURASE Yosuke, OBATA Koji, **NAGATA Kohzo**, OKUMURA Kenji, KATO Katsuhiko, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
Cardiac sympathetic dysfunction is related to downregulation of gene expression of SERCA2 and impaired myocardial contractile reserve in dilated cardiomyopathy
第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

NAGATA Kohzo, OBATA Koji, XU Jinglan, ICHIHARA Sahoko, MATSUSHITA Aya, KIMATA Hirotaka, HAYASHI Keiko, **NODA Akiko**, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
Mineralocorticoid receptor antagonism attenuates cardiac hypertrophy and failure in low-renin and low-aldosterone hypertension: Role of 11 β hydroxysteroid dehydrogenase type 1
第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

OHSHIMA Satoru, ISOBE Satoshi, IZAWA Hideo, YAMADA Kiyoyasu, ANDOH Akitada, ASANO Hiroyuki, HIRAI Toshihisa, KATOU Tomoko, YAMADA Akira, MURASE Yosuke, OBATA Koji, **NAGATA Kohzo**, OKUMURA Kenji, KATO Katsuhiko, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro
Relationship between discrepancy in TI/BMIPP and impairment in myocardial functional reserve in hypertrophic cardiomyopathy
第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

SAKA Masako, OBATA Koji, ICHIHARA Sahoko, CHENG Xian Wu, **NAGATA Kohzo**, YOKOTA Mitsuhiro

The HMG-CoA reductase inhibitor suppresses cardiac fibrosis and improves left ventricular diastolic dysfunction in hypertensive rats

第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

KATOU Tomoko, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, YAMADA Akira, OBATA Koji, **NAGATA Kohzo**, ASANO Hiroyuki, MUROHARA Toyooki, YOKOTA Mitsuhiro

Discrimination of nonobstructive hypertrophic cardiomyopathy from hypertensive left ventricular hypertrophy based on strain rate imaging by tissue Doppler ultrasonography

第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

MIYATA Seiko, **NODA Akiko**, ANDO Akitada, **KITAICHI Kiyoyuki**, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, **KOIKE Yasuo**, YOKOTA Mitsuhiro

Assessment of plasma NO in patients with diabetes mellitus

第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, KATOU Tomoko, ASANO Hiroyuki, YAMADA Akira, OOSHIMA Satoru, HIRASHIKI Akihiro, MURASE Yosuke, ICHIHARA Sahoko, **NODA Akiko**, INDEN Yasuya, IWASE Mitsunori, ISOBE Satoshi, OBATA Koji, OKUMURA Kenji, MUROHARA Toyooki, YOKOTA Mitsuhiro

Aldosterone blockade alters intracellular Ca²⁺-handling and improves impaired contractile and relaxation reserve in patients with mild dilated cardiomyopathy

第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

HIRASHIKI Akihiro, IZAWA Hideo, SOMURA Fuji, ASANO Hiroyuki, KATOU Tomoko, OOSHIMA Satoru, YAMADA Akira, MURASE Yosuke, **NODA Akiko**, OBATA Koji, MAEDA Masahiko, **NAGATA Kohzo**, MUROHARA Toyooki, YOKOTA Mitsuhiro

Pacing-induced mechanical alternans could predict poor prognosis in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy in sinus rhythm.

第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

ICHIHARA Sahoko, OBATA Koji, **NODA Akiko**, **NAGATA Kohzo**, IWASE Mitsunori, YAMADA Yoshiji, YOKOTA Mitsuhiro

PPAR alpha agonist prevents the development of cardiac hypertrophy and the progression of heart failure by suppressing inflammatory responses

第 69 回日本循環器学会総会・学術集会, 2005.3 (横浜)

村雲芳樹, 村上朋子, 川井久美, 市原正智, 高橋雅英
子宮頸部扁平上皮癌における CD109 遺伝子発現の検討

第 94 回日本病理学会総会, 2005.4 (横浜)

松島充代子, 川部 勤, 長谷川高明, 高木健三

肥満細胞におけるフラボノイドの抗アレルギー作用の検討

第 17 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2005.4 (岡山)

岡本真和, 川部 勤, 原 徹, 伊藤 康, 今泉和良, 久米裕明, 長谷川好規, 高木健三, 下方 薫
マウス喘息モデルでの疾患感受性遺伝子の検索
第 17 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2005.4 (岡山)

横井豊治, 橋本克訓, 市原正智, 今泉和良
びまん性肺疾患の診断には臨床・画像・病理の統合が重要である (シンポジウム「画像診断と病理診断の対比におけるピットフォール」)
第 94 回日本病理学会総会, 2005.4 (横浜)

KAWABE Tsutomu, OKAMOTO Masakazu, HARA Toru, HASHIMOTO Naozumi, IMAIZUMI Kazuyoshi, HASEGAWA Yoshinori, **TAKAGI Kenzo**, SHIMOKATA Kaoru
Mini-symposium: evaluation of Th1-type cytokines and chemokines as diagnostic markers of tuberculous pleural effusions
ATS 2005 San Diego International Conference, American Thoracic Society 100 Anniversary, 2005.5 (San Diego, U.S.A.)

OKAMOTO Masakazu, **KAWABE Tsutomu**, HARA Toru, HASHIMOTO Naozumi, IMAIZUMI Kazuyoshi, HASEGAWA Yoshinori, OHNO Tamio, NISHIMURA Masahiko, SHIMOKATA Kaoru
Quantitative trait loci analysis on allergic asthma in SMXA RI and consomic mice
ATS 2005 San Diego International Conference, American Thoracic Society 100 Anniversary, 2005.5 (San Diego, U.S.A.)

IMAIZUMI Kazuyoshi, NAKANISHI Toru, **KAWABE Tsutomu**, OKAMOTO Masakazu, ITO Genshi, HASHIMOTO Naozumi, SUMIDA Atsushi, KOJIMA Katsuyuki, SEKIDO Yoshitaka, ITO Yasushi, KUME Hiroaki, HASEGAWA Yoshinori, SHIMOKATA Kaoru
Th1/Th2 chemokine expression in non-small cell lung cancer tissue: increased expression of CCL22 (MDC) may be associated with better prognosis
ATS 2005 San Diego International Conference, American Thoracic Society 100 Anniversary, 2005.5 (San Diego, U.S.A.)

杉浦建生, 野田明子, 中田誠一, 吉崎重仁, 中田 実, 曾我太郎, 岩山範久, 石見亜紀, 助川真代, 宮田聖子, 本多久美子, 中井 滋, 中島 務, 古池保雄
睡眠時無呼吸症候群における心血管系パラメータの CPAP 治療導入による即日の変化
第 30 回日本睡眠学会定期学術集会, 2005.6 (栃木)

中田誠一, 杉浦建生, 野田明子
閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症候群例において扁桃摘出術・鼻手術へと連続して行った場合の客観的および主観的パラメーターの検討
第 30 回日本睡眠学会定期学術集会, 2005.6 (宇都宮)

曾我太郎, 中井 慈, 杉浦建生, 野田明子, 鶴田良成, 大橋厚式, 古池保雄, 尾崎紀夫
透析患者における睡眠障害とうつ病の関連性調査の試み
日本睡眠学会第 30 回定期学術集会, 2005.6 (宇都宮)

川部 勤, 岡本真和

シンポジウム2 「アレルギー疾患発症に関わる環境因子と遺伝因子」
第36回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 2005.7 (名古屋)

松島充代子, 川部 勤, 小川三由紀, 安部文江, 長谷川高明, 高木健三
健康補助食品が肥満細胞の脱顆粒に及ぼす影響
第36回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 2005.7 (名古屋)

中山寛尚, 北市清幸, 伊藤佑希子, 福田昌也, 橋本克訓, 高木健次, 横井豊治, 高木健三, 長谷川高明, 涌澤伸哉
Organic cation transporter(OCT3)の病態時における意義解明のための脳局在部位および細胞局在性に関する基礎検討
第27回日本生物学的精神医学会・第35回日本神経精神薬理学会, 2005.7 (大阪)

中田誠一, 山本浩志, 藤田佳美, 中島 務, 野田明子, 鈴木啓介, 稲本彩恵, 向井田徹, 八木英仁, 小西智代子, 澤木美音, 斉藤八千代
各パラメーターから検討した成人閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症候群における扁桃摘出の評価
第34回睡眠呼吸障害研究会, 2005.7 (東京)

小嶋哲人

シンポジウム3 「血液凝固亢進状態の臨床化学」4. 血液凝固亢進状態の抗凝固療法
第24回日本臨床化学会夏期セミナー, 2005.7 (蔵王町 (山形県))

高木 明, 山下真代, 池尻 誠, 山影 望, 山田貴之, 奥村 薫, 京谷麻由, 岡田浩美, 村手 隆, 小嶋哲人, 元山正子, 国島伸治
遊離型血小板膜糖蛋白V測定法に関する基礎的検討
第6回日本検査血液学会学術集会, 2005.7 (長崎)

後藤康幸, 西尾和子, 川合紗世, 近藤高明, 浜島信之
ピロリ菌除菌自由診療の取り組み
第12回日本がん予防研究会・第28回日本がん疫学研究会, 2005.7 (岐阜)

近藤高明, 五藤雅博, 柴田英治, 鈴木隆佳, 山田智絵, 今井亮太, 上山 純, 斉藤 勲, 上島通浩, 深谷幸生, 高木健次, 高木健三
衛生害虫防除作業者の肝機能検査値の経時的・季節的変動
第36回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 2005.7 (名古屋)

鈴木隆佳, 山田智絵, 今井亮太, 上山 純, 斉藤 勲, 上島通浩, 五藤雅博, 柴田英治, 深谷幸生, 近藤高明, 高木健次, 高木健三
衛生害虫防除作業者のピレスロイド系殺虫剤散布状況とアレルギー様症状との関連
第36回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 2005.7 (名古屋)

上山 純, 近藤高明, 五藤雅博, 柴田英治, 鈴木隆佳, 山田智絵, 今井亮太, 斉藤勲, 上島通浩, 深谷幸生, 高木健次, 高木健三
尿中有機リン系殺虫剤代謝産物測定法の基礎的検討と応用
第36回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 2005.7 (名古屋)

KITAICHI Kiyoyuki, NAKAYAMA Hironao, FUKUDA Masaya, **HASHIMOTO Katsunori**, **YOKOI Toyoharu**, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, **WAKUSAWA Shinya**, HASEGAWA Takaaki
Antisense oligonucleotides against organic cation transporter-3 supports its involvement of the regulation of monoaminergic neuronal functions in mice
Biomedical Transporters 2005-Bridging Basic and Applied Sciences , 2005.8 (Bern, Switzerland)

今井亮太, **近藤高明**, 岡村 愛
異なる半定量食物摂取頻度調査結果の関連性
第 51 回東海公衆衛生学会学術大会, 2005.8 (多治見)

浜島信之, 後藤康幸, 西尾和子, 川合紗世, **近藤高明**
ピロリ菌除菌自由診療受診者の背景, 除菌率, および有害事象
第 51 回東海公衆衛生学会学術大会, 2005.8 (多治見)

OKADA Hiromi, YAMAZAKI Tomio, KUNISHIMA Shinji, HAMAGUCHI Motohiro, ADACHI Tatsuya, YAMAMOTO Koji, MATSUSHITA Tadashi, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, SAITO Hidehiko
In vitro characterization of two missence mutations associated with quantitative protein S deficiency
20th Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2005.8 (Sydney, Australia)

MATSUSHITA Tadashi, HAYASHI Hideo. KUNISHIMA Shinji, HAYASHI Mutsuharu, IKEJIRI Makoto, YUZAWA Yukio, ADACHI Tatsuya, HIRASAWA Kanji, SONE Michihiko, YAMAMOTO Koji, **TAKAGI Akira**, KATSUNI Akira, NEZU Tomoyo, NAKASHIMA Tsutomu, **KOJIMA Tetsuhito**
Targeted disruption of mouse ortholog of the human MYH9 responsible for the macrothrombocytopenia with different organ involvement: hematological, nephrological, and otological studies of heterozygous KO mice
20th Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2005.8 (Sydney, Australia)

YOKOI Toyoharu, **HASHIMOTO Katsunori**, **ICHIHARA Masatoshi**, IMAIZUMI Kazuyoshi
Pitfalls in the diagnosis of diffuse pulmonary diseases
4th IAP Asia-Pacific IAP Congress, 2005.8 (Beijing, China)

杉崎千穂, 浅野治彦, 木下朝博, 直江知樹, 岩崎卓識, 大橋春彦, 伊藤雅文, 村手 隆
MDS 鑑別診断における p53 および HbF 染色の意義
第 67 回日本血液学会, 第 47 回日本臨床血液学会合同総会, 2005.9 (横浜)

宮田聖子, **野田明子**, 中田誠一, 杉浦建生, 曾我太郎, 吉崎重仁, 宮尾悦子, 助川真代, 足立由希, 中井 滋, 中島務, 古池保雄
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における側臥位睡眠の有効性
第 16 回東海睡眠呼吸障害研究会, 2005.9 (名古屋)

岩崎年宏, 足立達哉, 平島寛司, 林 睦晴, 勝見 章, 山本晃士, 松下 正, **小嶋哲人**, 高松純樹, 齋藤英彦
Systemic amyloidosis with Factor X deficiency
第 67 回日本血液学会・第 47 回日本臨床血液学会 合同総会, 2005.9 (横浜)

木村利奈, 宮田敏行, 本田繁則, 川崎富夫, 辻 肇, **小嶋哲人**, 窓岩清治, 坂田洋一, 村田 満, 池田康夫
日本人の静脈血栓症の危険因子, プロテイン SK196E: 血液凝固異常症に関する調査研究班の成績
第 67 回日本血液学会・第 47 回日本臨床血液学会 合同総会, 2005.9 (横浜)

山本晃士, 小嶋哲人, 足立達哉, 林 睦晴, 松下 正, 齋藤英彦, 高松純樹
肥満・ストレスによる PAI-1 発現亢進と血栓傾向
第 67 回日本血液学会・第 47 回日本臨床血液学会 合同総会, 2005.9 (横浜)

高木 明, 山本紗和子, 山下真代, 山影 望, 池尻 誠, 山田貴之, 奥村 薫, 京谷麻由, 岡田浩美, 村手 隆,
佐野雅之, 小嶋哲人
第 V・VIII 因子合併欠乏症の LMAN-1 遺伝子解析
第 67 回日本血液学会・第 47 回日本臨床血液学会 合同総会, 2005.9 (横浜)

梅澤光政, 磯 博康, 豊嶋英明, 伊達ちぐさ, 山本昭夫, 菊池正悟, 小泉昭夫, 近藤高明, 渡邊能行, 和田安彦, 稲葉
裕, 玉腰暁子
ナトリウム・カリウム摂取と循環器死亡との関連 (JACC Study)
第 64 回日本公衆衛生学会総会, 2005.9 (札幌)

澤地 忍, 磯 博康, 豊嶋英明, 伊達ちぐさ, 山本昭夫, 菊池正悟, 小泉昭夫, 近藤高明, 渡邊能行, 和田安彦, 稲葉
裕, 玉腰暁子
壮年者, 高齢者における血圧値と脳卒中・全循環器疾患死亡 (JACC Study)
第 64 回日本公衆衛生学会総会, 2005.9 (札幌)

崔 仁哲, 磯 博康, 豊嶋英明, 伊達ちぐさ, 山本昭夫, 菊池正悟, 近藤高明, 渡邊能行, 小泉昭夫, 和田安彦, 稲葉
裕, 玉腰暁子
血清総コレステロールと脳卒中, 心筋梗塞死亡との関連 (JACC Study)
第 64 回日本公衆衛生学会総会, 2005.9 (札幌)

近藤高明, 玉腰暁子, 堀 容子, 玉腰浩司, 八谷 寛, 豊嶋英明
がんと糖尿病の家族歴・既往歴の家族内集積: JACC Study ベースライン時データを用いて
第 64 回日本公衆衛生学会総会, 2005.9 (札幌)

吉富泰央, 成尾英明, 棟居聖一, 小山芳江, 西山暁子, 橋本克訓, 中西速夫, 小栗佳代子, 清水暁, 岡山 實
マウス大腸がん細胞の転移・浸潤に關与する MMP-9 の細胞膜表面での存在様式について
第 64 回 日本癌学会学術総会, 2005.9 (札幌)

棟居聖一, 吉富泰史, 小山芳江, 西山暁子, 清野慎介, 橋本克訓, 横井豊治, 小栗佳代子, 中西速夫, 宮崎 香, 岡山
實
癌転移における MMP-2 活性化抑制受容体としてのシンデカン-2 の役割
第 64 回 日本癌学会学術総会, 2005.9 (札幌)

森永貴理, 広瀬富美子, 下野洋平, 時々輪真由美, 川井久美, 市原正智, 村雲芳樹, 高橋雅英
GZF1 は配列特異的に DNA 結合する転写抑制因子である
第 64 回日本癌学会学術総会, 2005.9 (札幌)

村雲芳樹, 市原正智, 高橋雅英
紫外線照射によるヒト REV1 蛋白の核内 focus 形成の検討
第 64 回日本癌学会学術総会, 2005.9 (札幌)

安藤 啓, 市原正智, 村雲芳樹, 高橋雅英
配列に基づく siRNA 活性予測法の実験的検証
第 64 回日本癌学会学術総会, 2005.9 (札幌)

松島充代子, 川部 勤, 小川三由紀, 安部文江, 長谷川高明, 高木健三
肥満細胞におけるフラボノイドの抗アレルギー作用の検討
第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2005.10 (盛岡)

岡本真和, 川部 勤, 原 徹, 伊藤 康, 今泉和良, 久米裕明, 長谷川好規, 高木健三, 下方 薫
アトピー素因および吸入感作による抗原特異的 IgE 産生抑制に関する原因遺伝子の検討
第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2005.10 (盛岡)

SOBUE Sayaka, HAGIWARA Kazumi, KIKUCHI Ryouyusuke, MURAKAMI Masashi, **TAKAGI Akira, KOJIMA Tetsuhito**, TAMIYA-KOIZUMI Keiko, BANNO Yoshiko, ASANO Haruhiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**
Ras-induced sphingosine kinase 1 expression is involved in anti-cancer drug resistance
第 78 回日本生化学会総会, 2005.10 (神戸)

中山寛尚, 北市清幸, 伊藤佑希子, 福田昌也, 橋本克訓, 高木健次, 横井豊治, 高木健三, 長谷川高明, 涌澤伸哉
Organic cation transporter 3 の脳局在性に関する基礎的検討
第 15 回日本臨床精神神経薬理学会, 2005.10 (東京)

藤本洋平, 北市清幸, 野田明子, 永田浩三, 高木健次, 涌澤伸哉
DNA 蛍光法を用いた尿中 NO₂/NO₃ 測定最適化に関する検討
第 52 回日本臨床検査医学会総会 第 45 回日本臨床化学会年会 連合大会, 2005.11 (福岡)

ITO Yukiko, **KITAICHI Kiyoyuki**, NAKAYAMA Hironao, **HASHIMOTO Katsunori**, FUJIMOTO Yohei, AOYAMA Nagisa, **TAKAGI Kenji**, **YOKOI Toyoharu**, **TAKAGI Kenzo**, **WAKUSAWA Shinya**
The time-course effects of methamphetamine-induced neurotoxicity on the pharmacokinetic profiles of methamphetamine in rats
Neuroscience2005 (SfN 35th Annual Meeting), 2005.11 (Washington, USA)

NAKAYAMA Hironao, **KITAICHI Kiyoyuki**, ITO Yukiko, **HASHIMOTO Katsunori**, FUJIMOTO Yohei, AOYAMA Nagisa, **TAKAGI Kenji**, **YOKOI Toyoharu**, **TAKAGI Kenzo**, **WAKUSAWA Shinya**
Antisense against organic cation transporter-3 regulates monoaminergic neuronal functions in rodents
Neuroscience2005 (SfN 35th Annual Meeting), 2005.11 (Washington, USA)

宮田聖子, 野田明子, 杉浦建生, 尾崎紀夫, 古池保雄
睡眠不足時における近赤外線スペクトロスコピー所見
第 42 回日本臨床生理学会, 2005.11 (東京)

助川真代, 野田明子, 杉浦建生, 曾我太郎, 中井 滋, 中田誠一, 宮田聖子, 本多久美子, 足立由希, 古池保雄
食道内圧測定と終夜睡眠ポリグラフィ所見との関係
第 42 回日本臨床生理学会, 2005.11 (東京)

本多久美子, 野田明子, 宮田聖子, 中田誠一, 杉浦建生, 曾我太郎, 助川真代, 足立由希, 中井 滋, 古池保雄
閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における側臥位睡眠有効例の検討
第 42 回日本臨床生理学会, 2005.11 (東京)

足立由希, 曾我太郎, 野田明子, 杉浦建生, 宮田聖子, 助川真代, 吉崎重仁, 岩山範久, 中井 滋, 古池保雄
透析患者における透析日および非透析日の睡眠時無呼吸と心拍変動解析
第 42 回日本臨床生理学会, 2005.11 (東京)

石見亜紀, 野田明子, 宮田聖子, 杉浦建生, 中田誠一, 助川真代, 飯野重夫, 永田浩三, 横田充弘, 古池保雄
組織ドプラ法 Strain・Strain rate による閉塞性睡眠時無呼吸症候群の左心機能評価
第 42 回日本臨床生理学会, 2005.11 (東京)

KIKUCHI Ryouyuke, SOBUE Sayaka, MURAKAMI Masashi, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**,
TAMIYA-KOIZUMI Keiko, BANNO Yoshiko, AKAO Yukihiko, NZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**
EWS/Fli-1 and Fli-1 induce PLD2 but not PLD1 expression in SHSY-5Y cells
第 78 回日本生化学会総会, 2005.11 (神戸)

KIMATA Hiroataka, OBATA Koji, SAKA Masako, CHENG Xian Wu, HAYASHI Keiko, ICHIHARA Sahoko,
NAGATA Kohzo

Mineralocorticoid receptor antagonist added to angiotensin-converting enzyme inhibitor ameliorates the transition to diastolic heart failure by decreasing myocardial oxidative stress

日本循環器学会第 126 回東海・第 111 回北陸合同地方会。平成 17 年 (2005) 医科学応用研究財団による国際交流助成, 2005.11 (名古屋)

橋本克訓, 藤元琢也, 玉置和仁, 杉浦文美, 遠藤比呂子, 坂本佑子, 千田美歩, 藤原和幸, 森谷鈴子, 横井豊治
子宮頸部扁平上皮病変における ISH による HPV の検出と koilocyte の意義
第 44 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2005.11 (奈良)

KIMATA Hiroataka, OBATA Koji, SAKA Masako, CHENG Xian Wu, HAYASHI Keiko, ICHIHARA Sahoko,
NAGATA Kohzo

Mineralocorticoid receptor antagonist added to angiotensin-converting enzyme inhibitor ameliorates the transition to diastolic heart failure by decreasing myocardial oxidative stress

2005 American Heart Association, Scientific Sessions, 2005.11 (Dallas, USA)

横井豊治, 村手 隆, 高木 明, 高木健次, 高木健三, 古池保雄

確かな基盤の上に多様な可能性を切り拓く臨床検査技師教育 (シンポジウム: 臨床検査技師教育の新しい課題)

第 52 回日本臨床検査医学会, 2005.11 (福岡)

山本晃士, 松下 正, 小嶋哲人, 高松純樹

血友病患者における C 型肝炎治療薬リバビリンの出血予防効果とそのメカニズム

第 28 回日本血栓止血学会学術集会, 2005.11 (福岡)

小嶋哲人

サテライトシンポジウム「DIC 治療の進歩と治療ガイドライン案」第一部 ヘパイン・ヘパリノイド:2) ヘパリンとヘパラン硫酸の構造と抗凝固機序の違い

第 28 回日本血栓止血学会学術集会, 2005.11 (福岡)

小嶋哲人

モーニングレクチャー1：生理的抗血栓分子のノックアウトマウス解析

第28回日本血栓止血学会学術集会, 2005.11 (福岡)

岡田浩美, 山崎鶴夫, 国島伸治, 濱口元洋, 高木 明, 小嶋哲人, 足立達哉, 勝見 章, 松下 正, 山本晃士, 高松純樹, 齋藤英彦

変異型プロテインS分子の分泌障害解析

第28回日本血栓止血学会学術集会, 2005.11 (福岡)

山影 望, 池尻 誠, 山下真代, 山田貴之, 奥村 薫, 京谷麻由, 岡田浩美, 高木 明, 村手 隆, 岩崎年宏, 足立達哉, 勝見 章, 松下 正, 山本晃士, 高松純樹, 国島伸治, 山崎鶴夫, 濱口元洋, 齋藤英彦, 小嶋哲人

複合ヘテロ接合型凝固第V因子欠損症の分子病態解析

第28回日本血栓止血学会学術集会, 2005.11 (福岡)

OGURI Kayoko, NARUO Hideaki, SHIMIZU Satoru, MUNESUE Seiichi, YOSHITOMI Yasuo, KOYAMA Yoshie, NISHIYAMA Akiko, KIYONO Shinsuke, **HASHIMOTO Katsunori**, **YOKOI Toyoharu**, OKAYAMA Minoru

Cell surface heparan sulfate proteoglycan functions as a receptor of MMP-9

6th Pan Pacific Connective Tissue Societies Symposium, 2005.11 (Hawaii, USA)

平松莉瑛, 原 稔晶, 齋藤 博, 川部 勤, 長瀬文彦

トリプトファン代謝産物 3-hydroxyanthranilic acid が誘導する胸腺細胞のアポトーシスのSOD, MnCl₂ およびカタラーゼによる増強

第28回日本トリプトファン研究会学術集会, 2005.12 (大府)

原 稔晶, 田中景子, 秋元秀俊, 滝川 修, 平松莉瑛, 齋藤 寛, 川部 勤, 長瀬文彦

CpG, vitamin D₃, dexamethasone の併用によりマウス骨髄由来樹状細胞に誘導される indoleamine 2,3-dioxygenase の発現と nitric oxide による酵素活性の制御

第28回日本トリプトファン研究会学術集会, 2005.12 (大府)

平松莉瑛, 原 稔晶, 川部 勤, 長瀬文彦

トリプトファン代謝産物 3-hydroxyanthranilic acid によって胸腺細胞に誘導するアポトーシスのSODとカタラーゼによる増強

第35回日本免疫学会総会・学術集会, 2005.12 (横浜)

平松莉瑛, 原 稔晶, 川部 勤, 長瀬文彦

トリプトファン代謝産物 3-hydroxyanthranilic acid によって胸腺細胞に誘導されるアポトーシスのSODとカタラーゼによる増強

第35回日本免疫学会総会・学術集会, 2005.12 (横浜)

平松莉瑛, 原 稔晶, 齋藤 寛, 川部 勤, 長瀬文彦

トリプトファン代謝産物 3-hydroxyanthranilic acid が誘導する胸腺細胞のアポトーシスのSOD, MnC(l₂) およびカタラーゼによる増強

第28回日本トリプトファン研究会学術集会, 2005.12 (大府)

YAMAMOTO Koji, HONDA Takashi, SUZUKI Satoshi, TOYODA Hidenori, MATSUSHITA Tadashi, **KOJIMA Tetsuhito**, SAITO Hidehiko

Anti-HCV agent, ribavirin, decreases events of bleeding in hemophilia patients, possibly by elevating the clotting activity of factor VII

47th Annual Meeting of American Society of Hematology, 2005.12 (Atlanta, USA)

〔公開講座・講演会〕

高木健次

糖尿病について・炎症について

愛知県理学療法士・作業療法士生涯教育研修会, 2005.2 (名古屋)

永田浩三

高脂血症と高尿酸血症の最新治療

神戸薬科大学東海支部第 25 回研修会, 2005.2 (名古屋)

永田浩三

最新の降圧薬治療—JSH2004 における ARB の位置付け—

尾北医師会研修会, 2005.2 (犬山)

近藤高明

血中脂質

愛知県職員健康教室, 2005.3 (名古屋)

永田浩三

(ランチョンセミナー) KATP チャンネル開口薬の新たな作用

第 78 回日本薬理学会年会, 2005.3 (横浜)

豊嶋英明, 玉腰浩司, 八谷 寛, 和田恵子, 大塚 礼, 張 恵明, 近藤高明

生活習慣病の発症予防に関する職域コホート追跡研究—自覚的ストレスとアディポサイトカインとの関連—

平成 17 年度公益信託日本動脈硬化予防研究基金報告会, 2005.5 (東京)

永田浩三

胆汁排泄型持続性 AT1 受容体ブロッカー ミカルデイス

アドバイザーミーティング, 2005.5 (名古屋)

永田浩三

高血圧治療と ARB

高血圧を考える勉強会, 2005.6 (名古屋)

横井豊治

呼吸器細胞診 (その他の病変)

日本臨床細胞学会東海連合会細胞診基礎講習会, 2005.6 (名古屋)

永田浩三

高血圧の最新治療－ARBの新しい位置付け－
高血圧フォーラム 2005, 2005.6 (半田)

横井豊治

臨床検査技師が大学院（医療技術学専攻）に入学して学ぶためには
名大病院検査部講演会, 2005.7 (名古屋)

近藤高明

血中脂質
愛知県職員健康教室, 2005.8 (名古屋)

永田浩三

循環器疾患における抗血栓療法の実際
アストラゼネカ社内研修会, 2005.9 (名古屋)

横井豊治

顕微鏡でがんを診断する
名古屋大学医学部保健学科市民公開講座, 2005.10 (名古屋)

横井豊治

呼吸器
第51回日本臨床細胞学会細胞検査士ワークショップ, 2005.10 (豊明)

横井豊治

呼吸器疾患の病理診断
第3回中部地区病理検査研究班研修会, 2005.11 (名古屋)

永田浩三

日本人における高血圧治療－病態に応じた降圧薬の選択－
岐阜県病院薬剤師会東濃ブロック会, 2005.11 (瑞浪)

永田浩三

高血圧のテーラーメイド医療に向けて－至適降圧薬の選択－
東区医師会定例集会・学術講演会, 2005.11 (名古屋)

理学療法学専攻

4 理学療法学専攻

〔著書〕

猪田邦雄

深部静脈血栓症と急性肺塞栓症（末梢神経障害）

『リハビリテーション医学テキスト 改訂第2版』（三上真弘，石田瑋）南江堂，2005. pp 294-295

猪田邦雄

外傷

『リハビリテーション医学テキスト 改訂第2版』（三上真弘，石田瑋）南江堂，2005. pp 233-249

鈴木重行，平野幸伸，鈴木敏和

『ID 触診術—Individual Muscle Palpation』（鈴木重行編集）三輪書店，2005. 1冊

鈴木重行，平野幸伸

ID ストレッチング

『図解理学療法技術ガイド：より深く広い理学療法技術の習得をめざして アドバンス版』（細田多穂，中山彰一編集）文光堂，2005. pp 368-389

鈴木重行

Common disease に対するプライマリケア いわゆる五十肩 保存療法 運動療法

『NEW MOOK 整形外科 17 整形外科プライマリケア』（越智隆弘，菊池臣一編集）金原出版，2005. pp 281-291

山田純生

循環器理学療法総論

『循環器リハビリテーション』（山田純生）三輪書店，2005. pp 2-15

山田純生

慢性心不全の運動療法

『循環器リハビリテーション』（山田純生）三輪書店，2005. pp 161-173

〔原著論文〕

URAKAWA Susumu, HIDA Hideki, **ISHIDA Kazuto**, NISHINO Hitoo

Environmental enrichment enhance the appearance of Dcx: positive cells after striatal damage

Society for neuroscience 35rd annual meeting (Neuroscience 2005) 1: 1, 2005

白石成明，松林義人，田中紀行，岩本 斎，鈴木重行

回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の日常生活活動の実行状況変化とその要因

理学療法学 32: 361-367, 2005

鈴木重行

〔運動器疾患の理学療法と基礎研究の融合・接点〕 筋・筋膜性疼痛に対する理学療法の画像による効果検証の試み

理学療法学 32: 32-33, 2005

山田純生, 河野裕治, 岩津浩太郎

換気補助による主観的疲労感の軽減効果機序に関する研究
心臓リハビリテーション 10: 243-249, 2005

神谷昌孝, 山田純生, 八木 了, 中川光仁, 大野 修, 渡邊 孝

心臓手術後の下肢筋力低下に対する電気刺激療法の効果
心臓リハビリテーション 10: 113-116, 2004

井澤和夫, 渡辺 敏, 岡 浩一朗, 平野康之, 大宮一人, 長田尚彦, 山田純生

身体活動セルフ・エフィカシーに対する心臓リハビリテーションの影響についての検討
心臓リハビリテーション 10: 79-82, 2005

竹谷晋二, 山田純生, 小林 亨, 大宮一人

健常若年者における心拍数定常制御による運動負荷試験と運動耐容能との関連について
理学療法学 32: 429-432, 2005

[総説・解説・その他]

猪田邦雄

医療の経済性や制度に関する研究の必要性を考えよう
健康文化振興財団紀要 40: 15-20, 2005

OBA Toshiharu, MAENO Yoshitaka, **ISHIDA Kazuto**

Differential contribution of clinical amount of acetaldehyde to skeletal and cardiac muscle dysfunction in alcoholic myopathy.

Curr Pharm Des 11(6): 791-800, 2005

石田和人

[日常診療に求められるリハビリテーション] 理学療法士が主治医に期待すること
JIM 15(12): 970-973, 2005

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香

円回内筋, 長母指屈筋, 方形回内筋, 肘筋の位置や形
理学療法 22: 720-724, 2005

河上敬介, 宮津真寿美

基礎的研究手法を用いた理学療法にかかわる骨格筋の研究
理学療法学 32: 28-29, 2005

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香

三次元的視点から見た前腕部後面の筋の位置
理学療法 22: 595-599, 2005

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香
長・短橈側手根伸筋の位置と形
理学療法 22: 840-843, 2005

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香
下腿部の前面から後外側面にかけて存在する筋の位置
理学療法 22: 947-951, 2005

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香
下腿部の後面から前内側面にかけて存在する筋の位置
理学療法 22: 1067-1071, 2005

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香
長腓骨筋と短腓骨筋の位置と形
理学療法 22: 1179-1183, 2005

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香
長趾屈筋, 後脛骨筋, 長母趾屈筋の位置と形
理学療法 22: 1291-1295, 2005

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香, 山口計郎
3方向から観察した足底部の筋の位置
理学療法 22: 1412-1415, 2005

荒川高光, 河上敬介, 寺島俊雄
ヒト足の母指内転筋における停止の変異に対する比較解剖学的検討
理学療法 22: 1516-1519, 2005

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香
三次元的視点から見た前腕部前面の筋の位置
理学療法 22: 475-479, 2005

宮津真寿美, 中島里奈
ナゴヤドームがみえる学窓から
理学療法ジャーナル 39: 66-67, 2005

鈴木重行
スポーツ障害に対する ID ストレッチングのアプローチング (後編)
マニピュレーション 20: 71-73, 2005

鈴木重行
ID ストレッチング
からだの科学: 61-67, 2005

鈴木重行

スポーツ分野における ID ストレッチング
臨床スポーツ医学 22: 1530-1532, 2005

鈴木重行

関節可動域を考える
理学療法学 32: 492-499, 2005

〔科研費・班研究等〕

猪田邦雄, 肥田朋子

高齢者の筋・骨格系の痛みに対する徒手的治疗法の除痛効果の評価
平成 14 - 16 年度厚生科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 長寿科学総合研究 高齢者の筋・骨格系の痛みに対する鍼灸及び徒手的治疗法の除痛効果に関する基礎的及び臨床的研究 pp 37-48, 2005

原田 敦, 猪田邦雄, 長屋政博, 徳田治彦

介護施設でのヒッププロテクター介入による転倒不安感・健康関連 QOL・身体活動度の経時的変化に関する研究
平成 16 年度厚生科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 痴呆・骨折臨床研究 ヒッププロテクターによる介護施設の大腿骨頸部骨折予防研究：製品差の研究 pp 11-16 2005

石田和人, 猪田邦雄, 小林邦彦, 西野仁雄, 飛田秀樹, 加藤尚子

コラゲナーゼ注入脳内出血モデルラットの自然経過および運動療法の効果に関する研究
平成 15 年度～平成 16 年度 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)(2)) 研究成果報告書 1 冊, 2005

〔その他の印刷物等〕

加藤智香子, 猪田邦雄

平成 16 年度なごや健康カレッジ転ばん大幸教室報告
平成 16 年度なごや健康カレッジ転ばん大幸教室報告 pp , 2005

鈴木重行

疼痛抑制と筋ストレッチング
マルホ整形外科セミナー, 2005

〔学会発表〕

井上貴行, 鈴木重行, 沖田 実

ラット足関節に対する持続的他動運動機器改良の試み
第 15 回愛知県理学療法学会, 2005.2 (春日井)

岩田全広, 高木健次, 鈴木重行, 野々垣 聡, 堀 紀代美
ラットを用いた急性炎症における一酸化窒素の抗炎症特性
第 15 回愛知県理学療法学会, 2005.2 (春日井)

与那嶺 司, 内野滋雄, 中屋久長, 高橋輝雄, 高田治実, 河上敬介
コメディカルにおける解剖学教育のニーズ
第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2005.3 (富山)

磯貝 香, 小林邦彦, 河上敬介
エコーを用いたフィードバックによる筋触察技術の向上
第 3 回コ・メディカル形態機能学研究会学術集会, 2005.3 (金沢)

TATSUMI Hitoshi, **KAWAKAMI Keisuke**, HAYAKAWA Kimihide, KIYOSHIMA Daisuke, SOKABE Masahiro
Disappearance of integrin clusters by mechanical stimulation in endothelial cells
35th International Congress of Physiological Sciences, 2005.4 (San Diego, USA)

縣 信秀, 笹井宣昌, 宮津真寿美, 河上敬介, 早川公英, 小林邦彦
ラットのヒラメ筋に伸張刺激を加えると Akt はリン酸化される
第 40 回日本理学療法学術大会, 2005.5 (大阪)

INOUE-MIYAZU Masumi, **KAWAKAMI Keisuke**, TATSUMI Hitoshi, NARUSE Keiji, HAYAKAWA Kimihide, KIYOSHIMA Daisuke, SOKABE Masahiro
Changes in the distribution of tyrosine phosphorylated focal proteins caused by uniaxial cyclic stretch in endothelial cells
第 82 回日本生理学会大会, 2005.5 (仙台)

大野善隆, 宮津真寿美, 木山喬博
超音波の機械的効果—皮膚の水分子透過性の変化—
第 40 回日本理学療法学術大会, 2005.5 (大阪)

縣 信秀, 笹井宣昌, 宮津真寿美, 河上敬介, 早川公英, 小林邦彦
ラット骨格筋に伸張刺激を加えると Akt/mTOR/p70S6K 経路が活性化される
第 10 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2005.5 (大阪)

笹井宣昌, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介, 早川公英, 小林邦彦
伸張刺激により PI3K/Akt/mTOR 経路を介して引き起される培養骨格筋細胞の肥大
第 10 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2005.5 (大阪)

笹井宣昌, 宮津真寿美, 河上敬介, 早川公英, 小林邦彦
培養骨格筋細胞の伸張刺激による肥大
第 40 回日本理学療法学術大会, 2005.5 (大阪)

加藤尚子, 増田 匡, 浦川 将, 飛田秀樹, 石田和人, 猪田邦雄, 西野仁雄
脳出血モデルラットにおけるトレッドミル運動による運動機能の改善
第 40 回日本理学療法学術大会, 2005.5 (大阪)

中島里奈, 安村大拙, 石田和人, 鈴木重行
糖尿病ラットの糖負荷試験による血糖値の変動
第 40 回日本理学療法士学会, 2005.5 (大阪)

与那嶺司, 内野滋雄, 高田治実, 中屋久長, 高橋輝雄, 河上敬介, 山元総勝, 奥村チカ子, 溝田康司, 富永 淳, 奥村好誠, 田中利昭, 加藤宗規, 江口英範, 黒澤辰也
コメディカル人体解剖実習教育全国調査
第 40 回日本理学療法士学会, 2005.5 (大阪)

岩田全広, 早川公英, 村上太郎, 河上敬介, 宮津真寿美, 鈴木重行
培養骨格筋細胞への周期的一方向伸張刺激は糖の取込を促進する
第 40 回日本理学療法士学会, 2005.5 (大阪)

磯貝 香, 小林邦彦, 河上敬介
大腿部の筋を対象とした触察による筋マッピングの正確度の測定
第 10 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2005.5 (大阪)

松居宏樹, 肥田朋子
生体の硬さ変動を規定する因子に関する考察
第 10 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2005.5 (大阪)

塚本晋也, 肥田朋子, 山田崇史, 和田正信
慢性絞扼ラットにおける疼痛行動と筋機能の変化
第 40 回日本理学療法士学会, 2005.5 (大阪)

土利川崇洋, 肥田朋子
傍脊柱筋と四肢骨格筋に対する振動刺激が下腿三頭筋 H 反射に及ぼす影響
第 40 回日本理学療法士学会, 2005.5 (大阪)

張本浩平, 橋本辰幸, 櫻井博紀, 大道裕介, 吉本隆彦, 江口国博, 山口佳子, 鈴木重行, 熊澤孝朗
ラットにおける慢性痛症発現に関わる筋傷害要因の検討
第 40 回日本理学療法士学会, 2005.5 (大阪)

山田優子, 小羽正昭, 石黒正樹, 新美佳子, 糸ゆかり, 小出 祐, 鈴木重行
マシーントレーニング導入効果の検討—脳卒中患者の脚伸展筋力に着目して—
第 40 回日本理学療法士学会, 2005.5 (大阪)

沖田 実, 井上貴行, 日比野 至, 中野治郎, 鈴木重行
拘縮に対する間歇的伸長運動の効果—骨格筋内コラーゲンの可溶性変化に着目して—
第 40 回日本理学療法士学会, 2005.5 (大阪)

西浜かすり, 岩田全広, 平澤 純, 村上太郎, 鈴木重行
電気刺激による培養骨格筋細胞の筋肥大効果
第 40 回日本理学療法士学会, 2005.5 (大阪)

井上貴行, 高橋祐司, 沖田 実, 鈴木重行
不動後のラットヒラメ筋に対する間歇的伸長運動の影響
第 40 回日本理学療法士学会大会, 2005.5 (大阪)

林 琢磨, 上田周平, 有馬征宏, 片上智江, 岩瀬幹朗, 加藤美和, 桑原道生, 鈴木重行
骨格筋電気刺激が血糖値変動に及ぼす影響について
第 40 回日本理学療法士学会大会, 2005.5 (大阪)

堀紀代美, 尾崎紀之, 篠田雅路, 鈴木重行, 杉浦康夫
シスプラチンによって引き起こされる痛覚過敏のメカニズムの解析—筋の圧痛に着目して—
第 40 回日本理学療法士学会大会, 2005.5 (大阪)

山田純生
心不全に対する運動療法—臨床的位置づけと今度の検討課題—
第 40 回日本理学療法士学会大会, 2005.5 (大阪)

溝口正栄, 加藤尚子, 石田和人
脳出血モデルラットにおけるトレッドミル訓練の運動機能改善効果—負荷速度の違いによる検討—
第 10 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2005.5 (大阪)

石田和人, 加藤尚子, 溝口正栄
運動は脳機能を改善させるための刺激であるか?—動物実験による運動刺激効果の検証—
第 10 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2005.5 (大阪)

三好都子, 山田純生
脈拍モニタリングの機器の使用はセルフエフィカシー向上に有用か?
第 11 回日本心臓リハビリテーション学会総会, 2005.8 (大阪)

清水優子, 山田純生
呼吸困難感を改善するレジスタンス・トレーニングの開発に関する研究
第 11 回日本心臓リハビリテーション学会総会, 2005.8 (大阪)

山田純生, 長谷部武久, 大宮一人, 田村政近, 大野三良, 加藤林也, 室原豊明, 横田充弘
Marianna Heart Failure Questionnaire(MHQ) は, 慢性心不全患者の不安・抑うつ状態をよく反映し BMI とも関連する
第 11 回日本心臓リハビリテーション学会総会, 2005.8 (大阪)

長谷部武久, 山田純生, 大野三良, 加藤林也, 室原豊明, 横田充弘
慢性心不全患者における療養環境に関する調査研究
第 11 回日本心臓リハビリテーション学会総会, 2005.8 (大阪)

加藤智香子, 猪田邦雄, 島岡 清, 柴田優子, 白井利夫
「転ばん大幸教室」の参加者特性と介入効果
第 64 回日本公衆衛生学会総会, 2005.9 (札幌)

SHIMIZU Yuko, **YAMADA Sumio**

Short term resistance training may reduce dyspnea on effort(DOE)

4th World Confederation for Physical Therapy-Asia Western Pacific Region & The 9th Asia Confederation for Physical Therapy Congress 2005, 2005.10 (韓国)

MIYOSHI Hiroko, **YAMADA Sumio**

The enhancement effects of pulse rate monitoring device on self-efficacy

4th World Confederation for Physical Therapy-Asia Western Pacific Region & The 9th Asia Confederation for Physical Therapy Congress 2005, 2005.10 (韓国)

ANDO Takahiro, **YAMADA Sumio**, TAKEYA Shinji

Validity of the cardio-constant work test for physical fitness evaluation

4th World Confederation for Physical Therapy-Asia Western Pacific Region & The 9th Asia Confederation for Physical Therapy Congress 2005, 2005.10 (韓国)

HAYASHI Hisae, KUMADA Yoshitaka, **YAMADA Sumio**, ITO Sayaka, WATAI Yoko, SUMI Rika, KAWAHARA Hirohisa

The effects of long-term carbon dioxide foot bathing(CFB) on the transcutaneous oxygen pressure (TCPO₂) in patients with critical limb ischemia(CLI)

4th World Confederation for Physical Therapy-Asia Western Pacific Region & The 9th Asia Confederation for Physical Therapy Congress 2005, 2005.10 (韓国)

OGAWA Tomoya, TANIGUCHI Hiroyuki, **YAMADA Sumio**, WATANABE Fumiko, ARIZONO Shinichi

Is the improvement in physiological parameters through outpatient pulmonary rehabilitation program influential factor for acute exacerbation or re-hospitalization?

4th World Confederation for Physical Therapy-Asia Western Pacific Region & The 9th Asia Confederation for Physical Therapy Congress 2005, 2005.10 (韓国)

KANAI Akira, **IDA Kunio**

Examination of the resultant force exerted on the hip joint during standing, squatting and comfortable gait
2nd Asian Pacific Conference on Biomechanics, 2005.11 (Taipei, Taiwan)

OTA Susumu, **IDA Kunio**

Reliability of a clinical device to access passive patellar mobility

2nd Asian Pacific Conference on Biomechanics, 2005.11 (Taipei, Taiwan)

松居宏樹, 肥田朋子

生体の硬さ評価の検討～触診による主観的感覚と機械による測定～

第21回東海北陸理学療法学会大会, 2005.11 (四日市)

中村優希, 田中宏明, 森 紀康, 赤木咲恵, 田中由布子, 足立 崇, 今村康宏, 高木 聖, 鈴木重行
院内における転倒発生状況と今後の課題

第21回東海北陸理学療法学会大会, 2005.11 (四日市)

桑原道生, 上田周平, 片上智江, 有馬征宏, 林 琢磨, 成瀬早苗, 岩瀬幹朗, 加藤美和, 河合 仁, 小竹伴照, 鈴木重行

糖尿病患者に対する骨格筋電気刺激療法の試み—2 症例での検討—

第 21 回東海北陸理学療法学会学術大会, 2005.11 (四日市)

IWATSU Kotaro, **YAMADA Sumio**, KOUNOK Yuji

The mechanism of ventilatory assistance on reduction in perceived exertion during exercise

4th World Confederation for Physical Therapy-Asia Western Pacific Region & The 9th Asia Confederation for Physical Therapy Congress 2005, 2005.12 (韓国)

〔公開講座・講演会〕

山田純生

心不全に対する運動療法 - 臨床的位置づけと今度の検討課題 -

第 40 回日本理学療法士協会学術大会, 2004.5 (大阪)

山田純生

心臓リハビリテーションのコアコンポーネントとしての運動介入

第 7 回東海心臓リハビリテーション研究会, 2005.1 (名古屋)

河上敬介

運動器を三次元で捉えるための解剖観察

大分県理学療法士協会第 28 回研修会, 2005.2 (名古屋)

山田純生

心臓リハビリテーション

第 16 回日本リハビリテーション医学会中部・東海地方会, 2005.2 (名古屋)

山田純生

理学療法におけるリスク管理

東三河リハビリテーション研究会, 2005.3 (豊橋)

山田純生

近未来の心臓リハビリテーション

第 69 回日本循環器学会学術集会, 2005.3 (横浜)

山田純生

最新式半臥位エルゴメータの紹介とレジスタンス・トレーニング

第 6 回埼玉心臓リハビリテーションセミナー, 2005.4 (埼玉)

猪田邦雄, 加藤智香子

転倒予防について

緑保健所 体シャキシャキ 転倒予防教室, 2005.6 (名古屋)

山田純生

運動療法における生体反応モニタリング

日本理学療法士協会内部障害系専門領域研究会第13回循環器基礎講習会, 2005.6 (名古屋)

肥田朋子

臨床に役立つ痛みのお話

名大理学療法研究会, 2005.7 (名古屋)

鈴木重行

DNICアプローチとIDストレッチング

第723回日本理学療法士協会主催現職者講習会, 2005.7 (名古屋)

山田純生

心臓リハビリテーション—急性期から回復期まで—

日本ICU学会東海北陸地方会看護部会, 2005.7 (名古屋)

肥田朋子

神経への健康刺激を考える

NHK文化講座, 2005.8 (名古屋)

鈴木重行

疼痛抑制とIDストレッチング

第105回北海道理学療法士会技術講習会, 2005.8 (札幌)

石田和人

基礎研究に基づく運動療法のあり方

中部リハビリテーション専門学校同友会シリーズ講習会, 2005.8 (名古屋)

石田和人

健康を創ろう！—身体に対する“健康”刺激を考える—：脳への健康刺激を考える

NHK文化センター名古屋大学提携市民講座, 2005.8 (名古屋)

山田純生

心疾患運動療法中の心事故頻度

第14回日本理学療法士協会内部障害系専門領域研究会循環器基礎講習会, 2005.8 (東京)

山田純生

健康を創ろう—心臓を鍛えよう—

NHK文化センター名古屋大学提携講座, 2005.8 (名古屋)

猪田邦雄, 加藤智香子

転倒予防について

平成16年度名古屋健康カレッジ転ばん大幸教室, 2005.9 (名古屋市)

山田純生

慢性心不全治療における運動療法の位置づけ

第15回日本理学療法士協会内部障害系専門領域研究会循環器基礎講習会, 2005.9 (北里大学)

山田純生

慢性心不全に対する障害予防を帰結とする多施設共同運動介入研究プロジェクト

第1回九州心臓リハビリテーション研究会, 2005.9 (大分)

石田和人

脳科学について

愛知県厚生連リハビリ研修会, 2005.9 (名古屋)

猪田邦雄, 加藤智香子

転倒予防について

緑保健所 体シャキシャキ 転倒予防教室, 2005.10 (名古屋)

鈴木重行

整形外科と理学療法の連携, PT 戦略から I

第40回日本理学療法士協会全国研修会, 2005.10 (名古屋)

山田純生

心不全のリハビリテーション—現状と今後の展望—

岐阜内部障害理学療法研究会, 2005.10 (岐阜)

河村守雄,

腰痛相談室と腰痛プール歩行教室の開設

八事整形会市民講座, 2005.10 (名古屋)

加藤智香子

転倒予防について

名東保健所高齢者保健学級転ばん教室, 2005.11 (名古屋)

山田純生

脳卒中の体力トレーニング

愛知県理学療法士協会学術研修会, 2005.11 (名古屋)

河村守雄

骨粗鬆症に打ち克つために

尾張旭市骨粗鬆症検診講演 (1), 2005.11 (尾張旭)

猪田邦雄

自己責任時代における生活不活発病とは： 高齢者の生活と健康

福祉工学シンポジウム 2005, 第3回生活支援工学系学会連合大会 (第21回ライフサポート学会大会, 第5回日本生活支援工学学会大会), 2005.12(津)

河村守雄

骨粗鬆症に打ち克つために

尾張旭市骨粗鬆症検診講演 (2), 2005.12 (尾張旭)

河村守雄

骨粗鬆症に打ち克つために

尾張旭市骨粗鬆症検診講演 (3), 2005.12 (尾張旭)

作業療法学専攻

5 作業療法学専攻

〔著書〕

寶珠山 稔, 杉村公也, 清水英樹, 美和千尋, 伊藤恵美

第1章 7. スモン患者さんの日常生活

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル: スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引き』(松岡幸彦編) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp12-16

清水英樹

スモン患者さんの運動機能

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアルー スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引きー』(松岡幸彦編) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp5-8

清水英樹

リハスタッフのための訪問リハ計画

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアルー スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引きー』(松岡幸彦編) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp44-49

清水英樹

リハスタッフのための訪問リハ手法

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアルー スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引きー』(松岡幸彦編) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp49-56

杉村公也

スモン・リフレッシュ体操

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル: スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引き』(松岡幸彦編 杉村公也) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp65-72

杉村公也

第3章 スモン患者さんへの訪問リハビリテーションの手引き 1. 訪問リハビリテーションの必要性の認識から指示書の作成まで

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル: スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引き』(松岡幸彦編 杉村公也) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp37-39

杉村公也

第2章 訪問リハビリテーション 1. 訪問リハビリテーションの現状と問題点

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル: スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引き』(松岡幸彦編 杉村公也) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp18-25

杉村公也, 森 明子, 清水英樹, 伊藤恵美

第3章 6. リハスタッフのための訪問リハビリテーションの医療経済

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル: スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引き』(松岡幸彦編) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp58-60

杉村公也, 森 明子, 伊藤恵美

第2章 3. 医療保険での訪問リハビリテーション

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル: スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引き』(松岡幸彦編) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. p35

松岡幸彦, 杉村公也

はじめに

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル: スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引き』(松岡幸彦編 杉村公也) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp i-ii

杉村公也

第1章 スモン患者さんの現状 3. スモン患者さんの身体症状

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル: スモン患者さんのかかりつけ医, リハスタッフのための手引き』(松岡幸彦編 杉村公也) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 C, 2005. pp 3-4

杉村公也

第5章 神経疾患のリハビリテーション 機能評価とリハビリテーションプラン

『看護のための最新医学講座[第2版] 第1巻 脳・神経系疾患』(編:祖父江元 監修:日野原重明・井村裕夫) 中山書店, 2005. pp606-619

鈴木國文

『トラウマと未来—精神医学における心的因果性』 勉誠出版, 2005. 1冊

〔原著論文〕

寶珠山 稔, 柿木隆介

微小磁場計測装置を用いた末梢神経活動磁場の計測

臨床脳波 47: 215-220, 2005

AKATSUKA Kousuke, WASAKA Toshiaki, NAKATA Hiroki, INUI Kouji, **HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke

Mismatch responses related to temporal discrimination of somatosensory stimulation

Clin Neurophysiol 116: 1930-1937, 2005

NGUYEN Bihn T., INUI Kouji, **HOSHIYAMA Minoru**, NAKATA Hiroki, KAKIGI Ryusuke
Face representation in the human secondary somatosensory cortex
Clin Neurophysiol 116: 1247-1253, 2005

TAMURA Yohei, **HOSHIYAMA Minoru**, NAKATA Hiroki, HIROE Nobuo, INUI Kouji, KANEOKE
Yoshiki, KAKIGI Ryusuke
Functional relationship between human rolandic oscillations and motor cortical excitability: an MEG study
Eur J Neurosci 21: 2555-2562, 2005

八田武志, 永原直子, 岩原昭彦, **伊藤恵美**
中高年者を対象とする単語記憶と散文記憶の基準値について
人間環境学研究 3: 7-12, 2005

八田武志, 永原直子, 岩原昭彦, **伊藤恵美**
コホート研究による中高年者の高次脳機能と運動機能 (1) —運動習慣と前頭葉機能の関係について—
第 69 回日本心理学会大会発表論文集 p 593, 2005

岩原昭彦, 八田武志, **伊藤恵美**, 永原直子
コホート研究による中高年齢者の高次脳機能と運動機能 (2) —運動習慣と散文の記憶特性との関連—
第 69 回日本心理学会大会発表論文集 p 594, 2005

美和千尋, 後藤真也, 稲垣良輔, 森田亜矢子
日常生活内容からみた生活の質に対する一考察 —学生から—
愛知作業療法 13: 3-6, 2005

河原ゆう子, 岩瀬 敏, 菅屋潤壺, **美和千尋**, 高田真澄
ミスサウナが運動中のヒトの循環動態, 体温調節機能および代謝に及ぼす影響
自律神経 42: 344-351, 2005

美和千尋, 杉浦玉紀, 慶野宏臣, 慶野裕美
自閉症児における乗馬活動による症状改善と乗馬習得過程: 1 自閉症児を通して
作業療法 24: 262-268, 2005

向 文緒

作業療法学専攻学生の職業レディネスと職業意識
作業療法 24(suppl.): 328, 2005

齋藤洋典, 井藤寛志, 大井 京, **清水英樹**
快不快感情を随伴する自伝的記憶に対する再認機構
第 3 回日本認知心理学会大会 1: 1, 2005

鈴木國文

「憂うつ」の機能と病理
河合哲学シンポジウム 1: 1, 2005

木村 卓, 浅野美穂子, 魚谷博基, 宮澤 彩, 大饗広之, 西岡和郎, 鈴木國文
従来の概念ではとらえきれないうつ病の一例: 内因性うつ病? 逃避型抑うつ? 現代型うつ病
精神科治療学 20: 331-336, 2005

SUZUKI Kunifumi

Psychic causality and psychiatric symptoms: focusing on depression and anxiety
J Lacan Contemp Psychoanal 7(1): 111-121, 2005

徳倉達也, 大饗広之, 西岡和郎, 鈴木國文
家庭内葛藤から Ganser 症候群を呈したと考えられた思春期女性の症例
精神科治療学 20: 863-868, 2005

TROFIMCHENKO Rodion, **SUZUKI Kunifumi**

The Japanese wrap No.1:Suzuki's body
J Ukr Psyciatr Assoc 2(7): 174-195, 2005

小山裕子, 山田純栄, 鈴木國文
患者の主観に現れる統合失調症の生活障害: スタッフによる評価と比較して
精神障害とリハビリテーション 9(1): 88-94, 2005

宮澤 彩, 浅野美穂子, 魚谷博基, 木村 卓, 大饗広之, 西岡和郎, 鈴木國文
対人関係の過敏さから適応不全を起こす摂食障害の1例
精神科治療学 20: 545-551, 2005

〔総説・解説・その他〕

向 文緒

統合失調症のコミュニケーション障害と作業療法
作業療法ジャーナル 39: 895-899, 2005

杉村公也

老健における痴呆性高齢者のリハビリテーション
老健ぐんま 8: 4-18, 2005

杉村公也, 清水英樹

特集 神経難病のリハビリテーション スモン
総合リハビリテーション 33: 713-720, 2005

杉村公也, 清水英樹

神経難病のリハビリテーション
現代医学 53: 113-118, 2005

杉村公也

この疾患はどう変わってきたか(内科領域) 神経
現代医学 52: 387-390, 2005

〔科研費・班研究等〕

杉村公也, 美和千尋, 寶珠山 稔, 清水英樹, 伊藤恵美, 森 明子

スモン患者の転倒と基本移動動作の関係

平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 総括・分担研究報告書 p 110-112, 2005

杉村公也, 寶珠山 稔, 美和千尋, 清水英樹, 伊藤恵美, 森 明子

スモンにおける訪問リハビリテーションシステムの確立に関する研究 (III) —「スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル」の作成—

平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究班 総括・分担研究報告書 pp 119-124, 2005

〔その他の印刷物等〕

鈴木國文

書評：精神科臨床とは何か

精神医学 47(11): 1266, 2005

〔学会発表〕

美和千尋, 白石成明, 田中紀行, 杉村公也, 川村陽一, 出口 晃, 毛受雅文, 鈴木恵理, 浜口 均

全身浴と足浴時における高齢者の循環動態と体温調節機能に及ぼす影響

第 70 回日本温泉気候物理医学会総会, 2004.5 (宇奈月町 (富山県))

田中紀行, 白石成明, 出口 晃, 鈴木恵理, 川村陽一, 美和千尋, 杉村公也

足浴による温熱作用が若年者の運動機能に与える影響

第 70 回日本温泉気候物理医学会総会, 2004.5 (宇奈月町 (富山県))

鈴木恵理, 出口 晃, 浜口 均, 川村陽一, 田中紀行, 白石成明, 川村憲一, 美和千尋, 杉村公也

正常人における全身浴の唾液分泌に及ぼす影響

第 70 回日本温泉気候物理医学会総会, 2004.5 (宇奈月町 (富山県))

SUZUKI Kunifumi

Psychic causality and psychiatric symptoms: focusing on depression and anxiety

2nd International Conference of Japanese-Korean Lacanian Psychoanalytic Groups, 2005.3 (Seoul, Korea)

林 昌吾, 立松麻紀子, 美和千尋

急性期統合失調症患者における生理機能の回復と OT 導入時期との関連性

第 16 回三重県作業療法学会, 2005.3 (津)

鈴木國文

パウル・ツェラーンの詩作と精神的危機に関する精神病理学的考察

第 52 回日本病跡学会総会, 2005.4 (金沢)

稲垣良輔, 美和千尋

高齢者の入浴中に起きる事故を低下させる腰浴ミスト浴
第 13 回愛知県作業療法学会, 2005.4 (名古屋)

伊藤恵美, 八田武志, 永原直子

痴呆予防における手段的 ADL(IADL) の意義
第 39 回日本作業療法学会, 2005.5 (つくば)

福岡 純, 山田邦弘, 三浦綾乃, 清水英樹

回復期リハビリテーション病棟における夜間排泄動作チェックリストを使用した一症例
第 15 回愛知県理学療法学会, 2005.5 (名古屋)

向 文緒

作業療法学専攻学生の職業レディネスと職業意識
第 39 回日本作業療法学会, 2005.5 (つくば)

SUZUKI Kunifumi

Traumatisme et Nevrose

Colloque Medicale Franco-Japonais, 2005.5 (Paris)

NAGAHARA Naoko, HATTA Takeshi, **ITO Emi**, WATANABE Hama, KARASAWA Kaori

The effect of alcohol and cigarettes on memory in middle-and elder-Japanese

2005 International Neuropsychological Society Joint Mid-Year Meeting, 2005.7 (Dublin, Ireland)

ITO Emi, HATTA Takeshi, NAGAHARA Naoko

Influence of leisure activities on the cognitive maintenance in normal aging

2005 International Neuropsychological Society Joint Mid-Year Meeting, 2005.7 (Dublin, Ireland)

慶野裕美, 慶野宏臣, 美和千尋

広汎性発達障害児の乗馬効果

2005 自閉症カンファレンス NIPPON, 2005.8 (東京)

岩原昭彦, 八田武志, **伊藤恵美**

中高年者の記憶検査特性について

第 29 回日本神経心理学会, 2005.9 (京都)

八田武志, 永原直子, 岩原昭彦, **伊藤恵美**

コホート研究による中高年者の高次脳機能と運動機能 (1) - 運動習慣と前頭葉機能の関係について -
第 69 回日本心理学会大会, 2005.9 (東京)

岩原昭彦, 八田武志, **伊藤恵美**, 永原直子

コホート研究による中高年齢者の高次脳機能と運動機能 (2) - 運動習慣と散文の記憶特性との関連 -
第 69 回日本心理学会大会, 2005.9 (東京)

安里まゆみ, 山田邦弘, 清水英樹, 寺澤利昭

当院における加圧トレーニングの取り組み —脳卒中片麻痺の麻痺側下肢に対して—
リハビリテーション・ケア合同研究会 大阪 2005, 2005.10 (大阪)

BRESSON Arnaud, 菅原誠一, 鈴木國文

躁病と病前パーソナリティに関する考察
第 28 回日本精神病理・精神療学会大会, 2005.10 (東京)

鈴木國文

「不安」を通して見た精神療法の可能性
第 28 回日本精神病理・精神療学会大会, 2005.10 (東京)

〔公開講座・講演会〕

向 文緒

精神科作業療法と理論
日本作業療法士協会生涯教育制度・愛知県作業療法士会現職者研修会, 2005.2 (名古屋)

原 和子

補助犬の育成に関わる補助犬法に基づく医療との連携—介助犬と作業療法—
平成 16 年度介助犬・聴導犬訓練者研修会 (国立身体障害者センター), 2005.3 (埼玉)

SUZUKI Kunifumi

Abstract and body in arts: Japan and U.S.A. in their relation to European modernism
Week of Japanese Modern Culture in St. Petersburg, 2005.6 (St. Petersburg, Russia)

田川義勝, 伊藤恵美, 向 文緒

実習生からみた臨床実習指導者の指導法に対する意識調査「情意という側面からの考察」
全国 PTOT 学校連絡協議会 第 2 回東海地区教育部会研修プログラム, 2005.11 (名古屋)

美和千尋

「臨床実習における精神的不安学生の現状と対策」—養成学校および臨床実習施設からの問題点とその解決方法—
第 2 回東海地区教育部会研修プログラム, 2005.11 (名古屋)

向 文緒

症例研究 2
平成 17 年度愛知県作業療法士会新人教育プログラム, 2005.11 (名古屋)

伊藤恵美・八田武志

言語流暢性課題の前頭葉機能検査としての妥当性
第 10 回東海神経心理・神経精神・行動神経・認知リハ研究会, 2005.12

鈴木國文

統合失調症の前駆期とアスペルガー症候群の思春期：そのライフサイクルと衝動性
第 34 回東京都精神医学総合研究所・公開シンポジウム, 2005.12 (東京)

編 集 後 記

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第9巻を発行いたしました。当学科5専攻全教員の平成18年度（2005年1月から12月）の教育・研究業績をご覧ください。

	第1巻 (1997年)	第2巻 (1998年)	第3巻 (1999年)	第4巻 (2000年)	第5巻 (2001年)	第6巻 (2002年)	第7巻 (2003年)	第8巻 (2004年)	第9巻 (2005年)
著書	17	39	55	56	38	33	74	70	90
原著論文	58	123	141	163	137	175	138	156	153
総説・解説・その他	64	61	92	106	58	76	81	39	98
科研費・班研究等	6	12	10	26	23	19	28	27	30
その他印刷物等	10	14	26	18	13	9	20	20	11
学会発表	115	173	252	268	246	287	341	376	380
公開講座・講演会	45	73	96	102	70	72	86	99	85
計	315	495	672	739	585	671	768	787	847

2005年は、博士課程の育成をはじめて2年目になります。来年度は、保健学科として初めて学位授与者を送り出すこととなります。そのため、保健医療分野において、貢献できる研究者を育てることができるように、教員は教育・研究を積み重ね、よりレベルの高い研究システムの構築をめざしています。

さらに、今年度から、教育・研究年報を電子媒体として発刊することで、保健学科の掲示板から、簡単にアクセスできるようになりました。これによって、多くの人々に当学科の活動を公開する機会となり、社会的評価の目が厳しくなると同時に、さらなる発展が望めると考えています。本年報が、教員の教育・研究の自己評価の一つの指標になるとともに各専攻の活動内容も掲載することで保健学科のさらなる充実の一助になることを願います。

最後に、本年報の作業に携わっていただいた保健学情報掛の職員の皆様に深謝いたします。

2007年2月20日
年報編集委員長 吉田久美子

年報編集委員

看護学専攻	吉田久美子
放射線技術科学専攻	前田尚利
検査技術科学専攻	長瀬文彦
理学療法学専攻	加藤智香子
作業療法学専攻	加賀谷一

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報 第9巻

2007年3月15日 発行

発行 名古屋大学医学部保健学科

〒461-8673 名古屋市東区大幸南一丁目1番20号

TEL(052)719-1504

印刷 (株)荒川印刷

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目16番38号

TEL(052)262-1006 (代表)
